

注3

大学番号：056

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

大阪教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人大阪教育大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営戦略課

職名・氏名 経営戦略係主任 ヒダカ アカネ 日高 茜

電話番号 072-978-3208

F A X 072-978-3225

e-mail kikaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

＜初等教育教員養成課程＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	22
6. 留意事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人大阪教育大学

(2) 大学名

大阪教育大学

(3) 大学の位置

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88

(本部 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(クリバヤシ スミオ) 栗林 澄夫 (平成26年4月)	—	
初等教育課程長	(オオキ アイイチ) 大木 愛一 (平成28年5月)	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 初等教育 教員養成課程 学士(教育学)	教育学・保育学 関係	4 年	60 人	— 年次 人	240 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人 () []	—	60人 () []	—	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.00倍	
志願者数	214 () []	— () []	213 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	144 () []	— () []	145 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	63 () []	— () []	64 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	59 () []	— () []	62 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	0.98		1.03									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	59 [-] (-)	0 [-] (-)	62 [0] (-)	0 [0] (-)					
2年次	/		59 [0] (-)	0 [0] (-)					
3年次	/		/						
4年次	/		/		/				
計	59 [-] -		121 [0] (-)						

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	59人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	121人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合計	180人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{59} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{121} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 初等教育教員養成課程>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎科目	日本人の宗教観	1前		2								兼1
	平安朝文学世界への誘い	1前		2								兼1
	コンサートへの誘い	1前		2								兼9
	和歌の表現世界を知る	1前		2								兼1
	読むための視点	1後		2								兼1
	ドイツ文学を読む	1後		2								兼1
	芸術理論:フランス近代美学から	1後		2								兼1
	民族と音楽:東南アジアを中心に	1後		2								兼1
	ユーラシア美術史	1後		2								兼1
	アジアの中の日本美術史	1後		2								兼1
	日本語史のイロハ	1後		2								兼1
	教養と美	1後		2								兼15
	比較文学論	1後		2								兼1
	日本語表現法	1後		2								兼1
	日本事情	1前		2								兼1
	海外文化研究	1前		2								兼2
	国際関係論入門	1前		2								兼1
	Cross-cultural Communication①	1前		1								兼1
	Cross-cultural Communication②	1前		1								兼1
	Japanese Culture①	1前・後		1								兼1
	Japanese Culture②	1前・後		1								兼1
	Media Studies①	1後		1								兼1
	Media Studies②	1後		1								兼1
	Discussion Skills①	1前		1								兼1
	Discussion Skills②	1前		1								兼1
	Academic Presentation Skills①	1後		1								兼2
	Academic Presentation Skills②	1後		1								兼2
	英語による教養①	1前		1								兼1
	英語による教養②	1前		1								兼1
	英語による教養③	1前		1								兼1
	英語による教養④	1前		1								兼1
	英語による教養⑤	1前		1								兼1
	英語による教養⑥	1前		1								兼1
	英語による教養⑦	1後		1								兼1
	英語による教養⑧	1後		1								兼1
	日本国憲法	1前		2								兼1
部落問題概論	1前		2								兼1	
持続発展教育と世界遺産	1前		2								兼1	
日本美術の流れ	1前		2								兼1	
地域から見る世界史	1前		2								兼1	
地域史としての考古学	1後		2								兼1	
日本科学技術史概論	1後		2								兼1	
近現代外交史	1後		2								兼1	
政治と社会	1後		2								兼1	
ダイバーシティと人権	1後	2									兼1	
現代消費社会論	1前		2								兼1	
平和のための教育	1前		2								兼1	
現代社会学の方法と実践	1前		2								兼1	
現場に活かすスポーツ実践論	1前		2								兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎科目	日本人の宗教観	1前		2								兼1
	平安朝文学世界への誘い	1前・後		2								兼1
	コンサートへの誘い	1前		2								兼9
	和歌の表現世界を知る	1前		2								兼1
	読むための視点	1後		2								兼1
	ドイツ文学を読む	1後前		2								兼1
	芸術理論:フランス近代美学から	1後		2								兼1
	民族と音楽:東南アジアを中心に	1後		2								兼1
	ユーラシア美術史	1後		2								兼1
	アジアの中の日本美術史	1後		2								兼1
	日本語史のイロハ	1後		2								兼1
	教養と美	1後		2								兼15
	比較文学論	1後		2								兼1
	日本語表現法	1後		2								兼1
	日本事情	1前		2								兼1
	海外文化研究	1前		2								兼2
	国際関係論入門	1前		2								兼1
	Cross-cultural Communication③	1前		1								兼1
	Cross-cultural Communication④	1前		1								兼1
	Japanese Culture③	1前・後		1								兼1
	Japanese Culture④	1前・後		1								兼1
	Media Studies③	1後		1								兼1
	Media Studies④	1後		1								兼1
	Discussion Skills③	1前		1								兼1
	Discussion Skills④	1前		1								兼1
	Academic Presentation Skills⑤	1後		1								兼2
	Academic Presentation Skills⑥	1後		1								兼2
	ヨーロッパ・フランスの窓から	1後		2								兼1
	英語による教養⑨English World I	1前・後		1								兼1
	英語による教養⑩English World II	1前・後		1								兼1
	英語による教養⑪English World III	1前・後		1								兼1
	英語による教養⑫English World IV	1前・後		1								兼1
	英語による教養⑬English World V	1前・後		1								兼1
	英語による教養⑭English World VI	1前・後		1								兼1
	英語による教養⑮English World VII	1前・後		1								兼1
	英語による教養⑯English World VIII	1前・後		1								兼1
English World IX	1前・後		1								兼1	
English World X	1前・後		1								兼1	
教育と国際化 I	1後		1								兼1	
教育と国際化 II	1後		1								兼1	
日本の教育と若者文化	1前		2								兼1	
日本古代文化史 I	1前		1								兼1	
日本古代文化史 II	1前		1								兼1	
異文化理解実地研究 I	1前・後		2								兼1	
異文化理解実地研究 II	1前・後		2								兼1	
異文化理解実地研究 III	1前・後		2								兼1	
日本国憲法	1前・後	2	2								兼1	
部落問題概論	1前・後		2								兼1	
持続発展教育と世界遺産	1前		2								兼1	
日本美術の流れ	1前		2								兼1	
地域から見る世界史	1前		2								兼1	
地域史としての考古学	1後		2								兼1	
日本科学技術史概論	1後		2								兼1	
近現代外交史	1後前		2								兼1	
政治と社会	1後		2								兼1	
ダイバーシティと人権	1前・後	2									兼2	
現代消費社会論	1前		2								兼1	
平和のための教育	1前		2								兼1	
現代社会学の方法と実践	1前		2								兼1	
現場に活かすスポーツ実践論	1前		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	健康科学への招待	1前		2							兼3
	生活環境をさぐる	1前		2							兼3
	地域連携学校教育入門ー現代社会を生きるー	1前		2							兼1
	健康科学論	1前		2							兼1
	貨幣とわれわれの社会	1後		2							兼1
	都市防災対策と防災教育	1後		2							兼1
	心理生理学	1後		2							兼1
	性倫理と性教育	1後		2							兼1
	野外教育論	1後		2							兼1
	対人コミュニケーションの心理学	1後		2							兼1
	水と環境を考える	1前		2							兼1
	生命と共生	1前		2							兼1
	地球と災害	1前		2							兼1
	DNAを中心とした生命科学	1後		2							兼1
	はかってなんぼー環境をはかる	1後		2							兼1
	地球と環境	1後		2							兼1
	ミクロの生物学入門	1後		2							兼1
	大阪の環境と地球環境	1後		2							兼1
	自然史博物館への招待	1後		2							兼1
	生物学と医学の出会い	1後		2							兼1
	暮らしの環境と地図	1前		2							兼1
	持続可能な開発のための教育(ESD)概論	1後		2							兼1
	ベクトルとその応用を理解する	1前		2							兼1
	はかってなんぼー学校編	1前		2							兼1
	科学常識を考える	1前		2							兼1
	科学の基本	1前		2							兼1
	論理と数理パズル	1前		2							兼1
	歴史を変えた有機化合物	1後		2							兼1
	体験しよう！かがく実験	1後		2							兼1
	論理と数理パズル 上級編	1後		2							兼1
	キャリアデザイン	1前		2							兼1
	インターンシップとキャリア	1前		2							兼1
	学校教育と著作権	1前		2							兼1
	教育科学の基礎	1後		2							兼7
	ことばと教育	1後		2							兼1
	国際理解教育	1後		2							兼2
	アジア理解教育	1後		2							兼2
	人間と道徳	1前		2							兼1
	教員のための数学	1後		2							兼1
	環境教育論	1前		2							兼1
	消費者教育論	1後		2							兼1
	表現教育	1後		2							兼3
	遊びとスポーツ	1前		2							兼1
	教職実践論	1後		2							兼1
	資料・情報利用法	1後		2							兼1
	クリティカル・シンキング入門	1後		2							兼1
	コンピュータを使った統計入門	1後		2							兼1
	メディア・リテラシー演習	1後		2							兼2
	科学的・批判的思考の実践	1前		2							兼1
	古典から学ぶ大学	1前		2							兼4
	アクティブ・ラーニング入門	1前		2							兼2
	「障害」者と人権	1前		2							兼1
	ジェンダーとセクシュアリティ	1後		2							兼1
	共生社会論	1前		2							兼1
	国際理解	1後		2							兼1
	多文化共生の社会をめざして	1前		2							兼1
	障害者支援入門	1前		2							兼1
	外国人児童生徒教育	1前		2							兼1
共通基礎科目	スポーツ実技a	1前	1				1				
	スポーツ実技b	1後	1				1				
	英語 I a	1前	1			1	1				
	英語 I b	1後	1				1				
	英語 II a	2前	2			1					
	英語 II b	2後	2			1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	健康科学への招待	1前		2							兼3
	生活環境をさぐる	1前		2							兼3
	地域連携学校教育入門ー現代社会を生きるー	1前		2							兼1
	健康科学論	1前		2							兼1
	貨幣とわれわれの社会	1後		2							兼1
	都市防災対策と防災教育	1後		2							兼1
	心理生理学	1後		2							兼1
	性倫理と性教育	1後		2							兼1
	野外教育論	1後		2							兼1
	対人コミュニケーションの心理学	1後		2							兼1
	知的財産権入門	1後		2							兼1
	水と環境を考える	1前		2							兼1
	生命と共生	1前・後		2							兼1
	地球と災害	1前		2							兼1
	DNAを中心とした生命科学	1後		2							兼1
	はかってなんぼー環境をはかる	1後		2							兼1
	地球と環境	1後		2							兼1
	ミクロの生物学入門	1後		2							兼1
	大阪の環境と地球環境	1前・後		2							兼1
	自然史博物館への招待	1後		2							兼1
	生物学と医学の出会い	1後		2							兼1
	暮らしの環境と地図	1前		2							兼1
	持続可能な開発のための教育(ESD)概論	1後		2							兼1
	ベクトルとその応用を理解する	1前		2							兼1
	はかってなんぼー学校編	1前		2							兼1
	科学常識を考える	1前		2							兼1
	科学の基本	1前		2							兼1
	論理と数理パズル	1前		2							兼1
	歴史を変えた有機化合物	1後		2							兼1
	体験しよう！かがく実験	1後		2							兼1
	論理と数理パズル 上級編	1後		2							兼1
	宇宙の構成と歴史	1後		2							兼1
	キャリアデザイン	1前		2							兼1
	教職キャリア形成論	1後		2							兼1
	インターンシップとキャリア	1前		2							兼1
	学校教育と著作権	1前		2							兼1
	教育科学の基礎	1後		2							兼7
	ことばと教育	1後		2							兼1
	国際理解教育	1後前		2							兼21
	アジア理解教育	1後		2							兼21
	人間と道徳	1前		2							兼1
	教員のための数学	1後前		2							兼1
	環境教育論	1前		2							兼1
	消費者教育論	1後		2							兼1
	表現教育	1後前		2							兼3
	遊びとスポーツ	1前後		2							兼12
	教職実践論	1前・後		2							兼12
	知的財産教育論	1前		2							兼1
	資料・情報利用法	1後		2							兼1
	クリティカル・シンキング入門	1後		2							兼1
	コンピュータを使った統計入門	1後		2							兼1
	メディア・リテラシー演習	1後		2							兼26
	科学的・批判的思考の実践	1前		2							兼1
	古典から学ぶ大学	1前		2							兼45
	アクティブ・ラーニング入門	1前		2							兼2
	海外文化研究	1前		2							兼65
	「障害」者と人権	1前・後		2							兼1
	ジェンダーとセクシュアリティ	1前・後		2							兼1
	共生社会論	1前		2							兼1
	国際理解	1後		2							兼1
	多文化共生の社会をめざして	1前・後		2							兼1
	障がい者支援入門	1前・後		2							兼1
	外国人児童生徒教育	1前後		2							兼12
共通基礎科目	スポーツ実技a	1前	1								兼122
	スポーツ実技b	1後	1								兼122
	英語 (T) Ia	1前	1			1					兼12
	英語 (T) Ib	1後	1			1					兼12
	英語 (T) II a	2前	2								兼3
	英語 (T) II b	2後	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ドイツ語 I a	1前		1							兼1	
	ドイツ語 I b	1後		1							兼1	
	ドイツ語 II a	2前		2							兼1	
	ドイツ語 II b	2後		2							兼1	
	フランス語 I a	1前		1							兼1	
	フランス語 I b	1後		1							兼1	
	フランス語 II a	2前		2							兼1	
	フランス語 II b	2後		2							兼1	
	中国語 I a	1前		1							兼1	
	中国語 I b	1後		1							兼1	
	中国語 II a	2前		2							兼1	
	中国語 II b	2後		2							兼1	
	外国語コミュニケーション	2前・後	2			1						
	韓国語 I a	1前		1							兼1	
	韓国語 I b	1後		1							兼1	
	韓国語 II a	2前		2							兼1	
	韓国語 II b	2後		2							兼1	
	日本語 I a	1前		1							兼1	
	日本語 I b	1後		1							兼1	
	日本語 II a	2前		2							兼1	
	日本語 II b	2後		2							兼1	
	ICT基礎a	1前		2					1			
	ICT基礎b	1後		1					1			
教職基礎科目	特別なニーズのある子どもの教育	1後	2				1					兼1
	インクルーシブ教育システム基礎論	1前		2								兼1
	人権教育論	2後		2								兼1
	学校安全	2前		2								兼1
	幼小連携教育論	3前		2		1	1					
	発達障害教育	2前		2								兼1
発達障害指導論	4前		2								兼1	
教職関連科目	教職入門	1前	2				1					
	教育総論	1後	2				1					
	発達と学習の心理学	1後	2			1						
	学校の役割と経営	2前	2								兼1	
	幼児教育課程論 I	2前	2				1					
	幼児教育課程論 II	3後	2				1					
	幼児教育指導法 I	2前	2								兼1	
	幼児教育指導法 II	3後	2								兼1	
	幼児臨床学	3後	2			1						
	教育実習	3後	5			1						
	教職実践演習(幼・小)	4後	2			3	3					
	教職入門	1前	2				1					
	教育総論	1後	2				1					
	発達と学習の心理学	1後	2			1						
	学校の役割と経営	2前	2								兼1	
	教育実践論	2前	2			1						
	道徳教育論	3後	2				1					
	生徒指導・進路指導論	2前	2								兼1	
	教育相談の心理学	3後	2			1						
	教育実習	3後	5								兼1	
	教職実践演習(幼・小)	4後	2			2	2					
	健康の指導法	2後	2								兼1	
	環境の指導法	2前	2								兼1	
	表現の指導法 I	2前	1								兼1	
	表現の指導法 II	2後	1								兼1	
	人間関係の指導法	2前	2			1						兼3
	言葉の指導法	2前	2								兼1	
	初等国語科教育法(書写を含む。)	3前	2			1					1	
	初等社会科教育法	3前	2								兼1	
	算数科教育法	3前	2				1					
	初等理科教育法	3後	2								兼1	
	生活科教育法	2前	2								兼1	
	初等音楽科教育法	3後	2				1					
図画工作科教育法	2前	2				1						
初等家庭科教育法	2後	2								兼1		
体育科教育法	2後	2				1						
初等英語科教育法	3後	2				1						
幼児教育インターンシップ	2通	2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ドイツ語 Ia	1前		1								兼15
	ドイツ語 Ib	1後		1								兼15
	ドイツ語 II a	2前		2								兼1
	ドイツ語 II b	2後		2								兼1
	フランス語 Ia	1前		1								兼34
	フランス語 Ib	1後		1								兼34
	フランス語 II a	2前		2								兼1
	フランス語 II b	2後		2								兼1
	中国語 Ia	1前		1								兼56
	中国語 Ib	1後		1								兼56
	中国語 II a	2前		2								兼1
	中国語 II b	2後		2								兼1
	外国語コミュニケーション	2前・後	2							+		兼3
	韓国語 Ia	1前		1								兼1
	韓国語 Ib	1後		1								兼1
	韓国語 II a	2前		2								兼1
	韓国語 II b	2後		2								兼1
	日本語 Ia	1前		1								兼12
	日本語 Ib	1後		1								兼12
	日本語 II a	2前		2								兼1
	日本語 II b	2後		2								兼1
	ICT基礎a	1前		2							+	兼2
	ICT基礎b	1後		1						+		兼1
教職基礎科目	特別なニーズのある子どもの教育	1前・後	2							+		兼1
	インクルーシブ教育システム基礎論	1前		2								兼1
	人権教育論	2後		2								兼12
	学校安全	2前		2								兼12
	幼小連携教育論	3前		2		1	1					
	発達障害教育 I	2前		2								兼1
	発達障害指導論教育 II	4前		2								兼1
	教職入門	1前	2								12	
	教育総論	1後	2								+	
	発達と学習の心理学	1前後	2							+		兼1
	学校の役割と経営	2前	2									兼12
幼児教育課程論 I	2前	2				1					兼1	
幼児教育課程論 II	3後	2				1						
幼児教育指導法 I	2前後	2									兼1	
幼児教育指導法 II	3後	2									兼1	
幼児臨床学	3後	2			1					1		
教育実習	3後	5			1					1		
教職実践演習(幼・小)	4後	2			3	3				3		
教職入門	1前	2				1						
教育総論	1後	2				1				+		
発達と学習の心理学	1前後	2							+		兼1	
学校の役割と経営	2前	2									兼1	
教育実践論	2前後	2							+		兼1	
教育実践論教育課程・方法論	2前後	2							+		兼1	
特別活動論	3前	2									兼1	
道徳教育論	3後	2				1						
生徒指導・進路指導論	2前・後	2									兼12	
教育相談の心理学	3後	2			1					1		
教育実習	3後	5									兼1	
教職実践演習(幼・小)	4後	2			2	2				2		
健康の指導法	2後	2								2	兼1	
環境の指導法	2前	2								2	兼1	
表現の指導法 I	2前	1								1	兼1	
表現の指導法 II	2後	1								1	兼1	
人間関係の指導法	2前	2			1					1	兼3	
言葉の指導法	2前	2								2	兼1	
初等国語科教育法(書写を含む。)	3前	2			1					1		
初等社会科教育法	3前	2								2	兼1	
算数科教育法	3前	2				1						
初等理科教育法	3後	2								1	兼1	
生活科教育法	2前	2								2	兼1	
初等音楽科教育法	3後	2				1						
図画工作科教育法	2前	2				1				+	兼1	
初等家庭科教育法	2後	2								2	兼12	
体育科教育法	2後	2				1				+	兼2	
初等英語科教育法	3後	2				1				1		
幼児教育インターンシップ	2通	2			1	1				+		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	学校インターンシップ体験	2通	2									
専攻専門科目	家庭地域連携の政策	4前	2									兼1
	就学前の教育学	2前	2									兼2
	表現指導演習Ⅰ	3後	1									兼1
	表現指導演習Ⅱ	4前	1									兼1
	表現指導基礎演習Ⅰ	2前	1				1					
	表現指導基礎演習Ⅱ	2後	1				1					
	保育とダイバーシティ	3後	2									兼2
	保育内容実践演習Ⅰ(からだリズム)	3後	1									兼2
	保育内容特講	4前	2				1					
	幼児教育学特講	4前	2				1					
	幼児教育研究調査法Ⅰ	2前	1			1						
	幼児教育研究調査法Ⅱ	2後	1			1						
	幼児教育実践研究Ⅰ	3前	1				1					
	幼児教育実践研究Ⅱ	3後	1				1					
	幼児教育実践研究Ⅲ	4前	1			1	2					
	幼児教育実践研究Ⅳ	4後	1			1	2					
	幼児教育実践総論	1前	2									兼2
	幼児教育分析演習	3後	1									兼2
	幼児心理学特講	1前	2			1						
	保育内容実践演習Ⅱ(いのちとつながり)	3後	1									兼2
	保育内容実践演習Ⅲ(ふしぎとアート)	3前	1									兼2
	保育内容実践演習Ⅳ(かたりとドラマ)	3前	1									兼2
	保育内容実践演習Ⅴ(うたとあそび)	3前	1									兼2
	幼児教育プロジェクト演習Ⅰ	3前	1			1	2					
	幼児教育プロジェクト演習Ⅱ	3後	1			1	2					
	幼児教育探究演習Ⅰ	4前	1			1	2					
	幼児教育探究演習Ⅱ	4後	1			1	2					
	国語Ⅰ	1前	1			1						
	国語(書写)Ⅱ	1後	1				1					兼2
	社会	2前	2									
	算数	1前	2				1					
	理科A	2後	2			2						
理科B	2後	2			1	1						
生活	1後	2									兼1	
音楽	1前	2				1						
図画工作Ⅰ	1前	1				1						
図画工作Ⅱ	1後	1				1						
家庭	2前	2									兼1	
体育Ⅰ	1前	1									兼1	
体育Ⅱ	1後	1									兼1	
ピアノ表現演習Ⅰ	1前	1				1						
ピアノ表現演習Ⅱ	1後	1				1						
英語	3前	2			1							
国語Ⅰ	1前	1			1							
国語(書写)Ⅱ	1後	1									兼1	
社会	1前	2			2							
算数	1前	2				1						
理科A	1後	2			2							
理科B	1後	2			1	1						
生活	1後	2									兼1	
音楽	1後	2				1						
図画工作Ⅰ	1後	1				1						
図画工作Ⅱ	2前	1				1						
家庭	2前	2									兼1	
体育Ⅰ	1前	1				1						
体育Ⅱ	1後	1				1						
英語	3前	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	学校インターンシップ体験	2通	2									
専攻専門科目	家庭地域連携の政策	4前	2									兼1
	就学前の教育学	2前	2						1			兼2
	表現指導演習Ⅰ	3後	1									兼1
	表現指導演習Ⅱ	4前	1									兼1
	表現指導基礎演習Ⅰ	2前	1					1				兼1
	表現指導基礎演習Ⅱ	2後	1					1				兼1
	保育とダイバーシティ	3後	2									兼2
	保育内容実践演習Ⅰ(からだリズム)	3後	1									兼2
	保育内容特講	4前	2				1					
	幼児教育学特講	4前	2				1					
	幼児教育研究調査法Ⅰ	2前	1					1				
	幼児教育研究調査法Ⅱ	2後	1					1				
	幼児教育実践研究Ⅰ	3前	1					1				
	幼児教育実践研究Ⅱ	3後	1					1				
	幼児教育実践研究Ⅲ	4前	1			1	2					
	幼児教育実践研究Ⅳ	4後	1			1	2					
	幼児教育実践総論	1前	2							1		兼13
	幼児教育分析演習	3後	1									兼2
	幼児心理学特講	1前	2			1						兼1
	保育内容実践演習Ⅱ(いのちとつながり)	3後	1									兼2
	保育内容実践演習Ⅲ(ふしぎとアート)	3前	1									兼2
	保育内容実践演習Ⅳ(かたりとドラマ)	3前	1									兼2
	保育内容実践演習Ⅴ(うたとあそび)	3前	1									兼2
	幼児教育プロジェクト演習Ⅰ	3前	1				1	2				
	幼児教育プロジェクト演習Ⅱ	3後	1				1	2				
	幼児教育探究演習Ⅰ	4前	1				1	2				
	幼児教育探究演習Ⅱ	4後	1				1	2				
	国語Ⅰ	1前	1			1				1		兼83
	国語(書写)Ⅱ	1前	1							1		兼3
	社会	1前	2									兼911
	算数	1前	2				1			1		兼2
	理科A	1後	2			2				2		兼4
理科B	1前	2			1	1			1		兼9	
生活	1前	2							2		兼1	
音楽	1前	2				1			2		兼12	
図画工作Ⅰ	1前	1				1			1		兼12	
図画工作Ⅱ	1後	1				1			1		兼12	
家庭	1前	2							2		兼16	
体育Ⅰ	1前	1							1		兼14	
体育Ⅱ	1後	1							1		兼15	
ピアノ表現演習Ⅰ	1前	1				1			1			
ピアノ表現演習Ⅱ	1後	1				1			1		兼12	
英語	3前	2			1							
国語Ⅰ	1前	1							1		兼83	
国語(書写)Ⅱ	1前	1							1		兼43	
社会	1前	2			2				2		兼911	
算数	1前	2				1			1		兼2	
理科A	1後	2			2				2		兼4	
理科B	1前	2			1	1			1		兼9	
生活	1前	2							2		兼1	
音楽	1後	2				1			2		兼12	
図画工作Ⅰ	1後	1				1			1		兼12	
図画工作Ⅱ	2前	1				1			1		兼12	
家庭	1前	2							2		兼16	
体育Ⅰ	1前	1							1		兼4	
体育Ⅱ	1後	1							1		兼5	
英語	3前	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	心理学特講	3前		2		1						兼1
	メディア・エデュケーション	3後		2								兼1
	学校インターンシップⅠ	3通		2		1						
	学校インターンシップⅡ	4通		2		1						
	海外教育実践研究	3前		2		1						
	野外活動研究	3後		2		1						
	ものづくり教育研究Ⅰ	3前		2				1				
	ものづくり教育研究Ⅱ	3後		2				1				
	ICT教育の実践研究	3後		2				1				
	場面指導とロールプレイ	4前		2								兼1
	英語科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1						
	英語科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1						
	英語科学習指導研究	4前		2		1						
	音楽科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1						
	音楽科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1						
	音楽実技Ⅰ	3前		1		1						
	音楽実技Ⅱ	3後		1		1						
	音楽実技Ⅲ	4前		1		1						
	音楽実技Ⅳ	4後		1		1						
	音楽演奏研究Ⅰ	4前		2		1						
	音楽演奏研究Ⅱ	4後		2		1						
	国語科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1						
	国語科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1						
	自然の科学	3後		2		1						
	自然の科学Ⅰ	3後		2		1						
	自然の科学Ⅱ	4前		2		1						
	数学・数学教育実践	3後		2			1					
	基礎数学	3後		2			1					
	理科実験の指導法Ⅰ	3後		2		1						
	理科実験の指導法Ⅱ	4前		2		1						
	社会科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1						
	社会科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1						
	数学・数学教育演習	4前		2			1					
	数学入門	3前		2			1					
	図画工作科学習指導研究	4前		2			1					
	図画工作科学習指導演習	4後		2			1					
	学校保健学	3前		2								兼1
	保健指導論	3後		2								兼1
	体育科学習指導研究	4前		2			1					
	生活科学	3後		2								兼1
自由選択科目	学校経営と学校図書館	3前		2								兼1
	学校図書館メディアの構成	3前		2								兼1
	学習指導と学校図書館	3後		2								兼1
	読書教育と図書館	3前		2								兼1
	情報メディアの活用	3前		2								兼1
卒業研究		4通	4			10	10	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	心理学特講	3前		2									
	メディア・エデュケーション	3後		2									兼1
	学校インターンシップⅠ	3通		2		1							
	学校インターンシップⅡ	4通		2		1							
	海外教育実践研究	3前		2		1							
	野外活動研究	3後		2		1							
	ものづくり教育研究Ⅰ	3前		2				1					
	ものづくり教育研究Ⅱ	3後		2				1					
	ICT教育の実践研究	3後		2				1					
	場面指導とロールプレイ	4前		2									兼1
	英語科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1							
	英語科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1							
	英語科学習指導研究	4前		2		1							
	音楽科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1							
	音楽科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1							
	音楽実技Ⅰ	3前		1		1							
	音楽実技Ⅱ	3後		1		1							
	音楽実技Ⅲ	4前		1		1							
	音楽実技Ⅳ	4後		1		1							
	音楽演奏研究Ⅰ	4前		2		1							
	音楽演奏研究Ⅱ	4後		2		1							
	国語科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1							
	国語科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1							
	自然の科学	3後		2		1							
	自然の科学Ⅰ	3後		2		1							
	自然の科学Ⅱ	4前		2		1							
	数学・数学教育実践	3後		2			1						
	基礎数学	3後		2			1						
	理科実験の指導法Ⅰ	3後		2		1							
	理科実験の指導法Ⅱ	4前		2		1							
	社会科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1							
	社会科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1							
	数学・数学教育演習	4前		2			1						
	数学入門	3前		2			1						
	図画工作科学習指導研究	4前		2			1						
	図画工作科学習指導演習	4後		2			1						
	学校保健学	3前		2									兼1
	保健指導論	3後		2									兼1
	体育科学習指導研究	4前		2			1						
	生活科学	3後		2									兼1
自由選択科目	学校経営と学校図書館	3前		2									兼1
	学校図書館メディアの構成	3前		2									兼1
	学習指導と学校図書館	3後		2									兼1
	読書教育と図書館	3前		2									兼1
	情報メディアの活用	3前		2									兼1
卒業研究		4通	4			10	10	1					

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎科目	日本人の宗教観	1前		2								兼1
	平安朝文学世界への誘い	1前		2								兼1
	コンサートへの誘い	1前		2								兼9
	和歌の表現世界を知る	1前		2								兼1
	読むための視点	1後		2								兼1
	ドイツ文学を読む	1後前		2								兼1
	芸術理論:フランス近代美学から	1後		2								兼1
	民族と音楽:東南アジアを中心に	1後		2								兼1
	ユーラシア美術史	1後		2								兼1
	アジアの中の日本美術史	1後		2								兼1
	日本語史のイロハ	1後		2								兼1
	教養と美	1後		2								兼15
	比較文学論	1後		2								兼1
	日本語表現法	1後		2								兼1
	日本事情	1前		2								兼1
	海外文化研究	1前		2								兼2
	国際関係論入門	1前		2								兼1
	Cross-cultural-Communication①	1前		1								兼1
	Cross-cultural-Communication②	1前		1								兼1
	Japanese-Culture①	1前・後		1								兼1
	Japanese-Culture②	1前・後		1								兼1
	Media-Studies①	1後		1								兼1
	Media-Studies②	1後		1								兼1
	Discussion-Skills①	1前		1								兼1
	Discussion-Skills②	1前		1								兼1
	Academic-Presentation-Skills①	1後		1								兼2
	Academic-Presentation-Skills②	1後		1								兼2
	英語による教養①English World I	1前・後		1								兼1
	英語による教養②English World II	1前・後		1								兼1
	英語による教養③English World III	1前・後		1								兼1
	英語による教養④English World IV	1前・後		1								兼1
	英語による教養⑤English World V	1前・後		1								兼1
	英語による教養⑥English World VI	1前・後		1								兼1
	英語による教養⑦English World VII	1前・後		1								兼1
	英語による教養⑧English World VIII	1前・後		1								兼1
	ヨーロッパフランスの窓から	1後		2								兼1
	教育と国際化	1後		2								兼1
	日本の教育と若者文化	1前		2								兼1
	日本古代文化史	1前		2								兼1
	異文化理解実地研究 I	1前・後		2								
	異文化理解実地研究 II	1前・後		2								
	異文化理解実地研究 III	1前・後		2								
	日本国憲法	1前・後	2	2								兼1
	部落問題概論	1前・後		2								兼1
	持続発展教育と世界遺産	1前		2								兼1
日本美術の流れ	1前		2								兼1	
地域から見る世界史	1前		2								兼1	
地域史としての考古学	1後		2								兼1	
日本科学技術史概論	1後		2								兼1	
近現代外交史	1後		2								兼1	
政治と社会	1後		2								兼1	
ダイバーシティと人権	1前・後	2									兼12	
現代消費社会論	1前		2								兼1	
平和のための教育	1前		2								兼1	
現代社会学の方法と実践	1前		2								兼1	
現場に活かすスポーツ実践論	1前		2								兼1	
健康科学への招待	1前		2								兼3	
生活環境をさぐる	1前後		2								兼3	
地域連携学校教育入門-現代社会を生きる-	1前		2								兼1	
健康科学論	1前		2								兼1	
貨幣とわれわれの社会	1後		2								兼1	
都市防災対策と防災教育	1後		2								兼1	
心理生理学	1後		2								兼1	
性倫理と性教育	1後		2								兼1	
野外教育論	1後		2								兼1	
対人コミュニケーションの心理学	1後		2								兼1	
知的財産権入門	1後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	水と環境を考える	1前		2								兼1
	生命と共生	1前・後		2								兼1
	地球と災害	1前		2								兼1
	DNAを中心とした生命科学	1後		2								兼1
	はかってなんぼー環境をはかる	1後		2								兼1
	地球と環境	1後		2								兼1
	ミクロの生物学入門	1後		2								兼1
	大阪の環境と地球環境	1前・後		2								兼1
	自然史博物館への招待	1後		2								兼1
	生物学と医学の出会い	1後		2								兼1
	暮らしの環境と地図	1前		2								兼1
	持続可能な開発のための教育(ESD)概論	1後		2								兼1
	ベクトルとその応用を理解する	1前		2								兼1
	はかってなんぼー学校編	1前		2								兼1
	科学常識を考える	1前		2								兼1
	科学の基本	1前		2								兼1
	論理と数理パズル	1前		2								兼1
	歴史を変えた有機化合物	1後		2								兼1
	体験しよう! かがく実験	1後		2								兼1
	論理と数理パズル 上級編	1後		2								兼1
	宇宙の構成と歴史	1後		2								兼1
	キャリアデザイン	1前・後		2								兼1
	インターンシップとキャリア	1前		2								兼1
	学校教育と著作権	1前		2								兼1
	教育科学の基礎	1後		2								兼71
	ことばと教育	1後		2								兼1
	国際理解教育	1後前		2								兼21
	アジア理解教育	1後		2								兼2
	人間と道徳	1前		2								兼1
	教員のための数学	1後前		2								兼1
	環境教育論	1前		2								兼1
	消費者教育論	1後		2								兼1
	表現教育	1後前		2								兼3
	遊びとスポーツ	1前後		2								兼42
	教職実践論	1前・後		2								兼42
	教職キャリア形成論	1後		2								兼1
	知的財産教育論	1前		2								兼1
	資料・情報利用法	1後		2								兼1
	クリティカルシンキング入門	1後		2								兼1
	コンピュータを使った統計入門	1後		2								兼1
	メディア・リテラシー演習	1後		2								兼26
	科学的・批判的思考の実践	1前		2								兼1
	古典から学ぶ大学	1前		2								兼45
	アクティブ・ラーニング入門	1前		2								兼2
	海外文化研究	1前		2								兼6
	「障害」者と人権	1前・後		2								兼1
	ジェンダーとセクシュアリティ	1前・後		2								兼1
	共生社会論	1前		2								兼1
	国際理解	1後		2								兼1
	多文化共生の社会をめざして	1前		2								兼1
	障害 が いい者支援入門	1後		2								兼1
	外国人児童生徒教育	1前後		2								兼42
共通基礎科目	英語(T)Ia	1前	1				+	+				兼2
	英語(T)Ib	1後	1					+				兼2
	英語(T)IIa	2前	2				1					
	英語(T)IIb	2後	2				1	1				
	ドイツ語Ia	1前	1									兼45
	ドイツ語Ib	1後	1									兼45
	ドイツ語IIa	2前	2									兼1
	ドイツ語IIb	2後	2									兼1
	フランス語Ia	1前	1									兼43
	フランス語Ib	1後	1									兼43
	フランス語IIa	2前	2									兼1
	フランス語IIb	2後	2									兼1
	中国語Ia	1前	1									兼45
	中国語Ib	1後	1									兼45
中国語IIa	2前	2									兼1	
中国語IIb	2後	2									兼1	
	外国語コミュニケーション	2前・後	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	韓国語Ia	1前		1								兼1
	韓国語Ib	1後		1								兼1
	韓国語IIa	2前		2								兼1
	韓国語IIb	2後		2								兼1
	日本語Ia	1前		1								兼1,2
	日本語Ib	1後		1								兼1,2
	日本語IIa	2前		2								兼1
	日本語IIb	2後		2								兼1
	スポーツ実技a	1前	1				1					兼1,2
	スポーツ実技b	1後	1				1					兼1,2
	ICT基礎a	1前	2						1			兼2
	ICT基礎b	1後	1			1	1		1			
教職基礎科目	特別なニーズのある子どもの教育	1前・後	2				1					兼1
	人権教育論	2後	2									兼1
	学校安全	2前	2									兼1
	幼小連携教育論	3前	2			1	1					
	インクルーシブ教育システム [※] 概論	1前	2									兼1
発達障害教育Ⅰ	2前	2									兼1	
発達障害指導論教育Ⅱ	4前	2									兼1	
教職関連科目	教職入門	1前	2				1					
	教育総論	1後	2				1					兼1
	発達と学習の心理学	1前後	2			1						兼1
	学校の役割と経営	2前	2									兼1
	幼児教育課程論Ⅰ	2前	2				1					
	幼児教育課程論Ⅱ	3後	2				1					
	幼児教育指導法Ⅰ	2前	2									兼1
	幼児教育指導法Ⅱ	3後	2									兼1
	幼児臨床学理解と教育相談	3後	2			1						
	教育実習	3後	5			1						
	教職実践演習(幼・小)	4後	2			3	3					
	教職入門	1前	2				1					
	教育総論	1後	2				1					兼1
	発達と学習の心理学	1前後	2			1						兼1
	学校の役割と経営	2前	2									兼1
	教育実践論教育課程・方法論	2前	2			1						
	特別活動論	3前	2									兼1
	道徳教育論	3後	2				1					
	生徒指導・進路指導論	2前	2									兼1
	教育相談の心理学	3後	2			1						
	教育実習	3後	5									兼1
	教職実践演習(幼・小)	4後	2			2	2					
	健康の指導法	2後	2									兼1
	環境の指導法	2前	2									兼1
	表現の指導法Ⅰ	2前	1									兼1
	表現の指導法Ⅱ	2後	1									兼1
	人間関係の指導法	2前	2			1						
	言葉の指導法	2前	2									兼1
	初等国語科教育法(書写を含む。)	3前	2			1						
	初等社会科教育法	3前	2									兼1
算数科教育法	3前	2				1						
初等理科教育法	3後	2									兼1	
生活科教育法	2前	2									兼1	
初等音楽科教育法	3後	2				1						
図画工作科教育法	2前	2				1						
初等家庭科教育法	2後	2									兼1	
体育科教育法	2後	2				1						
初等英語科教育法	3後	2				1						
幼児教育インターンシップ	2通	2			1	1						
学校インターンシップ体験	2通	2			1							
専攻専門科目	家庭地域連携の政策	4前	2									兼1
	就学前の教育学	2前	2									兼2
	表現指導演習Ⅰ	3後	1									兼1
	表現指導演習Ⅱ	4前	1									兼1
	表現指導基礎演習Ⅰ	2前	1				1					
	表現指導基礎演習Ⅱ	2後	1				1					
	保育とダイバーシティ	3後	2									兼2
	保育内容実践演習Ⅰ(からだリズム)	3後	1									兼2
	保育内容特講	4前	2				1					
	幼児教育学特講	4前	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
	幼児教育研究調査法Ⅰ	2前	1			1						
	幼児教育研究調査法Ⅱ	2後	1			1						
	幼児教育実践研究Ⅰ	3前		1			1					
	幼児教育実践研究Ⅱ	3後		1			1					
	幼児教育実践研究Ⅲ	4前		1		1	2					
	幼児教育実践研究Ⅳ	4後		1		1	2					
	幼児教育実践総論	1前	2									兼2
	幼児教育分析演習	3後	1									兼2
	幼児心理学特講	1前	2			1						
	保育内容実践演習Ⅱ(いのちとつながり)	3後		1								兼2
	保育内容実践演習Ⅲ(ふしぎとアート)	3前		1								兼2
	保育内容実践演習Ⅳ(かたりとドラマ)	3前		1								兼2
	保育内容実践演習Ⅴ(うたとあそび)	3前		1								兼2
	幼児教育プロジェクト演習Ⅰ	3前	1			1	2					
	幼児教育プロジェクト演習Ⅱ	3後	1			1	2					
	幼児教育探究演習Ⅰ	4前	1			1	2					
	幼児教育探究演習Ⅱ	4後	1			1	2					
	音楽	1前後	2				+					兼1
	図画工作Ⅰ	1前	1				+					兼1
	図画工作Ⅱ	1後	1				+					兼1
	体育Ⅰ	1前後	1									兼14
	体育Ⅱ	1後前	1									兼15
	国語Ⅰ	1前・後	1			+						兼8
	国語(書写)Ⅱ	1前・後	1				+					兼4
	算数	1前・後	2				+					兼2
	生活	1前・後	2									兼1
	英語	3前	2			1						
	ピアノ表現演習Ⅰ	1前	1				1					
	ピアノ表現演習Ⅱ	1後	1				1					
	社会	1前・後		2								兼9
	理科A	1後		2		2						兼4
	理科B	1前・後		2		1	1					兼9
	家庭	2前		2								兼15
	国語Ⅰ	1前・後		1		+						兼8
	国語(書写)Ⅱ	1前・後		1								兼4
	社会	1前・後		2		2						兼9
	算数	1前・後		2		+						兼2
	理科A	1後		2		2						兼4
	理科B	1前・後		2		1	1					兼9
	生活	1前・後		2								兼1
	音楽	1後		2		+						兼1
	図画工作Ⅰ	1後前		1			+					兼1
	図画工作Ⅱ	2前1後		1			+					兼1
	家庭	1前・1中・1後		2								兼15
	体育Ⅰ	1前後		1			+					兼4
	体育Ⅱ	1後前		1			+					兼5
	英語	3前		2		1						
系列専門科目	課題研究Ⅰ	4前	1			1						
	課題研究Ⅱ	4後	1			1						
	教育学研究Ⅰ	3前		2			1					
	教育学研究Ⅱ	3後		2			1					
	特別支援教育研究Ⅰ	3前		2			1					
	特別支援教育研究Ⅱ	3後		2			1					
	学校臨床心理学	3後		2		1						
	心理学研究法Ⅰ	3前		2		1						
	心理学研究法Ⅱ	3後		2		1						
	学びつづける教師論	4前		2		1						
	学校づくりと授業づくり	4前		2								
	心理学特講	3前		2								
	メディア・エデュケーション	3後		2								兼1
	学校インターンシップⅠ	3通		2		1						
	学校インターンシップⅡ	4通		2		1						
	海外教育実践研究	3前		2		1						
	野外活動研究	3後		2		1						
	ものづくり教育研究Ⅰ	3前		2					1			
	ものづくり教育研究Ⅱ	3後		2					1			
	ICT教育の実践研究	3後		2					1			
	場面指導とロールプレイ	4前		2								兼1
	英語科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
	英語科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1						
	英語科学習指導研究	4前		2		1						
	音楽科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1						
	音楽科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1						
	音楽実技Ⅰ	3前		1		1						
	音楽実技Ⅱ	3後		1		1						
	音楽実技Ⅲ	4前		1		1						
	音楽実技Ⅳ	4後		1		1						
	音楽演奏研究Ⅰ	4前		2		1						
	音楽演奏研究Ⅱ	4後		2		1						
	国語科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1						
	国語科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1						
	自然の科学	3後		2		1						
	自然の科学Ⅰ	3後		2		1						
	自然の科学Ⅱ	4前		2		1						
	数学・数学教育実践	3後		2			1					
	基礎数学	3後		2			1					
	理科実験の指導法Ⅰ	3後		2		1						
	理科実験の指導法Ⅱ	4前		2		1						
	社会科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1						
	社会科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1						
	数学・数学教育演習	4前		2			1					
	数学入門	3前		2			1					
	図画工作科学習指導研究	4前		2			1					
	図画工作科学習指導演習	4後		2			1					
	学校保健学	3前		2								兼1
	保健指導論	3後		2								兼1
	体育科学習指導研究	4前		2			1					
	生活科学	3後		2								兼1
自由選択科目	学校経営と学校図書館	3前		2								兼1
	学校図書館メディアの構成	3前		2								兼1
	学習指導と学校図書館	3後		2								兼1
	読書教育と図書館	3前		2								兼1
	情報メディアの活用	3前		2								兼1
	卒業研究	4通	4			10	10	1				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・英語による教養科目群を整理するために、「英語による教養①～⑧」の授業科目名称を「English World I～Ⅷ」に変更した。
- ・教職課程認定申請の審査委員会指摘に対応するために、教職関連科目の「教育実践論」を「教育課程・方法論」に名称変更し、新たに「特別活動論」を新設した。
- ・その他時間割編成の都合等により配当年次や専任教員等の配置の変更等を行った。

【平成30年度】

- ・英語による教養科目群を拡充するために、「English World IX・X」を新設した。
- ・その他時間割編成の都合等により配当年次や専任教員等の配置の変更等を行った。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
94 科目	202 科目	0 科目	296 科目	96 科目 [2]	191 科目 [△11]	0 科目 [-]	287 科目 [△9]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	持続発展教育と世界遺産	2	1前	一般	選択	他大学からの遠隔授業であったが、提供大学が提供を取りやめたため。代替措置無
2	地域から見る世界史	2	1前	一般	選択	教養基礎科目群の整理を行ったため。代替措置無
3	現代消費社会論	2	1前	一般	選択	
4	平和のための教育	2	1前	一般	選択	
5	都市防災対策と防災教育	2	1後	一般	選択	授業担当教員の退職。代替措置無
6	健康科学論	2	1前	一般	選択	他大学からの遠隔授業であったが、提供大学が提供を取りやめたため。代替措置無
7	心理生理学	2	1後	一般	選択	
8	野外教育論	2	1後	一般	選択	
9	持続可能な開発のための教育 (ESD) 概論	2	1後	一般	選択	授業担当教員の退職。代替措置無
10	宇宙の構成と歴史	2	1後	一般	選択	

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

授業担当教員の退職や他大学からの提供取りやめなど、やむを得ない措置と考えています。学生へは履修便覧等で、適切に周知を行っています。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{10}{296} = \boxed{3.37} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 (借用面積：2,409㎡ 借用期間：1年(毎年更新))	
	校舎敷地	229,161㎡	㎡	㎡	㎡		
	運動場用地	107,723㎡	㎡	㎡	㎡		
	小 計	336,884㎡	㎡	㎡	㎡		
	そ の 他	381,206㎡	㎡	㎡	㎡		
	合 計	718,090㎡	㎡	㎡	㎡		
(2) 校舎	専 用	84,133㎡	㎡	㎡	84,133㎡	大学全体	
	(84,133㎡)	(㎡)	(㎡)	(84,133㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
	118室	46室	111室	9室 (補助職員 0人)	4室 (補助職員 1人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
	教育学部 初等教育教員養成課程			22 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル			
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点	
	教育学部 初等教育 教員養成課程	862,929 [187,367] 923,374 [188,601] (834,219 [185,066]) (910,792 [187,539])	17,432 [3,315] 18,700 [3,425] (17,432 [3,315]) (18,700 [3,425])	6,060 [5,490] 5,467 [5,466] (6,060 [5,490]) (5,467 [5,466])	19,014 19,787 (17,922) (19,278)	0 (0)	0 (0)
計	862,929 [187,367] 923,374 [188,601] (834,219 [185,066]) (910,792 [187,539])	17,432 [3,315] 18,700 [3,425] (17,432 [3,315]) (18,700 [3,425])	6,060 [5,490] 5,467 [5,466] (6,060 [5,490]) (5,467 [5,466])	19,014 19,787 (17,922) (19,278)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 閲覧座席数及び収納可能冊数 柏原キャンパス分から大学全体 数値に変更(30)
	8,335㎡		718855		1,362,7001,500,700		
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	7,629㎡		野 球 場 テニスコート(杉=8面、ク=7面)				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	〇〇大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
教育学部	年	人	年次人	人		倍		大阪府柏原市旭ヶ丘4丁目698番1号 (※の課程及び専攻) 大阪市天王寺区南河堀町4番88号	
初等教育教員養成課程	4	60	-	240	学士(教育学)	1.00	平成29年	※3年次より	
初等教育教員養成課程(夜間)	5	40	50	275	学士(教育学)	1.02	平成29年	※	
学校教育教員養成課程	4	395	-	1580	学士(教育学)	1.04	平成22年		
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士(教育学)	0.95	昭和51年		
教育協働学科	4	405	-	1400	学士(教育学)	1.02	平成29年		
幼稚園教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	昭和42年		平成29年より学生募集停止
特別支援教育教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	昭和63年		平成29年より学生募集停止
小学校教員養成5年課程	5	-	-	-	学士(教育学)	-	昭和48年	※	平成29年より学生募集停止 三年次編入は平成31年より学生募集停止
教養学科	4	-	-	-	学士(教養)	-	昭和63年		平成29年より学生募集停止
大学の名称	大阪教育大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	15	-	30	修士(教育学)	0.99	昭和43年		
国語教育専攻	2	6	-	12	修士(教育学)	0.58	昭和43年		
社会科教育専攻	2	15	-	30	修士(教育学)	0.93	昭和43年		
数学教育専攻	2	7	-	14	修士(教育学)	0.57	昭和43年		
理科教育専攻	2	14	-	28	修士(教育学)	0.64	昭和43年		
英語教育専攻	2	6	-	12	修士(教育学)	1.83	昭和43年		
家政教育専攻	2	5	-	10	修士(教育学)	0.70	昭和49年		
音楽教育専攻	2	11	-	22	修士(教育学)	0.77	昭和50年		
美術教育専攻	2	10	-	20	修士(教育学)	0.55	昭和50年		
保健体育専攻	2	10	-	20	修士(教育学)	1.15	昭和50年		
特別支援教育専攻	2	10	-	20	修士(教育学)	1.00	昭和51年		
技術教育専攻	2	3	-	6	修士(教育学)	1.16	平成5年		
養護教育専攻	2	3	-	6	修士(教育学)	0.66	平成14年		
実践学校教育専攻	2	15	-	30	修士(教育学)	0.79	平成8年	※	
健康科学専攻	2	21	-	42	修士(学術)	1.16	平成5年	※	
総合基礎科学専攻	2	16	-	32	修士(学術)	0.71	平成5年		
国際文化専攻	2	12	-	24	修士(学術)	0.58	平成6年		

芸術文化専攻	2	12	-	24	修士 (芸術)	1.20	平成7年	
連合教職実践研究科 高度教職開発専攻	2	30	-	60	教職修士	1.18	平成27年	※
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)								
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。								

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

該当なし

【平成27年度】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	〇〇〇〇 (59) <平成27年4月> 国際経済学 日本経済概論									
専	准教授	△△△△ (50) <平成28年4月> 商法	専	准教授	△△△△ (51) <平成28年4月> 商法	専	准教授	△△△△ (52) <平成28年10月> 商法	専	准教授	△△△△ (53) <平成28年10月> 商法
専	講師	□□□□ (35) <平成29年10月> 金融論	専	講師	□□□□ (36) <平成29年10月> 金融論	専	講師	□□□□ (37) <平成29年10月> 金融論			
			専	教授	※※※※ (60) <平成27年4月> 国際経済学 日本経済概論 経済学入門	専	教授	※※※※ (61) <平成27年4月> 国際経済学 日本経済概論 経済学入門	専	教授	※※※※ (62) <平成27年4月> 国際経済学 日本経済概論 経済学入門
									専	講師	◇◇◇◇ (35) <平成29年10月> 金融論 市場論
兼任	准教授	▲▲▲▲ (50) <平成28年4月> 英語	兼任	准教授	▲▲▲▲ (51) <平成28年4月> 英語	兼任	准教授	▲▲▲▲ (52) <平成28年4月> 英語	兼任	准教授	▲▲▲▲ (54) <平成28年4月> 英語
兼任	講師	■ ■ ■ ■ (35) <平成27年4月> 化学	兼任	講師	■ ■ ■ ■ (36) <平成27年4月> 化学	兼任	講師	■ ■ ■ ■ (37) <平成27年4月> 化学			
									兼任	講師	◆◆◆◆ (35) <平成29年4月> 化学
兼任	教授	▽▽▽▽ (55) <平成27年10月> 文化人類学	兼任	教授	▽▽▽▽ (56) <平成27年10月> 文化人類学	兼任	教授	▽▽▽▽ (57) <平成27年10月> 文化人類学	兼任	教授	▽▽▽▽ (58) <平成27年10月> 文化人類学
									兼任	講師	◆◆◆◆ (36) <平成29年4月> 化学
									兼任	教授	▽▽▽▽ (59) <平成27年10月> 文化人類学

(注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、堅可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

該当なし

平成29年10月から専任教員採用予定で公募中。

【平成30年度】

(記入例)

- 平成29年10月〇〇講師就任。平成29年6月教員審査済み。

- (注)
- 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 既に設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
22 名	11 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
10	10	1	0	21	12	10	1	0	23	12	10	1	0	23
(12)	(11)	(0)	(0)	(23)						[+2]	[0]	[0]	[0]	[+2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 70(特任教員)	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{21} = \boxed{109.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

自由の別			担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
該当なし			○○概論	①	……………のため就任辞退（28）		
			◆◆基礎	②			
			☆☆演習	③			
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退（30）	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計（D）				後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
○○	人	必修	#VALUE! 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

自由の別			担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
該当なし			○○概論	①	H28. 3. 31付け……………のため辞任（28）		
			◆◆基礎	②			
			☆☆演習	③			
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	H30. 3. 31付け……………のため辞任（30）	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計（F）				後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
○○	人	必修	#VALUE! 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

自由の別		後任補充状況の集計（E）+（G）							
		の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
#VALUE!	人	必修	#VALUE! 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目
		計	#VALUE! 科目	計	##### 科目	計	##### 科目	計	##### 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{\#VALUE!}{0} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	理由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
2	准教授	△△ △△	自由	○○概論	H28.3.31付け65歳で定年退職 (28)		
			必修	◆◆基礎			
			必修	☆☆演習			
			必修	××語			
			自由	××語	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)		
		必修	▲▲実習				
		必修	◇◇特論				
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	#VALUE! 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 20px; width: 100px; margin: 0 auto;"> <p>該当なし</p> </div>

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

該当なし		等	履 行 状 況		未履行事項について の実施計画
(〇〇年〇〇月)		留意事項		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・大学設置基準に抵触 するため、改めるこ と。(△△学部△△学 科)	是正意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見		履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・××学部××学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(□□学 科、■ ■学科)の～す ること。	改善意見		履行済	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<教育学部 初等教育教員養成課程>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
修了要件単位数 【幼児教育専攻】 教養基礎科目から16単位、共通基礎科目から13単位、教職基礎科目から8単位、教職関連科目から37単位、専攻専門科目から40単位以上を修得し、128単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：26単位(各学期)) 【小学校教育専攻(昼間コース)】 教養基礎科目から16単位、共通基礎科目から13単位、教職基礎科目から8単位、教職関連科目から45単位、専攻専門科目から34単位以上を修得し、128単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：26単位(各学期))	【小学校教育専攻(昼間コース)】 の修得単位数内訳 教職関連科目から45単位 →教職関連科目から47単位

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 ファカルティ・ディベロップメント事業推進委員会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 第11回 平成30年4月24日開催 委員4名全員出席</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 全学FDに関する基本方針の策定に関する事項 (2) 全学FD事業の企画・運営・実施に関する事項 (3) 全学FD事業の評価に関する事項 (4) 学外とのFDに関わる連携に関する事項 (5) その他委員会が必要と認める事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学FD事業 ・ 教員相互の授業参観 ・ 成績評価の厳格化への取り組み <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学FD事業 : 年に3回程度テーマを変えて開催している。 ・ 教員相互の授業参観 : 参観を希望する教員が授業担当教員へ連絡し、任意の時期に参観を行っている。 ・ 成績評価の厳格化への取り組み 同一名称複数開講科目に係る成績分布の精査・分析を学期ごとにまとめ、開講部局へ改善を促している。 <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 実施結果や参加状況を各部局へ通知し、FD活動に参加するよう各教員へ促す。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 前期(5月～8月)及び後期(11月～翌年2月)に実施</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教員に対しては結果を紙で通知するとともに、どのような改善や工夫を行ったかアンケートを行っている。 また、学生へは大学のホームページ上で集計結果を公開している。</p>

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は、平成29年4月開設の新設学科であるため、目的の達成状況について現時点で評価することは困難であるが、設置計画どおりに順調に推移しているものと考えられる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成31年1月31日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を作成し、教職員共通ポータルサイトに掲載
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成31年1月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成32年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (30年 5月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

注3

大学番号：056

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

大阪教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程（夜間）

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人大阪教育大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営戦略課

職名・氏名 経営戦略係主任 ヒダカ アカネ 日高 茜

電話番号 072-978-3208

F A X 072-978-3225

e-mail kikaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

＜初等教育教員養成課程（夜間）＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2. 授業科目の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
5. 教員組織の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	・・・・・・・・・・・・・・・・	24
7. その他全般的事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人大阪教育大学

(2) 大学名

大阪教育大学

(3) 大学の位置

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88
(本部 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(クリバヤシ スミオ) 栗林 澄夫 (平成26年4月)	—	
初等教育課程長	(オオキ アイイチ) 大木 愛一 (平成28年5月)	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 初等教育教員養成課程(夜間) 学士(教育学)	教育学・保育学関係	5年	40人	3年次 25人	275人	開設時期 平成29年4月(第1年次) 平成31年4月(第3年次)

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40 () []	-	40人 () []	-	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.02倍	
志願者数	200 () []	-	219 () []	-	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	129 () []	-	115 () []	-	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	46 () []	-	46 () []	-	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	41 () []	-	41 () []	-	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.02		1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	41 [0] (-)	- [-] (-)	41 [0] (-)	0 [0] (-)							
2年次	/		41 [0] ()	0 [0] ()							
3年次			/								
4年次	/										
5年次			/								
計	41 [0] (-)				82 [0] ()						

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	41人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	82人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合計	123人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 初等教育教員養成課程（夜間）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎科目	文学入門	1前		2		1						
	芸術Ⅰ	1前		2		1						
	芸術Ⅱ	1後		2							兼1	
	異文化理解とコミュニケーション	1前		2							兼1	
	大阪学	1後		2							兼1	
	日本国憲法	1前	2								兼1	
	人文・社会科学入門	1前		2		1					兼1	
	ダイバーシティと人権	1前	2								兼1	
	心理学入門	1後		2		1						
	生物の情報	1前		2							兼1	
	健康と科学	1後		2			1					
	数学概論	1前		2			1					
	身の回りの科学	1後		2			1					
	大阪の教育実践	1前		2		1						
	キャリア教育	1後		2							兼1	
	ゼミナール	1前	2			1						
言語表現とコミュニケーション	1後		2		1							
身体表現とコミュニケーション	1後		2							兼1		
ジェンダーとセクシュアリティ	1前		2							兼1		
障がい者支援入門	1前		2							兼1		
アジア文化理解	1後		2							兼1		
共通基礎科目	英語ⅠA	1前	1				1					
	英語ⅠB	1後	1				1					
	英語ⅡA(外国語コミュニケーション)	2前	1			1						
	英語ⅡB(外国語コミュニケーション)	2後	1			1						
	ドイツ語ⅠA	1前		1							兼1	
	ドイツ語ⅠB	1後		1							兼1	
	ドイツ語ⅡA	2前		1							兼1	
	ドイツ語ⅡB	2後		1							兼1	
	中国語ⅠA	1前		1							兼1	
	中国語ⅠB	1後		1							兼1	
	中国語ⅡA	2前		1							兼1	
	中国語ⅡB	2後		1							兼1	
	韓国語ⅠA	1前		1							兼1	
	韓国語ⅠB	1後		1							兼1	
	韓国語ⅡA	2前		1							兼1	
	韓国語ⅡB	2後		1							兼1	
	スポーツ実技Ⅰ	1前	1				1					
スポーツ実技Ⅱ	1後	1				1						
ICT基礎a	1前	2					1					
ICT基礎b	1後	1					1					
教職基礎科目	特別なニーズのある子どもの教育	2前	2			1						
	人権教育論	3前	2								兼1	
	学校安全	4前	2								兼1	
	保育と子ども	3前		2							兼1	
	インクルーシブ教育システム基礎論	1前		2							兼1	
	発達障害教育	2前		2							兼1	
発達障害指導論	4前		2							兼1		
教職関連科目	教職入門	1前	2			1						
	教育総論	2前	2			1						
	発達と学習の心理学	3前	2			1						
	学校の役割と経営	3前	2								兼1	
	教育実践論	4前		2		1						
	道徳教育論	4前		2			1					
	生徒指導・進路指導論	3前		2							兼1	
	教育相談の心理学	3後		2		1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎科目	文学入門	1前		2		+						兼1
	芸術Ⅰ	1前後		2		1						兼1
	芸術Ⅱ(未開講)	1後		2								兼1
	異文化理解とコミュニケーション(未開講)	1前後		2								兼1
	大阪学(未開講)	1後前		2		1						兼1
	日本国憲法	1前後	2									兼1
	人文・社会科学入門	1後前		2		+						兼1
	ダイバーシティと人権	1前	2									兼1
	心理学入門(未開講)	1後		2		+						
	生物の情報	1前		2								兼1
	健康と科学(未開講)	1後		2				1				
	数学概論	1前		2				1				
	身の回りの科学	1後		2			1		1			
	大阪の教育実践	1前後		2		1						兼1
	キャリア教育	1後		2								兼1
	ゼミナール	1前	2			1						
言語表現とコミュニケーション	1後		2		+						兼1	
言語表現とコミュニケーションⅠ	1後	1									兼1	
言語表現とコミュニケーションⅡ	1後	1									兼1	
身体表現とコミュニケーション	1後		2								兼1	
ジェンダーとセクシュアリティ	1前		2								兼1	
障がい者支援入門(未開講)	1後		2								兼1	
アジア文化理解	1後前		2								兼1	
共通基礎科目	英語ⅠA	1前	1			+		1				兼1
	英語ⅠB	1後	1					1				兼1
	英語ⅡA(外国語コミュニケーション)	2前	1			+						兼2
	英語ⅡB(外国語コミュニケーション)	2後	1			+						兼2
	ドイツ語ⅠA	1前		1								兼1
	ドイツ語ⅠB	1後		1								兼1
	ドイツ語ⅡA	2前		1								兼1
	ドイツ語ⅡB	2後		1								兼1
	中国語ⅠA	1前		1								兼1
	中国語ⅠB	1後		1								兼1
	中国語ⅡA	2前		1								兼1
	中国語ⅡB	2後		1								兼1
	韓国語ⅠA	1前		1								兼1
	韓国語ⅠB	1後		1								兼1
	韓国語ⅡA	2前		1								兼1
	韓国語ⅡB	2後		1								兼1
	スポーツ実技Ⅰ	1前	1					1				
スポーツ実技Ⅱ	1後	1					1					
ICT基礎a	1前	2					1		+			
ICT基礎b	1後前	1					1		+		兼1	
教職基礎科目	特別なニーズのある子どもの教育	2前	2					1				
	人権教育論	3前	2									兼1
	学校安全	4前	2									兼1
	保育と子ども	3前		2								兼1
	インクルーシブ教育システム基礎論	1前後		2								兼1
	発達障害教育Ⅰ	2前後		2				1				兼1
発達障害指導論Ⅱ	4前		2								兼1	
教職関連科目	教職入門	1前	2					1				兼1
	教育総論	2前	2					1				
	発達と学習の心理学	3前	2					1				
	学校の役割と経営	3前	2									兼1
	教育実践論	4前		2				+				
	教育課程・方法論	4前		2				1				
	特別活動論	4前		2				1				
	道徳教育論	4前		2					1			
	生徒指導・進路指導論	3前		2								兼1
	教育相談の心理学	3後		2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	教育実習Ⅰ	4後	2								兼1
	教育実習Ⅱ	5前	3								兼1
	教職実践演習(小)	5後	2			2	2				
	初等国語科教育法(書写を含む。)	3前	2			1					
	初等社会科教育法	3前	2								兼1
	算数科教育法	4前	2				1				
	初等理科教育法	3後	2								兼1
	生活科教育法	2後	2								兼1
	初等音楽科教育法	4前	2				1				
	図画工作科教育法	3後	2				1				
	初等家庭科教育法	4後	2								兼1
	体育科教育法	4後	2				1				
	初等英語科教育法	3後	2				1				
	学校インターンシップ体験	2通	2				1				
専攻専門科目	国語(書写を含む。)	1前	2			1					
	社会Ⅰ	1前	2			2					
	社会Ⅱ	2前	2			2					
	算数	1前	2			1					
	理科Ⅰ	1前	2			2					
	理科Ⅱ	2前	2			1	1				
	生活	2前	2								兼1
	音楽Ⅰ	2前	1			1					
	音楽Ⅱ	2後	1			1					
	図画工作Ⅰ	2前	1				1				
	図画工作Ⅱ	2後	1				1				
	家庭	2前	2								兼1
	体育Ⅰ	2前	1				1				
	体育Ⅱ	2後	1				1				
英語	3前	2				1					
系列専門科目	課題研究Ⅰ	5前	1			1					
	課題研究Ⅱ	5後	1			1					
	教育学研究Ⅰ	3後		2			1				
	教育学研究Ⅱ	4前		2			1				
	メディア・エデュケーション	3後		2							兼1
	特別支援教育研究	4前		2			1				
	心理学特講	4前		2			1				
	学びつづける教師論	5前		2			1				
	学校づくりと授業づくり	5前		2			1				
	学校臨床心理学	3後		2			1				
	心理学研究法Ⅰ	3後		2			1				
	特別支援教育研究Ⅱ	4前		2				1			
	心理学研究法Ⅱ	4前		2			1				
	学校インターンシップⅠ	3通		2			1				
	学校インターンシップⅡ	4通		2			1				
	学校インターンシップⅢ	5通		2			1				
	海外教育実践研究	3前		2			1				
	野外活動研究	3後		2			1				
	場面指導とロールプレイ	4前		2							兼1
	ものづくり教育研究Ⅰ	3後		2					1		
	ものづくり教育研究Ⅱ	4前		2					1		
	ICT教育の実践研究	4後		2					1		
	英語科学習指導研究	4前		2			1				
	音楽演奏研究Ⅰ	5前		2			1				
	音楽演奏研究Ⅱ	5後		2			1				
	音楽実技Ⅰ	3前		1			1				
	音楽実技Ⅱ	3後		1			1				
	音楽実技Ⅲ	4前		1			1				
	音楽実技Ⅳ	4後		1			1				
	学校保健学	3前		2							兼1
	工芸	3後		1				1			
	国語科学習指導研究Ⅰ	3後		2			1				
	国語科学習指導研究Ⅱ	4前		2			1				
	自然の科学Ⅰ	3後		2			1				
	自然の科学Ⅱ	4前		2			1				
	数学・数学教育研究Ⅰ	3後		2				1			
	数学・数学教育研究Ⅱ	4前		2				1			
図画工作科学習指導演習	4前		2				1				
図画工作科学習指導研究	4後		2				1				
生活科学	3後		2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	教育実習Ⅰ	4後	2								兼1
	教育実習Ⅱ	5前	3								兼1
	教職実践演習(小)	5後	2				2	2			
	初等国語科教育法(書写を含む。)	3前	2				1				
	初等社会科教育法	3前	2								兼1
	算数科教育法	4前	2					1			
	初等理科教育法	3後	2								兼1
	生活科教育法	2後	2								兼1
	初等音楽科教育法	4前	2				1				
	図画工作科教育法	3後	2				1				
	初等家庭科教育法	4後	2								兼1
	体育科教育法	4後	2				1				
	初等英語科教育法	3後	2				1				
	学校インターンシップ体験	2通	2					1			
専攻専門科目	国語(書写を含む。)	1前	2				1				
	社会Ⅰ	1前	2				2				兼2
	社会Ⅱ	2前	2				2				
	算数	1前	2				1				
	理科Ⅰ	1前	2				2				
	理科Ⅱ	2前	2				1	1			
	生活	2前	2								兼1
	音楽Ⅰ	2前	1				1				
	音楽Ⅱ	2後	1				1				
	図画工作Ⅰ	2前	1					1			
	図画工作Ⅱ	2後	1					1			
	家庭	2前	2								兼1
	体育Ⅰ	2前	1					1			
	体育Ⅱ	2後	1					1			
英語	3前	2					1				
系列専門科目	課題研究Ⅰ	5前	1				1				
	課題研究Ⅱ	5後	1				1				
	教育学研究Ⅰ	3後		2				1			
	教育学研究Ⅱ	4前		2				1			
	メディア・エデュケーション	3後		2							兼1
	特別支援教育研究	4前		2				1			
	心理学特講	4前		2				1			
	学びつづける教師論	5前		2				1			
	学校づくりと授業づくり	5前		2				1			
	学校臨床心理学	3後		2				1			
	心理学研究法Ⅰ	3後		2				1			
	特別支援教育研究Ⅱ	4前		2					1		
	心理学研究法Ⅱ	4前		2				1			
	学校インターンシップⅠ	3通		2				1			
	学校インターンシップⅡ	4通		2				1			
	学校インターンシップⅢ	5通		2				1			
	海外教育実践研究	3前		2				1			
	野外活動研究	3後		2				1			
	場面指導とロールプレイ	4前		2							兼1
	ものづくり教育研究Ⅰ	3後		2					1		
	ものづくり教育研究Ⅱ	4前		2					1		
	ICT教育の実践研究	4後		2					1		
	英語科学習指導研究	4前		2				1			
	音楽演奏研究Ⅰ	5前		2				1			
	音楽演奏研究Ⅱ	5後		2				1			
	音楽実技Ⅰ	3前		1				1			
	音楽実技Ⅱ	3後		1				1			
	音楽実技Ⅲ	4前		1				1			
	音楽実技Ⅳ	4後		1				1			
	学校保健学	3前		2							兼1
	工芸	3後		1					1		
	国語科学習指導研究Ⅰ	3後		2				1			
	国語科学習指導研究Ⅱ	4前		2				1			
	自然の科学Ⅰ	3後		2				1			
	自然の科学Ⅱ	4前		2				1			
	数学・数学教育研究Ⅰ	3後		2					1		
	数学・数学教育研究Ⅱ	4前		2					1		
図画工作科学習指導演習	4前		2					1			
図画工作科学習指導研究	4後		2					1			
生活科学	3後		2							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
	体育科学習指導研究	4前	2				1						
	メディアと造形表現	3前	2				1						
	理科実験の指導法Ⅰ	3後	2			1							
	理科実験の指導法Ⅱ	4前	2			1							
	基礎数学	3後	2				1						
	社会科学習指導研究Ⅰ	3後	2			1							
	社会科学習指導研究Ⅱ	4前	2			1							
	保健指導論	3後	2									兼1	
	英語科学習指導研究Ⅰ	3後	2			1							
	英語科学習指導研究Ⅱ	4前	2			1							
	数学入門	3前	2				1						
	自然の科学	3後	2			1							
	音楽科学習指導研究Ⅰ	3後	2			1							
	音楽科学習指導研究Ⅱ	4前	2			1							
自由 選択 科目	学校経営と学校図書館	2前	2									兼1	
	学校図書館メディアの構成	2前	2									兼1	
	学習指導と学校図書館	2後	2									兼1	
	読書教育と図書館	2前	2									兼1	
	情報メディアの活用	2前	2									兼1	
卒業研究	5通	4				10	10	1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
	体育科学習指導研究	4前	2				1						
	メディアと造形表現	3前	2				1						
	理科実験の指導法Ⅰ	3後	2			1							
	理科実験の指導法Ⅱ	4前	2			1							
	基礎数学	3後	2				1						
	社会科学習指導研究Ⅰ	3後	2			1							
	社会科学習指導研究Ⅱ	4前	2			1							
	保健指導論	3後	2									兼1	
	英語科学習指導研究Ⅰ	3後	2			1							
	英語科学習指導研究Ⅱ	4前	2			1							
	数学入門	3前	2				1						
	自然の科学	3後	2			1							
	音楽科学習指導研究Ⅰ	3後	2			1							
	音楽科学習指導研究Ⅱ	4前	2			1							
自由 選択 科目	学校経営と学校図書館	2前	2									兼1	
	学校図書館メディアの構成	2前	2									兼1	
	学習指導と学校図書館	2後	2									兼1	
	読書教育と図書館	2前	2									兼1	
	情報メディアの活用	2前	2									兼1	
卒業研究	5通	4				10	10	1					

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎科目	文学入門	1前		2		1						
	芸術 I	1前		2		1						
	芸術 II	1後		2								兼1
	異文化理解とコミュニケーション	1前後		2								兼1
	大阪学	1後前		2		1						兼1
	日本国憲法	1前後	2									兼1
	人文・社会科学入門	1後前		2		1						兼1
	ダイバーシティと人権	1前	2									兼1
	心理学入門	1後		2		1						
	生物の情報	1前		2								兼1
	健康と科学	1後		2			1					
	数学概論	1前		2			1					
	身の回りの科学	1後		2		1	1					
	大阪の教育実践	1前後		2		1						
	キャリア教育	1後		2								兼1
	ゼミナール	1前	2			1						
	言語表現とコミュニケーション	1後		2		1						兼1
	言語表現とコミュニケーション I	1後	1									兼1
	言語表現とコミュニケーション II	1後	1									兼1
	身体表現とコミュニケーション	1後		2								兼1
ジェンダーとセクシュアリティ	1前		2								兼1	
障がい者支援入門	1後		2								兼1	
アジア文化理解	1後前		2								兼1	
共通基礎科目	英語 I A	1前	1			1	1					
	英語 I B	1後	1				1					
	英語 II A(外国語コミュニケーション)	2前	1			1						
	英語 II B(外国語コミュニケーション)	2後	1			1						
	ドイツ語 I A	1前		1								兼1
	ドイツ語 I B	1後		1								兼1
	ドイツ語 II A	2前		1								兼1
	ドイツ語 II B	2後		1								兼1
	中国語 I A	1前		1								兼1
	中国語 I B	1後		1								兼1
	中国語 II A	2前		1								兼1
	中国語 II B	2後		1								兼1
	韓国語 I A	1前		1								兼1
	韓国語 I B	1後		1								兼1
	韓国語 II A	2前		1								兼1
	韓国語 II B	2後		1								兼1
	スポーツ実技 I	1前	1				1					
スポーツ実技 II	1後	1				1						
ICT基礎a	1前	2					1					
ICT基礎b	1後前	1			1		1				兼1	
教職基礎科目	特別なニーズのある子どもの教育	2前		2			1					
	人権教育論	3前		2								兼1
	学校安全	4前		2								兼1
	保育と子ども	3前		2								兼1
	インクルーシブ教育システム基礎論	1前後		2								兼1
	発達障害教育 I	2前		2								兼1
発達障害指導論教育 II	4前		2								兼1	
教職関連科目	教職入門	1前		2			1					兼1
	教育総論	2前		2			1					
	発達と学習の心理学	3前		2		1						
	学校の役割と経営	3前		2								兼1
	教育実践論	4前		2		1						
	教育課程・方法論	4前		2		1						
	特別活動論	4前		2		1						
	道徳教育論	4前		2			1					
	生徒指導・進路指導論	3前		2								兼1
	教育相談の心理学	3後		2		1						
	教育実習 I	4後		2								兼1
	教育実習 II	5前		3								兼1
	教職実践演習(小)	5後		2		2	2					
	初等国語科教育法(書写を含む。)	3前		2		1						
	初等社会科教育法	3前		2								兼1
	算数科教育法	4前		2			1					
	初等理科教育法	3後		2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	生活科教育法	2後	2									兼1
	初等音楽科教育法	4前	2				1					
	図画工作科教育法	3後	2				1					
	初等家庭科教育法	4後	2									兼1
	体育科教育法	4後	2				1					
	初等英語科教育法	3後	2				1					
	学校インターンシップ体験	2通	2				1					
	専攻専門科目	国語(書写を含む。)	1前後	2			1					
	社会Ⅰ	1前後	2			2						
	社会Ⅱ	2前	2			2						
	算数	1前	2			1						
	理科Ⅰ	1前後	2			2						
	理科Ⅱ	2前	2			1	1					兼1
	生活	2前	2									兼1
	音楽Ⅰ	2前	1				1					
	音楽Ⅱ	2後	1				1					
	図画工作Ⅰ	2前	1				1					
	図画工作Ⅱ	2後	1				1					
	家庭	2前	2									兼1
	体育Ⅰ	2前	1				1					
	体育Ⅱ	2後	1				1					
	英語	3前	2				1					
系列専門科目	課題研究Ⅰ	5前	1				1					
	課題研究Ⅱ	5後	1				1					
	教育学研究Ⅰ	3後		2			1					
	教育学研究Ⅱ	4前		2			1					
	メディア・エデュケーション	3後		2								兼1
	特別支援教育研究	4前		2			1					
	心理学特講	4前		2			1					
	学びつづける教師論	5前		2			1					
	学校づくりと授業づくり	5前		2			1					
	学校臨床心理学	3後		2			1					
	心理学研究法Ⅰ	3後		2			1					
	特別支援教育研究Ⅱ	4前		2				1				
	心理学研究法Ⅱ	4前		2			1					
	学校インターンシップⅠ	3通		2			1					
	学校インターンシップⅡ	4通		2			1					
	学校インターンシップⅢ	5通		2			1					
	海外教育実践研究	3前		2			1					
	野外活動研究	3後		2			1					
	場面指導とロールプレイ	4前		2								兼1
	ものづくり教育研究Ⅰ	3後		2					1			
	ものづくり教育研究Ⅱ	4前		2					1			
	ICT教育の実践研究	4後		2					1			
	英語科学習指導研究	4前		2			1					
	音楽演奏研究Ⅰ	5前		2			1					
	音楽演奏研究Ⅱ	5後		2			1					
	音楽実技Ⅰ	3前		1			1					
	音楽実技Ⅱ	3後		1			1					
	音楽実技Ⅲ	4前		1			1					
	音楽実技Ⅳ	4後		1			1					
	学校保健学	3前		2								兼1
	工芸	3後		1				1				
	国語科学習指導研究Ⅰ	3後		2			1					
	国語科学習指導研究Ⅱ	4前		2			1					
	自然の科学Ⅰ	3後		2			1					
	自然の科学Ⅱ	4前		2			1					
	数学・数学教育研究Ⅰ	3後		2				1				
	数学・数学教育研究Ⅱ	4前		2				1				
	図画工作科学習指導演習	4前		2				1				
	図画工作科学習指導研究	4後		2				1				
	生活科学	3後		2								兼1
体育科学習指導研究	4前		2				1					
メディアと造形表現	3前		2				1					
理科実験の指導法Ⅰ	3後		2			1						
理科実験の指導法Ⅱ	4前		2			1						
基礎数学	3後		2				1					
社会科学習指導研究Ⅰ	3後		2			1						
社会科学習指導研究Ⅱ	4前		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	保健指導論	3後		2								兼1
	英語科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1						
	英語科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1						
	数学入門	3前		2			1					
	自然の科学	3後		2		1						
	音楽科学習指導研究Ⅰ	3後		2		1						
	音楽科学習指導研究Ⅱ	4前		2		1						
	卒業研究	5通	4			10	10	1				
自由選択科目	学校経営と学校図書館	2前		2								兼1
	学校図書館メディアの構成	2前		2								兼1
	学習指導と学校図書館	2後		2								兼1
	読書教育と図書館	2前		2								兼1
	情報メディアの活用	2前		2								兼1
	卒業研究	5通	4			10	10	1				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・「英語ⅡA（外国語コミュニケーション）」及び「英語ⅡB（外国語コミュニケーション）」を「教授1」から「兼任2」に変更。
- ・専任教員の昇任のため「ICT基礎a」の担当を「講師1」から「准教授1」に変更。

【平成30年度】

- ・専任教員の負担軽減のため「文学入門」の担当を専任教員教授から兼任・兼任1に変更。
- ・専任教員の都合により、「英語ⅠA」の担当を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の担当が可能となったため「発達障害教育Ⅰ」の担当を「兼任1」から「准教授1」に変更
- ・専任教員の昇任のため「理科Ⅱ」の担当を「教授1」「准教授1」から「教授2」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
54 科目	91 科目	0 科目	145 科目	56 科目 [+2]	90 科目 [△1]	科目 [0]	146 科目 [+1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	芸術Ⅱ	2	1	一般	選択必修	隔年開講とするため、未開講とした。
2	異文化理解とコミュニケーション	2	1	一般	選択必修	担当者の調整がつかず、未開講とした。
3	大阪学	2	1	一般	選択必修	隔年開講とするため、未開講とした。
4	心理学入門	2	1	一般	選択必修	隔年開講とするため、未開講とした。
5	健康と科学	2	1	一般	選択必修	担当者の都合により未開講となった。
6	障がい者支援入門	2	1	一般	選択必修	担当者の調整がつかず、未開講とした。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

授業運営上やむを得ない措置と考えています。なお、未開講科目はいずれも選択必修の一般科目で、他の科目で卒業要件を満たすことは可能です。学生への周知は、時間割等に掲載して周知を行いました。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{145} = \boxed{4.13}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 (借用面積：2,409㎡ 借用期間：1年(毎年更新))		
	校舎敷地	229,161㎡	㎡	㎡	㎡			
	運動場用地	107,723㎡	㎡	㎡	㎡			
	小 計	336,884㎡	㎡	㎡	㎡			
	そ の 他	381,206㎡	㎡	㎡	㎡			
	合 計	718,090㎡	㎡	㎡	㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
		84,133㎡ (84,133㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	84,133㎡ (84,133㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	天王寺キャンパス	
		23室	14室	9室	4室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		教育学部 初等教育教員養成課程(夜間)			13 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 天王寺キャンパス分 から 大学全体数値に変更 (30)
	教育学部 初等教育教員 養成課程(夜間)	82,125 [2,328] 929,665 [189,132] (73,313 [1,888]) (910,792 [187,539])	1,223 [101] 18,700 [3,425] (1,223 [101]) (18,700 [3,425])	6,060 [5,490] 5,467 [5,466] (6,060 [5,490]) (5,467 [5,466])	1,085 19,787 (1,077) (19,278)	0	0	
	計	82,125 [2,328] 929,665 [189,132] (73,313 [1,888]) (910,792 [187,539])	1,223 [101] 18,700 [3,425] (1,223 [101]) (18,700 [3,425])	6,060 [5,490] 5,467 [5,466] (6,060 [5,490]) (5,467 [5,466])	1,085 19,787 (1,077) (19,278)	0	0	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体 閲覧座席数及び収納可能冊数 天王寺キャンパス分 から 大学全体数値に変更(30)		
		8,335㎡	137855	138,000		1,500,700		
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				天王寺キャンパス	
		3,085㎡						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	大阪教育大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
教育学部	年	人	年次人	人		倍		大阪府柏原市旭ヶ丘4丁目698番1号 (※の課程及び専攻) 大阪市天王寺区南河堀町4番88号	
初等教育教員養成課程	4	60	-	240	学士(教育学)	1.00	平成29年	※3年次より	
初等教育教員養成課程(夜間)	5	40	50	275	学士(教育学)	1.02	平成29年	※	
学校教育教員養成課程	4	395	-	1580	学士(教育学)	1.04	平成22年		
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士(教育学)	0.95	昭和51年		
教育協働学科	4	405	-	1400	学士(教育学)	1.02	平成29年		
幼稚園教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	昭和42年		平成29年より学生募集停止
特別支援教育教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	昭和63年		平成29年より学生募集停止
小学校教員養成5年課程	5	-	-	-	学士(教育学)	-	昭和48年	※	平成29年より学生募集停止 三年次編入は平成31年より学生募集停止
教養学科	4	-	-	-	学士(教養)	-	昭和63年		平成29年より学生募集停止
大学の名称	大阪教育大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	15	-	30	修士(教育学)	0.99	昭和43年		
国語教育専攻	2	6	-	12	修士(教育学)	0.58	昭和43年		
社会科教育専攻	2	15	-	30	修士(教育学)	0.93	昭和43年		
数学教育専攻	2	7	-	14	修士(教育学)	0.57	昭和43年		
理科教育専攻	2	14	-	28	修士(教育学)	0.64	昭和43年		
英語教育専攻	2	6	-	12	修士(教育学)	1.83	昭和43年		
家政教育専攻	2	5	-	10	修士(教育学)	0.70	昭和49年		
音楽教育専攻	2	11	-	22	修士(教育学)	0.77	昭和50年		
美術教育専攻	2	10	-	20	修士(教育学)	0.55	昭和50年		
保健体育専攻	2	10	-	20	修士(教育学)	1.15	昭和50年		
特別支援教育専攻	2	10	-	20	修士(教育学)	1.00	昭和51年		
技術教育専攻	2	3	-	6	修士(教育学)	1.16	平成5年		
養護教育専攻	2	3	-	6	修士(教育学)	0.66	平成14年		
実践学校教育専攻	2	15	-	30	修士(教育学)	0.79	平成8年	※	
健康科学専攻	2	21	-	42	修士(学術)	1.16	平成5年	※	
総合基礎科学専攻	2	16	-	32	修士(学術)	0.71	平成5年		
国際文化専攻	2	12	-	24	修士(学術)	0.58	平成6年		

芸術文化専攻	2	12	-	24	修士 (芸術)	1.20	平成7年	
連合教職実践研究科 高度教職開発専攻	2	30	-	60	教職修 士	1.18	平成27年	※
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)								
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。								

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

該当なし

7年度			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	
	専 教授	〇〇〇〇 (59) <平成27年4月> 国際経済学 日本経済概論										
	専 准教授	△△△△ (50) <平成28年4月> 商法	専 准教授	商法	△△△△ (51) <平成28年4月>	専 准教授	商法	△△△△ (52) <平成28年10月>	専 准教授	商法	△△△△ (53) <平成28年10月>	
	専 講師	□□□□ (35) <平成29年10月> 金融論	専 講師	金融論	□□□□ (36) <平成29年10月>	専 講師	金融論	□□□□ (37) <平成29年10月>				
			専 教授	国際経済学 日本経済概論 経済学入門	※※※※ (60) <平成27年4月>	専 教授	国際経済学 日本経済概論 経済学入門	※※※※ (61) <平成27年4月>	専 教授	国際経済学 日本経済概論 経済学入門	※※※※ (62) <平成27年4月>	
									専 講師	◇◇◇◇ (35) <平成29年10月> 金融論 市場論		
兼任	准教授	▲▲▲▲ (50) <平成28年4月> 英語	兼任 准教授	英語	▲▲▲▲ (51) <平成28年4月>	兼任 准教授	英語	▲▲▲▲ (52) <平成28年4月>	兼任 准教授	▲▲▲▲ (53) <平成28年4月> 英語	兼任 准教授	▲▲▲▲ (54) <平成28年4月> 英語
兼任	講師	■ ■ ■ ■ (35) <平成27年4月> 化学	兼任 講師	化学	■ ■ ■ ■ (36) <平成27年4月>	兼任 講師	化学	■ ■ ■ ■ (37) <平成27年4月>				
									兼任 講師	◆ ◆ ◆ ◆ (35) <平成29年4月> 化学	兼任 講師	◆ ◆ ◆ ◆ (36) <平成29年4月> 化学
兼任	教授	▽▽▽▽ (55) <平成27年10月> 文化人類学	兼任 教授	文化人類学	▽▽▽▽ (56) <平成27年10月>	兼任 教授	文化人類学	▽▽▽▽ (57) <平成27年10月>	兼任 教授	▽▽▽▽ (58) <平成27年10月> 文化人類学	兼任 教授	▽▽▽▽ (59) <平成27年10月> 文化人類学

(注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

該当なし

、平成29年10月から専任教員採用予定で公募中。

【平成30年度】

(記入例)

・平成29年10月◇◇講師就任。平成29年6月教員審査済み。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
22 名	11 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
10	10	1	0	21	12	10	1	0	23	12	10	1	0	23
(12)	(11)	(0)	(0)	(23)						[+2]	[0]	[0]	[0]	[+2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 70(特任教員) 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{21} = \boxed{109.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

自由の別			担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
該当なし			〇〇概論	①	……………のため就任辞退（28）		
			◆◆基礎	②			
			☆☆演習	③			
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退（30）	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計（D）				後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
〇〇	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

自由の別			担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
該当なし			〇〇概論	①	H28. 3. 31付け……………のため辞任（28）		
			◆◆基礎	②			
			☆☆演習	③			
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	H30. 3. 31付け……………のため辞任（30）	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計（F）				後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
〇〇	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

自由の別			後任補充状況の集計（E）+（G）				
			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
#VALUE!	人	必修	#VALUE! 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目
		計	#VALUE! 科目	計	##### 科目	計	##### 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{\#VALUE!}{0} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

自由の別			担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
該当なし			○○概論	①	H28.3.31付け65歳で定年退職(28)		
			◆◆基礎	②			
			☆☆演習	③			
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	#VALUE! 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 100px; margin: 0 auto;"> 該当なし </div>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

該当なし		等	履 行 状 況		未履行事項について の実施計画
(〇〇年〇〇月)		留意事項		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・大学設置基準に抵触 するため、改めるこ と。(△△学部△△学 科)	是正意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見		履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・××学部××学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見		未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(□□学 科、■ ■学科)の～す ること。	改善意見		履行済	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<教育学部 初等教育教員養成課程（夜間）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>修了要件単位数 教養基礎科目から16単位、共通基礎科目から13単位、教職基礎科目から8単位、教職関連科目から45単位、専攻専門科目から34単位以上を修得し、128単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：26単位（各学期））</p>	<p>修得単位数内訳 教職関連科目から45単位 →教職関連科目から47単位</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 ファカルティ・ディベロップメント事業推進委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 第11回 平成30年4月24日開催 委員4名全員出席</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 全学FDに関する基本方針の策定に関する事項 (2) 全学FD事業の企画・運営・実施に関する事項 (3) 全学FD事業の評価に関する事項 (4) 学外とのFDに関わる連携に関する事項 (5) その他委員会が必要と認める事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学FD事業 ・ 教員相互の授業参観 ・ 成績評価の厳格化への取り組み <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学FD事業 : 年に3回程度テーマを変えて開催している。 ・ 教員相互の授業参観 : 参観を希望する教員が授業担当教員へ連絡し、任意の時期に参観を行っている。 ・ 成績評価の厳格化への取り組み 同一名称複数開講科目に係る成績分布の精査・分析を学期ごとにまとめ、開講部局へ改善を促している。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 実施結果や参加状況を各部局へ通知し、FD活動に参加するよう各教員へ促す。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 前期（5月～8月）及び後期（11月～翌年2月）に実施</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教員に対しては結果を紙で通知するとともに、どのような改善や工夫を行ったかアンケートを行っている。</p>

また、学生へは大学のホームページ上で集計結果を公開している。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は、平成29年4月開設の新設学科であるため、目的の達成状況について現時点で評価することは困難であるが、設置計画どおりに順調に推移しているものと考えられる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成31年1月31日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を作成し、教職員共通ポータルサイトに掲載
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成31年1月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成32年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (30年 5月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

注3

大学番号：056

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前伺い

大阪教育大学 教育学部 教育協働学科

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人大阪教育大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営戦略課

職名・氏名 経営戦略係主任 ヒダカ アカネ
日高 茜

電話番号 072-978-3208

F A X 072-978-3225

e-mail kikaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

<教育協働学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	32
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	33
5. 教員組織の状況	35
6. 留意事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人大阪教育大学

(2) 大学名

大阪教育大学

(3) 大学の位置

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(クリバヤシ スミオ) 栗林 澄夫 (平成26年4月)	—	
教育協働学科長	(アベ ブンジ) 安部 文司 (平成29年4月)	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 教育協働学科 学士(教育学)	教育学・保育学関係	4年	350人	— 年次人	1,400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	350人 (-) [25]	—	350人 (-) [25]	—	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.01倍	
志願者数	1602 (-) [46]	— (-) [-]	1283 (-) [73]	— (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	1225 (-) [40]	— (-) [-]	949 (-) [67]	— (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	390 (-) [27]	— (-) [-]	395 (-) [40]	— (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	353 (-) [19]	— (-) [-]	358 (-) [32]	— (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.02							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	359 [25] (-)	0 [-] (-)	358 [32] (-)	0 [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		354 [25] (-)	0 [-] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/						/		[] ()
計			359 [25] (-)		712 [57] (-)				[] ()

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	359 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	712 人	4 人	平成29年度	4 人	0 人	進路変更のため(進学・転学)(3人)、一身上の都合(1人)
			平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合計	1071 人	4 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{359} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{712} = \boxed{0.56} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学部 教育協働学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎科目	日本人の宗教観	1前	2									兼1
	平安朝文学世界への誘い	1前	2									兼1
	コンサートへの誘い	1前	2			5	4					
	和歌の表現世界を知る	1前	2									兼1
	読むための視点	1後	2				1					
	ドイツ文学を読む	1後	2				1					
	芸術理論:フランス近代美学から	1後	2				1					
	民族と音楽:東南アジアを中心に	1後	2				1					
	ユーラシア美術史	1後	2									兼1
	アジアの中の日本美術史	1後	2									兼1
	日本語史のイロハ	1後	2						1			
	教養と美	1後	2				7	8				
	比較文学論	1後	2				1					
	日本語表現法	1後	2				1					
	日本事情	1前	2				1					
	海外文化研究	1前	2				1	1				
	国際関係論入門	1前	2									兼1
	Cross-cultural Communication①	1前	1				1					
	Cross-cultural Communication②	1前	1				1					
	Japanese Culture①	前・後	1				1					
	Japanese Culture②	前・後	1				1					
	Media Studies①	1後	1				1					
	Media Studies②	1後	1				1					
	Discussion Skills①	1前	1				1					
	Discussion Skills②	1前	1				1					
	Academic Presentation Skills①	1後	1				2					
	Academic Presentation Skills②	1後	1				2					
	英語による教養①	1前	1									兼1
	英語による教養②	1前	1									兼1
	英語による教養③	1前	1									兼1
	英語による教養④	1前	1									兼1
	英語による教養⑤	1前	1									兼1
英語による教養⑥	1前	1									兼1	
英語による教養⑦	1後	1									兼1	
英語による教養⑧	1後	1									兼1	
日本国憲法	1前	2					1				兼1	
部落問題概論	1前	2									兼1	
持続発展教育と世界遺産	1前	2									兼1	
日本美術の流れ	1前	2									兼1	
地域から見る世界史	1前	2					1					
地域史としての考古学	1後	2									兼1	
日本科学技術史概論	1後	2				1						
近現代外交史	1後	2									兼1	
政治と社会	1後	2									兼1	
ダイバーシティと人権	1後	2	2			1						
現代消費社会論	1前	2				1						
平和のための教育	1前	2				1						
現代社会学の方法と実践	1前	2									兼1	
現場に活かすスポーツ実践論	1前	2				1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養基礎科目	日本人の宗教観	1前	2									兼1
	平安朝文学世界への誘い	1前・後	2									兼1
	コンサートへの誘い	1前	2				67	32				
	和歌の表現世界を知る	1前	2									兼1
	読むための視点	1後	2					1				
	ドイツ文学を読む	1後前	2					1				
	芸術理論:フランス近代美学から	1後	2					1				
	民族と音楽:東南アジアを中心に	1後	2					1				
	ユーラシア美術史	1後	2									兼1
	アジアの中の日本美術史	1後	2									兼1
	日本語史のイロハ	1後	2							1		
	教養と美	1後	2					7	8			
	比較文学論	1後	2					1				
	日本語表現法	1後	2					1				兼1
	日本事情	1前	2					1				兼1
	海外文化研究	1前	2					1	1			
	国際関係論入門	1前	2									兼1
	Cross-cultural Communication①	1前	1				1					
	Cross-cultural Communication②	1前	1				1					
	Japanese Culture①	1前・後	1				1					
	Japanese Culture②	1前・後	1				1					
	Media Studies①	1後	1				1					
	Media Studies②	1後	1				1					
	Discussion Skills①	1前	1				1					
	Discussion Skills②	1前	1				1					
	Academic Presentation Skills①	1後	1				2					
	Academic Presentation Skills②	1後	1				2					
	ヨーロッパ・フランスの窓から	1後	2							1		兼1
	英語による教養①English World I	1前・後	1									兼1
	英語による教養②English World II	1前・後	1									兼1
	英語による教養③English World III	1前・後	1									兼1
	英語による教養④English World IV	1前・後	1									兼1
英語による教養⑤English World V	1前・後	1									兼1	
英語による教養⑥English World VI	1前・後	1									兼1	
英語による教養⑦English World VII	1前・後	1									兼1	
英語による教養⑧English World VIII	1前・後	1									兼1	
English World IX	1前・後	1							1			
English World X	1前・後	1							1			
教育と国際化 I	1後	1									兼1	
教育と国際化 II	1後	1									兼1	
日本の教育と若者文化	1前	2									兼1	
日本古代文化史 I	1前	1									兼1	
日本古代文化史 II	1前	1									兼1	
異文化理解実地研究 I	1前・後	2										
異文化理解実地研究 II	1前・後	2										
異文化理解実地研究 III	1前・後	2										
日本国憲法	1前・後	2							1		兼1・2	
部落問題概論	1前・後	2									兼1	
持続発展教育と世界遺産	1前	2									兼1	
日本美術の流れ	1前	2									兼1	
地域から見る世界史	1前	2							1			
地域史としての考古学	1後	2									兼1	
日本科学技術史概論	1後	2							1		兼1	
近現代外交史	0	2									兼1	
政治と社会	1後	2									兼1	
ダイバーシティと人権	1前・後	2	2			1					兼2	
現代消費社会論	1前	2				1						
平和のための教育	1前	2				1						
現代社会学の方法と実践	1前	2									兼1	
現場に活かすスポーツ実践論	1前	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	健康科学への招待	1前	2			2	1					
	生活環境をさぐる	1前	2			3						
	地域連携学校教育入門—現代社会を生きる—	1前	2								兼1	
	健康科学論	1前	2								兼1	
	貨幣とわれわれの社会	1後	2								兼1	
	都市防災対策と防災教育	1後	2								兼1	
	心理生理学	1後	2								兼1	
	性倫理と性教育	1後	2								兼1	
	野外教育論	1後	2								兼1	
	対人コミュニケーションの心理学	1後	2			1						
	水と環境を考える	1前	2			1						
	生命と共生	1前	2								兼1	
	地球と災害	1前	2								兼1	
	DNAを中心とした生命科学	1後	2			1						
	はかってなんぼ—環境をはかる	1後	2			1						
	地球と環境	1後	2			1						
	ミクロの生物学入門	1後	2								兼1	
	大阪の環境と地球環境	1後	2								兼1	
	自然史博物館への招待	1後	2								兼1	
	生物学と医学の出会い	1後	2								兼1	
	暮らしの環境と地図	1前	2								兼1	
	持続可能な開発のための教育(SDG)編	1後	2								兼1	
	ベクトルとその応用を理解する	1前	2			1						
	はかってなんぼ—学校編	1前	2			1						
	科学常識を考える	1前	2			1						
	科学の基本	1前	2				1					
	論理と数理パズル	1前	2			1						
	歴史を変えた有機化合物	1後	2			1						
	体験しよう！かがく実験	1後	2			1						
	論理と数理パズル 上級編	1後	2			1						
	キャリアデザイン	1前	2								兼1	
	インターンシップとキャリア	1前	2								兼1	
	学校教育と著作権	1前	2								兼1	
	教育科学の基礎	1後	2								兼7	
	ことばと教育	1後	2								兼1	
	国際理解教育	1後	2								兼2	
	アジア理解教育	1後	2								兼2	
	人間と道徳	1前	2								兼1	
	教員のための数学	1後	2								兼1	
	環境教育論	1前	2								兼1	
	消費者教育論	1後	2								兼1	
	表現教育	1後	2								兼3	
	遊びとスポーツ	1前	2								兼1	
	教職実践論	1後	2								兼1	
	資料・情報利用法	1後	2				1					
	クリティカル・シンキング入門	1後	2								兼1	
	コンピュータを使った統計入門	1後	2				1					
	メディア・リテラシー演習	1後	2			1						
	科学的・批判的思考の実践	1前	2			1						
	古典から学ぶ大学	1前	2			4						
	アクティブ・ラーニング入門	1前	2								兼2	
	「障害」者と人権	1前	2								兼1	
	ジェンダーとセクシュアリティ	1後	2								兼1	
	共生社会論	1前	2								兼1	
	国際理解	1後	2								兼1	
	多文化共生の社会をめざして	1前	2								兼1	
	障害者支援入門	1前	2								兼1	
	外国人児童生徒教育	1前	2								兼1	
共通基礎科目	スポーツ実技a	1前	1			5					兼8	
	スポーツ実技b	1後	1			5					兼8	
	英語 I a	1前	1			3	5				兼4	
	英語 I b	1後	1			3	5				兼4	
	英語 II a	2前	2			3	5				兼4	
	英語 II b	2後	2								兼4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	健康科学への招待	1前	2			21	12						
	生活環境をさぐる	1前後	2			32	1						
	地域連携学校教育入門—現代社会を生きる—	1前	2									兼1	
	健康科学論	1前	2									兼1	
	貨幣とわれわれの社会	1後	2									兼1	
	都市防災対策と防災教育	1後	2									兼1	
	心理生理学	1後	2									兼1	
	性倫理と性教育	1後	2									兼1	
	野外教育論	1後	2									兼1	
	対人コミュニケーションの心理学	1後	2			1							
	知的財産権入門	1後	2			1							
	水と環境を考える	1前	2			1							
	生命と共生	1前・後	2									兼1	
	地球と災害	1前後	2									兼1	
	DNAを中心とした生命科学	1後	2			1							
	はかってなんぼ—環境をはかる	1後	2			1							
	地球と環境	1後	2			1							
	ミクロの生物学入門	1後	2									兼1	
	大阪の環境と地球環境	1前・後	2									兼1	
	自然史博物館への招待	1後	2									兼1	
	生物学と医学の出会い	1後	2									兼1	
	暮らしの環境と地図	1前	2									兼1	
	持続可能な開発のための教育(SDG)編	1後	2									兼1	
	ベクトルとその応用を理解する	1前	2			1							
	はかってなんぼ—学校編	1前	2			1							
	科学常識を考える	1前	2			1							
	科学の基本	1前	2				1						
	論理と数理パズル	1前	2			1							
	歴史を変えた有機化合物	1後	2			1						兼1	
	体験しよう！かがく実験	1後	2			1							
	論理と数理パズル 上級編	1後	2			1							
	キャリアデザイン	1前・後	2									兼1	
	教職キャリア形成論	1後	2									兼1	
	インターンシップとキャリア	1前	2									兼1	
	学校教育と著作権	1前	2									兼1	
	教育科学の基礎	1後	2									兼7	
	ことばと教育	1後	2									兼1	
	国際理解教育	1後前	2									兼2	
	アジア理解教育	1後	2									兼2	
	人間と道徳	1前	2									兼1	
	教員のための数学	1後前	2									兼1	
	環境教育論	1前	2									兼1	
	消費者教育論	1後	2									兼1	
	表現教育	1後前	2									兼3	
	遊びとスポーツ	1前後	2									兼12	
	教職実践論	1前・後	2									兼12	
	知的財産教育論	1前	2									兼1	
	資料・情報利用法	1後	2				1						
	クリティカル・シンキング入門	1後	2									兼1	
	コンピュータを使った統計入門	1後	2				1						
	メディア・リテラシー演習	1後	2				16			1			
	科学的・批判的思考の実践	1前	2			1							
	古典から学ぶ大学	2前	2			45							
	アクティブ・ラーニング入門	1前	2									兼2	
	海外文化研究	1前	2			1	1					兼43	
	「障害」者と人権	1前・後	2									兼1	
	ジェンダーとセクシュアリティ	1前・後	2									兼1	
	共生社会論	1前	2									兼1	
	国際理解	1後	2									兼1	
	多文化共生の社会をめざして	1前・後	2									兼1	
	障害者支援入門	1前・後	2									兼1	
	外国人児童生徒教育	1前後	2									兼12	
共通基礎科目	スポーツ実技a	1前	1			34			1	1		兼87	
	スポーツ実技b	1後	1			24			1	1		兼9+1	
	英語 (C) Ia	1前	1			32	1					兼42	
	英語 (C) Ib	1後	1			32	51					兼42	
	英語 (C) II a	2前	2			32	5					兼41	
	英語 (C) II b	2後	2				1					兼4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	ドイツ語 I a	1前	1			1					兼1
	ドイツ語 I b	1後	1			1					兼1
	ドイツ語 II a	2前	2			1					兼1
	ドイツ語 II b	2後	2			1					兼1
	フランス語 I a	1前	1			1					兼1
	フランス語 I b	1後	1			1					兼1
	フランス語 II a	2前	2			1					兼1
	フランス語 II b	2後	2			1					兼1
	中国語 I a	1前	1				1				兼1
	中国語 I b	1後	1				1				兼1
	中国語 II a	2前	2				1				兼1
	中国語 II b	2後	2				1				兼1
	外国語コミュニケーション	2前・後	2				1				兼2
	韓国語 I a	1前	1								兼1
	韓国語 I b	1後	1								兼1
	韓国語 II a	2前	2								兼1
	韓国語 II b	2後	2								兼1
	日本語 I a	1前	1								兼1
	日本語 I b	1後	1								兼1
	日本語 II a	2前	2								兼1
	日本語 II b	2後	2								兼1
	ICT基礎a	1前	2			7	6	1			兼1
	ICT基礎b	1後	1			3	3	3			兼1
教育基礎科目	教育基礎セミナー	1前	2			3	3	3	0	0	
	教育総論	1後	2								兼1
	発達と学習の心理学	1前	2								兼1
	学校の役割と経営	2後	2								兼1
	学校安全	2前	2			1					
	現代社会と教育	2後	2			1					
	生涯学習の現在と未来	2前	2			1					
教育職員免許取得に関する科目	教職入門	2前	2								兼1
	教育実践論	2後	2								兼1
	中等国語科教育法 I	2前	2								兼1
	中等国語科教育法 II	2後	2								兼1
	中等国語科教育法 III	3前	2								兼1
	中等国語科教育法 IV	3後	2								兼1
	数学科教育法 I	2前	2								兼1
	数学科教育法 II	2後	2								兼1
	数学科教育法 III	3前	2								兼1
	数学科教育法 IV	3後	2								兼1
	中等理科教育法 I	2前	2								兼1
	中等理科教育法 II	2後	2								兼1
	中等理科教育法 III	3前	2								兼1
	中等理科教育法 IV	3後	2								兼1
	中等音楽科教育法 I	2前	2								兼1
	中等音楽科教育法 II	2後	2								兼1
	中等音楽科教育法 III	3前	2								兼1
	中等音楽科教育法 IV	3後	2								兼1
	美術科教育法 I	2前	2								兼1
	美術科教育法 II	2後	2								兼1
	美術科教育法 III	3前	2								兼1
	美術科教育法 IV	3後	2								兼1
	保健体育科教育法 I	2前	2								兼1
	保健体育科教育法 II	2後	2								兼1
	保健体育科教育法 III	3前	2								兼1
	保健体育科教育法 IV	3後	2								兼1
	中等家庭科教育法 I	2前	2								兼1
	中等家庭科教育法 II	2後	2								兼1
	中等家庭科教育法 III	3前	2								兼1
	中等家庭科教育法 IV	3後	2								兼1
	中等英語科教育法 I	2前	2								兼1
	中等英語科教育法 II	2後	2								兼1
	中等英語科教育法 III	3前	2								兼1
	中等英語科教育法 IV	3後	2								兼1
	道徳教育論	3後	2								兼1
	生徒指導・進路指導論	2前	2								兼1
	生徒指導論	2後	2								兼1
	教育相談の心理学	1後	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ドイツ語 I a	1前	1			1					兼14	
	ドイツ語 I b	1後	1			1					兼14	
	ドイツ語 II a	2前	2			1					兼1	
	ドイツ語 II b	2後	2			1					兼1	
	フランス語 I a	1前	1			4	1				兼23	
	フランス語 I b	1後	1			4	1				兼23	
	フランス語 II a	2前	2			4					兼1	
	フランス語 II b	2後	2			4					兼1	
	中国語 I a	1前	1				1				兼45	
	中国語 I b	1後	1				1				兼45	
	中国語 II a	2前	2				4				兼1	
	中国語 II b	2後	2				4				兼1	
	外国語コミュニケーション	2前・後	2					12			兼23	
	韓国語 I a	1前	1								兼1	
	韓国語 I b	1後	1								兼1	
	韓国語 II a	2前	2								兼1	
	韓国語 II b	2後	2								兼1	
	日本語 I a	1前	1								兼12	
	日本語 I b	1後	1								兼12	
	日本語 II a	2前	2								兼1	
	日本語 II b	2後	2								兼1	
	ICT基礎a	1前	2			67	65	1			兼1	
	ICT基礎b	1後	1			1213	109	3			兼1	
教育基礎科目	教育基礎セミナー	1前・後	2			3336	1412	31	1			
	教育総論	1前・後	2								兼14	
	発達と学習の心理学	1前・後	2								兼13	
	学校の役割と経営	2後	2								兼14	
	学校安全	2前	2			4	1				兼2	
	現代社会と教育	2前・後	2				1				兼1	
	生涯学習の現在と未来	2前・後	2				1				兼1	
	教育職員免許取得に関する科目	教職入門	2前	2								兼13
		教育課程・方法実践論	2前・後	2								兼12
		特別活動論	3前	2								兼1
		中等国語科教育法 I	23前	2								兼1
		中等国語科教育法 II	23後	2								兼1
		中等国語科教育法 III	3前	2								兼1
中等国語科教育法 IV		3後	2								兼1	
数学科教育法 I		23前	2								兼1	
数学科教育法 II		23後	2								兼1	
数学科教育法 III		3前	2								兼1	
数学科教育法 IV		3後	2								兼1	
中等理科教育法 I		23前	2								兼1	
中等理科教育法 II		23後	2								兼1	
中等理科教育法 III		3前	2								兼1	
中等理科教育法 IV		3後	2								兼1	
中等音楽科教育法 I		23前	2								兼1	
中等音楽科教育法 II		23後	2								兼1	
中等音楽科教育法 III		3前	2								兼1	
中等音楽科教育法 IV		3後	2								兼1	
美術科教育法 I		23前	2								兼1	
美術科教育法 II		23後	2								兼1	
美術科教育法 III		3前	2								兼1	
美術科教育法 IV		3後	2								兼1	
保健体育科教育法 I	23前	2								兼1		
保健体育科教育法 II	23後	2								兼1		
保健体育科教育法 III	3前	2								兼1		
保健体育科教育法 IV	3後	2								兼1		
中等家庭科教育法 I	23前	2								兼1		
中等家庭科教育法 II	23後	2								兼1		
中等家庭科教育法 III	3前	2								兼1		
中等家庭科教育法 IV	3後	2								兼1		
中等英語科教育法 I	23前	2								兼1		
中等英語科教育法 II	23後	2								兼1		
中等英語科教育法 III	3前	2								兼1		
中等英語科教育法 IV	3後	2								兼1		
道徳教育論	3後	2								兼1		
生徒指導・進路指導論	2前	2								兼1		
生徒指導論	2前・後	2								兼1		
教育相談の心理学	13後	2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	デジタルメディア教材開発プロジェクト演習	4前	2			1						
	デジタルメディア教材開発	3前	4			1						
	総合製作マネジメントプロジェクト演習	4前	2				1					
	スポーツ教育プロジェクト演習A	3後	2			4						
	スポーツ教育プロジェクト演習B	4前	2			4						
	学校心理学	2前	2								兼1	
	図書館情報学概論	2後	2			1						
	メディア文化論	2後	2								兼1	
	医療心理学	3前	2			1						
	家族心理学	3後	2			1						
	学習社会論	3前	2			1						
	教育心理学演習Ⅰ	4前	2			1	1					
	教育心理学演習Ⅱ	4後	2			1	1					
	教育人間学	3前	2			1						
	教育心理学	2前	2			1						
	産業心理学	2後	2								兼1	
	児童サービスと資料	3前	2			1						
	社会保障論	2後	2			1						
	子ども家庭福祉	2前	1								兼1	
	社会教育論	2前	2								兼1	
	障害児(者)心理学	3後	2								兼1	
	情報サービス演習Ⅰ	3前	2								兼1	
	情報サービス演習Ⅱ	3後	2			1						
	情報サービス概論	3前	2								兼1	
	情報資源組織演習Ⅰ	3前	2								兼1	
	情報資源組織演習Ⅱ	3後	2								兼1	
	情報資源組織概論	3前	2								兼1	
	心理学基礎実験実習	2後	2			1	2	1				
	心理学研究法	2前	2			1		1				
	心理学統計法	2後	2								兼1	
	心理検査実習	4前	2				1					
	心理実践実習	4後	2				1					
	心理実践職能論	3前	2			1						
	心理面接実習	4後	2			1						
	心理療法論	3前	2			1						
	神経心理学	2後	2							1	兼1	
	人格心理学	3前	2								兼1	
	図書館サービス概論	2前	2			1						
	図書館情報技術論	2後	2			1						
	図書館情報資源概論	2前	2								兼1	
	図書館制度・経営論	3後	2								兼1	
	生涯教育と高等教育	2前	2			1						
	生涯教育学研究法	2後	2			1						
	生涯教育基礎論Ⅱ	2前	2			1						
	生涯教育計画論Ⅰ	2後	2			1						
	生涯教育計画論Ⅱ	3前	2								兼1	
	生涯教育実践研究Ⅰ	2後	2			2	1					
	生涯教育実践研究Ⅱ	3前	2			2	1					
	生涯教育調査法	3後	2			1						
	生涯教育基礎論Ⅰ	2後	2			1						
	生涯人間発達論	2前	2			1						
	精神医学概論	2後	2			1						
	対人関係論	3後	2			1						
	認知心理学	3前	2								兼1	
	発達臨床心理学	2後	2			1						
	臨床心理学概論	2前	2					1				
	国際化と成人教育	2後	2								兼1	
	社会教育課題研究A	3後	2			1	1					
	社会教育課題研究B	3前	2			1	1					
	社会教育課題研究C	3後	2			1	1					
	図書館情報資源特講	2後	2			1						
	学校・青少年問題と社会教育	2前	2			1						
	図書館史	3後	2								兼1	
	図書館情報学特講	3前	2			1						
	生理心理学	2後	2								兼1	
	学習心理学	3後	2								兼1	
	健康な生活を考える	1前	2			1	1					
	住環境学(製図を含む。)	1前	2			1						
	カウンセリング論	3前	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	デジタルメディア教材開発プロジェクト演習	4前	2			1						
	デジタルメディア教材開発	3前	4			1						
	総合製作マネジメントプロジェクト演習	4前	2				1					
	スポーツ教育プロジェクト演習A	3後	2			4						
	スポーツ教育プロジェクト演習B	4前	2			4						
	学校心理学	23前	2									兼1
	図書館情報学概論	22後前	2			1						
	メディア文化論	22後前	2								兼1	
	医療心理学	22	2			1						
	家族心理学	33後	2			1						
	学習社会論	33前	2			1						
	教育心理学演習Ⅰ	44前	2			1	1					
	教育心理学演習Ⅱ	44後	2			1	1					
	教育人間学	33前	2			1						
	教育心理学	22後	2			1						
	産業心理学	22後前	2								兼1	
	児童サービスと資料	33前	2			1						
	社会保障論	22後	2			1						
	子ども家庭福祉	22前後	1+2								兼1	
	社会教育論	22前後	2								兼1	
	障害児(者)心理学	33後	2								兼1	
	情報サービス演習Ⅰ	33前	2								兼1	
	情報サービス演習Ⅱ	33後	2			1						
	情報サービス概論	33前	2								兼1	
	情報資源組織演習Ⅰ	33前	2								兼1	
	情報資源組織演習Ⅱ	33後	2								兼1	
	情報資源組織概論	33前	2								兼1	
	心理学基礎実験実習	22後	2			1	2	+				
	心理学研究法	22前	2			1	2	+				
	心理学統計法	22後前	2								兼1	
	心理検査実習	44前	2				1					
	心理実践実習	44後	2				1					
	心理実践職能論	33前	2			1						
	心理面接実習	44後	2			1						
	心理療法論	33前	2			1						
	神経心理学	22後	2								兼1	
	人格心理学	33前	2								兼1	
	図書館サービス概論	22前後	2			1						
	図書館情報技術論	22後前	2			1						
	図書館情報資源概論	22前	2								兼1	
	図書館制度・経営論	33後	2								兼1	
	生涯教育と高等教育	22前後	2			1	+					
	生涯教育学研究法	22後	2			1						
	生涯教育基礎論Ⅱ	22前後	2			1	+					
	生涯教育計画論Ⅰ	22後前	2			1						
	生涯教育計画論Ⅱ	33前	2								兼1	
	生涯教育実践研究Ⅰ	22後	2			23	1					
	生涯教育実践研究Ⅱ	33前	2			2	1					
	生涯教育調査法	33後	2			1						
	生涯教育基礎論Ⅰ	22後前	2			1						
	生涯人間発達論	22前後	2			1						
	精神医学概論	22後前	2			1						
	対人関係論	33後	2			1						
	認知心理学	33前	2								兼1	
	発達臨床心理学	22後	2			1	+					
	臨床心理学概論	22前	2				1	+				
	国際化と成人教育	22後前	2								兼1	
	社会教育課題研究A	33後	2			1	1					
	社会教育課題研究B	33前	2			1	1					
	社会教育課題研究C	33後	2			1	1					
	図書館情報資源特講	22後	2				+					兼1
	学校・青少年問題と社会教育	33前	2			1						
	図書館史	33後	2								兼1	
	図書館情報学特講	33前	2			1						
	生理心理学	22後前	2								兼1	
	学習心理学	33後	2								兼1	
	健康な生活を考える	11前	2				13	1				
	住環境学(製図を含む。)	11前	2			1						
	カウンセリング論	33前	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	セーフティプロモーション論	1前	2			1						
	ヘルスプロモーション論	3前	2			1						
	安全デザイン論	1前	2				1					
	安全科学研究法	3後	2				1					
	安全管理論演習	3前	2			1						
	安全教育学演習	2前	2			1						
	安全行動学	2後	2				1					
	安全情報学	3前	2				1					
	衣生活科学	1前	2			1						
	栄養生化学	1前	2								兼1	
	衛生学・公衆衛生学	2前	2			1						
	疫学・保健統計学	2後	2			1						
	解剖生理学	1前	2				1					
	学校保健	1後	2								兼1	
	環境安全論	2前	2				1					
	環境保健学	3前	2			1						
	看護学実習	3後	2								兼1	
	健康安全科学実習	3後	2			6	3					
	健康衣生活論(被服製作実習を含む。)	2前	2			1						
	健康運動学	2後	2				1					
	健康管理学	2前	2			1						
	防災史	1後	2				1					
	健康食生活論	1後	2								兼1	
	健康生化学	4前	2				1					
	健康生活情報処理	2前	2								兼1	
	健康調理実習	2後	2								兼1	
	健康保育学演習(家庭看護実習を含む。)	1前	2								兼1	
	産業保健と法律Ⅰ	3前	2								兼1	
	産業保健と法律Ⅱ	4前	2			1						
	産業保健と法律Ⅲ	4後	2			2						
	自然災害論	1前	2				1					
	住環境デザイン演習	3前	2								兼1	
	住環境と安全	2後	2			1						
	住環境学演習	2前	2			1						
	住生活科学	2前	2			1						
	人間生態学	1前	2			1						
	生活機器論(情報処理を含む。)	2後	2								兼1	
	保健看護学	2前	2								兼1	
	母子看護学	2前	2								兼1	
	免疫学	3前	2				1					
	薬理学	3前	2			1						
	予防医学	3後	2			1						
	臨床実習	3前	2			1						
	健康臨床心理学	2前	2								兼1	
	労働保健学	3後	2								兼1	
	家族関係学	2前	2								兼1	
	生活経営学(家庭経済学を含む。)	1前	2								兼1	
	保育学Ⅰ	1前	2								兼1	
	保育学Ⅱ	3後	2								兼1	
	保育学実習	2後	2								兼1	
	調理学実習Ⅰ	2前	2								兼1	
	調理学実習Ⅱ	3前	2								兼1	
	食物学実験	3前	2								兼1	
	被服学Ⅰ	1前	2								兼1	
	被服学Ⅱ	3前	2								兼1	
	被服製作実習Ⅰ	2後	2								兼1	
	被服製作実習Ⅱ	3前	2								兼1	
	住居学Ⅱ	2前	2								兼1	
	食物学Ⅰ(栄養学及び食品学を含む。)	2前	2								兼1	
	食物学Ⅱ	3後	2								兼1	
	精神保健学	3前	2								兼1	
	養護概説	3後	2								兼1	
	(数理情報コース)											
	解析学基礎	1後	2								1	
	代数学基礎	1前	2			1						
	システムソフトウェア	3前	2			1						
	システム科学	3後	2			1						
	データ科学	3前	2			1						
	データ構造とアルゴリズム	3前	2				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	セーフティプロモーション論	1前	2			1						
	ヘルスプロモーション論	3前	2			1						
	安全デザイン論	1前後	2				1					
	安全科学研究法	3後	2				1					
	安全管理論演習	3前	2			1						
	安全教育学演習	2前後	2			1						
	安全行動学	2後前	2				1					
	安全情報学	3前	2				1					
	衣生活科学	1前	2				4					兼1
	栄養生化学	1前	2									兼1
	衛生学・公衆衛生学	2前後	2			1						
	疫学・保健統計学	2後前	2				4	1				
	解剖生理学	1前後	2					1				
	学校保健	1後	2									兼1
	環境安全論	2前後	2				1					
	環境保健学	3前	2			1						
	看護学実習	3後	2									兼1
	健康安全科学実習	3後	2			6	3					
	健康衣生活論(被服製作実習を含む。)	2前	2				4					兼1
	健康運動学	2後前	2					1				
	健康管理学	2前	2			1						
	防災史	1後	2					1				
	健康食生活論	1後	2					1				兼1
	健康生化学	4前	2					1				
	健康生活情報処理	2前後	2									兼1
	健康調理実習	2後前	2					1				兼1
	健康保育学演習(家庭看護実習を含む。)	1前	2									兼1
	産業保健と法律Ⅰ	3前	2									兼1
	産業保健と法律Ⅱ	4前	2			1						
	産業保健と法律Ⅲ	4後	2			2						
	自然災害論	1前	2				4					
	住環境デザイン演習	3前	2									兼1
	住環境と安全	2後	2			1						
	住環境学演習	2前後	2			1						
	住生活科学	2前	2			1						
	人間生態学	1前後	2				4	1				
	生活機器論(情報処理を含む。)	2後前	2									兼1
	保健看護学	2前後	2									兼1
	母子看護学	2前	2									兼1
	免疫学	3前	2					1				
	薬理学	3前	2			1						
	予防医学	3後	2			1						
	臨床実習	3前	2			1						
	健康臨床心理学	2前後	2									兼1
	労働保健学	3後	2									兼1
	家族関係学	2前後	2									兼1
	生活経営学(家庭経済学を含む。)	1前後	2									兼1
	保育学Ⅰ	1前	2									兼1
	保育学Ⅱ	3後	2									兼1
	保育学実習	2後前	2									兼1
	調理学実習Ⅰ	2前後	2									兼1
	調理学実習Ⅱ	3前	2									兼1
	食物学実験Ⅰ	3前	2									兼1
	被服学Ⅰ	1前後	2									兼1
	被服学Ⅱ	3前	2									兼1
	被服製作実習Ⅰ	2後	2									兼1
	被服製作実習Ⅱ	3前	2									兼1
	住居学Ⅱ	2前後	2									兼1
	食物学Ⅰ(栄養学及び食品学を含む。)	2前	2					1				兼1
	食物学Ⅱ	3後	2									兼1
	精神保健学	3前	2									兼1
	養護概説	3後	2									兼1
	(数理情報コース)											
	解析学基礎	1後前	2					1	4			
	代数学基礎	1前	2			1						
	システムソフトウェア	3前	2			1						
	システム科学	3後	2			1						
	データ科学	3前	2			1						
	データ構造とアルゴリズム	3前	2					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	プログラム言語	2後	2			1					
	応用数理Ⅰ	3前	2			1					
	応用数理Ⅱ	3後	2			1					
	解析学Ⅰ	3前	2					1			
	解析学Ⅱ	3後	2					1			
	解析学A	2前	2					1			
	解析学B	2後	2					1			
	確率・統計	2前	2			1					
	確率・統計統論	2後	2			1					
	確率論Ⅰ	3前	2			1					
	確率論Ⅱ	3後	2			1					
	幾何学Ⅰ	3前	2			1					
	幾何学Ⅱ	3後	2			1					
	幾何学A	2前	2			1					
	幾何学B	2後	2			1					
	計算機科学	2前	2			1					
	ロボット教材とプログラミングA	3前	1			1		1			
	ロボット教材とプログラミングB	3後	1			1		1			
	Global Technology Communication	3前	1			2	2				
	情報解析Ⅰ	3前	2			1					
	情報解析Ⅱ	3後	2			1					
	情報解析概論A	2前	2			1					
	情報解析概論B	2後	2			1					
	情報処理演習	1後	2			1					
	プログラミングとグループワークⅠ	2前	2					1			
	プログラミングとグループワークⅡ	2後	2			1					
	数理計画法・OR	3後	2							兼1	
	数理情報A	2前	2			1					
	数理情報B	2後	2			1					
	線形代数学A	1前	2					1			
	線形代数学B	1後	2					1			
	代数学Ⅰ	3前	2			1					
	代数学Ⅱ	3後	2			1					
	代数学A	2前	2			1					
	代数学B	2後	2			1					
	微分積分学A	1前	2			1					
	微分積分学B	1後	2			1					
	微分積分学C	1後	2			1					
	情報セキュリティと情報法	2後	1			1		1			
	数理探求Ⅰ	3前	2			4	1	1			
	数理探求Ⅱ	3後	2			4	1	1			
	数理探求教材開発 (自然科学コース)	4後	2							兼1	
	物理科学基礎	1後	2			1					
	物質化学基礎	1前	2			1					
	宇宙科学	2前	2							兼1	
	サイエンスの歴史と社会	3後	2							兼1	
	サイエンスと現代生活	3前	2							兼1	
	応用物質化学	2後	2			1					
	基礎物理化学	2前	2			1					
	基礎有機化学	2後	2			1					
	サイエンスと知的財産	3前	2			1					
	サイエンスと地球資源	3後	2			1					
	細胞機能学	2前	2			1					
	自然システム概説	2後	2			1					
	自然システム基礎	2前	2			1					
	自然システム実験Ⅰ	1後	1			2	1				
	自然システム実験Ⅱ	3後	2			2	1				
	Science Presentation Skills	4前	2			1	1				
	物理課題研究プロジェクト	3後	2			1	1				
	物理実験デザインプロジェクト	3前	2			1	1				
	化学実験デザインプロジェクト	3後	2			3	2				
	集団生物学	3前	2			1					
	初等量子論	2後	2			1					
	植物生理学	3前	2			1					
	水圏科学	2後	2			1					兼1
	応用物理化学	2前	2			1					
	生物統計学	2後	2					1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	プログラム言語	2後	2			1					
	応用数理Ⅰ	3前	2			1					
	応用数理Ⅱ	3後	2			1					
	解析学Ⅰ	3前	2					1			
	解析学Ⅱ	3後	2					1			
	解析学A	2前	2					1			
	解析学B	2後	2					1			
	確率・統計	2前	2			1					
	確率・統計統論	2後	2			1					
	確率論Ⅰ	3前	2			1					
	確率論Ⅱ	3後	2			1					
	幾何学Ⅰ	3前	2			1					
	幾何学Ⅱ	3後	2			1					
	幾何学A	2前	2			1					
	幾何学B	2後	2			1					
	計算機科学	2前後	2			1		+			
	ロボット教材とプログラミングA	3前	1			1		1			
	ロボット教材とプログラミングB	3後	1			1		1			
	Global Technology Communication	3前	1			2	2				
	情報解析Ⅰ	3前	2			1					
	情報解析Ⅱ	3後	2			1					
	情報解析概論A	2前後	2			1		+			
	情報解析概論B	2後	2			1		+			
	情報処理演習	1後	2			1					
	プログラミングとグループワークⅠ	2前	2						+		兼1
	プログラミングとグループワークⅡ	2後	2					1			
	数理計画法・OR	3後	2								兼1
	数理情報A	2前	2			1					
	数理情報B	2後	2			1					
	線形代数学A	1前後	2					1			
	線形代数学B	1後	2					1			
	代数学Ⅰ	3前	2			1					
	代数学Ⅱ	3後	2			1					
	代数学A	2前	2			1					
	代数学B	2後	2			1					
	微分積分学A	1前	2			1					
	微分積分学B	1後	2			1					
	微分積分学C	1後	2			1					
	情報セキュリティと情報法	2後前	1			+		+			兼1
	数理探求Ⅰ	3前	2			4	1	1			
	数理探求Ⅱ	3後	2			4	1	1			
	情報システム演習	3前	2			1					
	数理探求教材開発 (自然科学コース)	4後	2								兼1
	物理科学基礎	1後前	2			1					
	物質化学基礎	1前後	2			1		+			
	宇宙科学	2前	2								兼1
	サイエンスの歴史と社会	3後	2								兼1
	サイエンスと現代生活	3前	2								兼1
	応用物質化学	2後	2			1					
	基礎物理化学	2前	2			1					
	基礎有機化学	2後	2					1			
	サイエンスと知的財産	3前	2			1					
	サイエンスと地球資源	3後	2			1					
	細胞機能学	2前	2					1			
	自然システム概説	2後	2			1					
	自然システム基礎	2前	2			1					
	自然システム実験Ⅰ	1後前	1			2	1				
	自然システム実験Ⅱ	3後	2			2	1				
	Science Presentation Skills	4前	2			1	1				
	物理課題研究プロジェクト	3後	2			1	1				
	物理実験デザインプロジェクト	3前	2			1	1				
	化学実験デザインプロジェクト	3後	2			3	2				
	集団生物学	3前	2			1					
	初等量子論	2後前	2			1					
	植物生理学	3前	2			1					
	水圏科学	2後	2			1					兼1
	応用物理化学	2前後	2			1					
	生物統計学	2後	2					1	+		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	有機物質化学	3前	2			1						
	生命科学概説	2後	2				1					
	生命科学基礎	2前	2				1					
	生命科学実験Ⅰ	1後	1				1					
	生命科学実験Ⅱ	3前	1			1	2					
	生命科学実験Ⅲ	3前	1			1						
	化学課題研究プロジェクト	3後	2			1	1					
	生物実験デザインプロジェクト	3後	2			1						
	大気科学	2前	2			1						
	生物課題研究プロジェクト	3後	2			1						
	固体地球科学	2後	2				1					
	統計物理学	3前	2			1						
	動物発生学	2後	2								兼1	
	熱力学	2前	2				1					
	物質化学概説	2前	2			1						
	物質化学実験Ⅰ	1後	1				1					
	物質化学実験Ⅱ	3前	2			2	1					
	地学課題研究プロジェクト	3後	2			2	1					
	自然システム野外実習	3前	2			1						
	地学実験デザインプロジェクト	3後	2			2	1					
	物理科学概説	1前	2			1						
	物理科学実験Ⅰ	1後	1			1	1					
	物理科学実験Ⅱ	3前	2			2	1					
	サイエンス実験教材開発	2後	2			6	2					
	分子遺伝学	2前	2			1						
	分析化学	3前	2			1						
	無機化学	2後	2			1						
	サイエンスデジタル教材開発	2前	2				3					
	力学	2後	2				1					
	科学教育実践演習	4前	2			2	2					
	電磁気学	2前	2								兼1	
	量子物理学	3後	2								兼1	
	(英語コミュニケーションコース)											
	Academic DebateⅠ	2前	2			1						
	Academic DebateⅡ	2後	2			1						
	Academic ListeningⅠ	1前	2								兼1	
	Academic ListeningⅡ	1後	2								兼1	
	Academic Presentation	1後	2								兼1	
	Academic ReadingⅠ	1前	2					1				
	Academic ReadingⅡ	1後	2						1			
	Academic Writing	1前	2				1					
	Practical English Pronunciation	1後	2			1						
	Professional English	1前	2			1						
	Speech Communication in EnglishⅠ	1前	2				1					
	Speech Communication in EnglishⅡ	1後	2				1					
	Introduction to English LinguisticsⅠ	2前	2			1						
	Introduction to English LinguisticsⅡ	2後	2			1						
	Seminar on English LinguisticsⅠ	2前	2				1					
	Seminar on English LinguisticsⅡ	3後	2			1						
	Introduction to UK and US Area StudiesⅠ	2前	2			1						
	Introduction to UK and US Area StudiesⅡ	2後	2				1					
	History of American Literature	2後	2				1					
	American Literature Seminar	2後	2				1					
	Language Communication SeminarⅠ	3前	2								兼1	
	Language Communication SeminarⅡ	3後	2				1					
	Global CommunicationⅠ	3前	2			1						
	Global CommunicationⅡ	3後	2			1						
	American Area StudiesⅠ	3前	2				1					
	American Area StudiesⅡ	3後	2			1						
	British Area StudiesⅠ	3前	2								兼1	
	British Area StudiesⅡ	3後	2								兼1	
	American Literature StudyⅠ	3前	2				1					
	American Literature StudyⅡ	3後	2				1					
	Introduction to British and American Literature	2前	2			1						
	オーラル・コミュニケーション上級Ⅰ	2前	2								兼1	
	オーラル・コミュニケーション上級Ⅱ	2後	2								兼1	
	オーラル・コミュニケーション中級Ⅰ	1前	2								兼1,2	
	オーラル・コミュニケーション中級Ⅱ	1後	2								兼1,2	
	ライティング中級Ⅰ	2前	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	有機物質化学	3前	2			1						
	生命科学概説	2後	2				1					
	生命科学基礎	2前	2				1					
	生命科学実験Ⅰ	1後前	1				1					
	生命科学実験Ⅱ	3前	1			1	2					
	生命科学実験Ⅲ	3前	1			1						
	化学課題研究プロジェクト	3後	2			1	1					
	生物実験デザインプロジェクト	3後	2			1						
	大気科学	2前後	2			1						
	生物課題研究プロジェクト	3後	2			1						
	固体地球科学	2後	2				1					
	統計物理学	3前	2			1						
	動物発生学	2後	2				1				兼1	
	熱力学	2前	2				1					
	物質化学概説	2前	2			1						
	物質化学実験Ⅰ	1後	1				1					
	物質化学実験Ⅱ	3前	2			2	1					
	地学課題研究プロジェクト	3後	2			2	1					
	自然システム野外実習	3前	2			1						
	地学実験デザインプロジェクト	3後	2			2	1					
	物理科学概説	1前後	2			1						
	物理科学実験Ⅰ	1後	1			1	1					
	物理科学実験Ⅱ	3前	2			2	1					
	サイエンス実験教材開発	2後	2			6	23					
	分子遺伝学	2前後	2			1					兼1	
	分析化学	3前	2			1						
	無機化学	2後前	2			1						
	サイエンスデジタル教材開発	2前	2				4	32			兼1	
	力学	2後	2				1					
	科学教育実践演習	4前	2			2	2					
	電磁気学	2前	2								兼1	
	量子物理学	3後	2								兼1	
	(英語コミュニケーションコース)											
	Academic DebateⅠ	2前	2				4				兼1	
	Academic DebateⅡ	2後	2				4				兼1	
	Academic ListeningⅠ	1前	2				1				兼1	
	Academic ListeningⅡ	1後	2				1				兼1	
	Academic Presentation	1後	2					1			兼1	
	Academic ReadingⅠ	1前	2				1			4		
	Academic ReadingⅡ	1後	2				1			4		
	Academic Writing	1前	2					1				
	Practical English Pronunciation	1後	2			1						
	Professional English	1前	2			1						
	Speech Communication in EnglishⅠ	1前	2					1				
	Speech Communication in EnglishⅡ	1後	2					1				
	Introduction to English LinguisticsⅠ	2前	2			2						
	Introduction to English LinguisticsⅡ	2後	2				4				兼1	
	Seminar on English LinguisticsⅠ	2前後	2				1					
	Seminar on English LinguisticsⅡ	3後	2			1						
	Introduction to UK and US Area StudiesⅠ	2前	2			1						
	Introduction to UK and US Area StudiesⅡ	2後	2				1					
	History of American Literature	2後前	2				1					
	American Literature Seminar	2後	2				1					
	Language Communication SeminarⅠ	3前	2								兼1	
	Language Communication SeminarⅡ	3後	2				1					
	Global CommunicationⅠ	3前	2			1						
	Global CommunicationⅡ	3後	2			1						
	American Area StudiesⅠ	3前	2				1					
	American Area StudiesⅡ	3後	2			1						
	British Area StudiesⅠ	3前	2								兼1	
	British Area StudiesⅡ	3後	2								兼1	
	American Literature StudyⅠ	3前	2				1					
	American Literature StudyⅡ	3後	2				1					
	Introduction to British and American Literature	2前	2				4	1				
	オーラル・コミュニケーション上級Ⅰ	2前	2								兼1	
	オーラル・コミュニケーション上級Ⅱ	2後	2								兼1	
	オーラル・コミュニケーション中級Ⅰ	1前	2								兼1,2	
	オーラル・コミュニケーション中級Ⅱ	1後	2								兼1,2	
	ライティング中級Ⅰ	2前	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	ライティング中級Ⅱ	2後	2								兼1
	比較文化論	1後	2								兼1
	(多文化リテラシーコース)										
	中国文学入門A	1前	2		1						
	中国文学入門B	1後	2			1					
	中国の言語文化A	1前	2		1						
	中国の言語文化B	1後	2		1						
	グローバル経済文化論	1前	2		1						
	グローバル歴史文化論	1後	2		1						
	グローバル芸術文化論	1前	2		1						
	グローバル言語文化論	1後	2		1						
	日本・アジア比較文化論	3前	2		1						
	日本文学概論	1後	2								兼1
	中国文学概論	2後	2								兼1
	German Communication Skills I A	2前	1								兼1
	German Communication Skills I B	2後	1								兼1
	German Communication Skills II A	3前	1								兼1
	German Communication Skills II B	3後	1								兼1
	ヨーロッパ比較文化論	3前	2		1						
	French Communication Skills I A	2前	1		1						
	French Communication Skills I B	2後	1		1						
	French Communication Skills II A	3前	1								兼1
	French Communication Skills II B	3後	1								兼1
	Basic European Language A	1前	2								兼1
	Basic European Language B	1後	2								兼1
	異文化間教育	3前	2								兼1
	音楽人類学Ⅰ	2前	2		1						
	音楽人類学Ⅱ	3後	2		1						
	管絃(雅楽)Ⅰ	1後	2								兼1
	管絃(雅楽)Ⅱ	2前	2								兼1
	ヨーロッパの文化と教育A	2前	2		1						
	ヨーロッパの文化と教育B	2後	2								兼1
	Cultural Studies A	3前	2		1						
	Cultural Studies B	3後	2								兼1
	国際教育比較プロジェクト演習A	3前	2		1						
	国際教育比較プロジェクト演習B	3後	2								兼1
	書道概論Ⅰ(書写を中心とする。)	2前	2		1						
	書道概論Ⅱ(書写を中心とする。)	2後	2		1						
	歴史研究プロジェクト演習A	2前	2		1	1					
	歴史研究プロジェクト演習B	3後	2		1	1					
	知能科学研究プロジェクト演習A	2後	2		1	1					
	知能科学研究プロジェクト演習B	3後	2		1	1					
	経済研究プロジェクト演習A	2後	2		1						
	経済研究プロジェクト演習B	3後	2		1						
	中国言語文化研究ⅠA	2前	2		1						
	中国言語文化研究ⅠB	2後	2		1						
	中国言語文化研究ⅡA	3前	2		1						
	中国言語文化研究ⅡB	3後	2		1						
	日本演劇学概説	3前	2								兼1
	日本語の文法	3前	2		1						
	日本語学演習	3後	2				1				
	日本語学研究ⅠA	2前	2				1				兼1
	日本語学研究ⅠB	2後	2				1				兼1
	日本語学研究Ⅱ	3前	2				1				
	日本語教育演習	3後	2								兼1
	日本語教育概論A	2前	2								兼1
	日本語教育概論B	2後	2								兼1
	日本語教材論	2前	2								兼1
	日本文学演習A	3前	2								兼1
	日本文学演習B	3後	2		1						
	日本文学研究ⅠA	2前	2		1						
	日本文学研究ⅠB	2後	2		1						
	日本文学研究ⅡA	3前	2		1						
	日本文学研究ⅡB	3後	2		1						
	美学Ⅰ	2前	2		1						
	美学Ⅱ	3前	2		1						
	グローバル社会文化論	2後	2		1						
	(音楽表現コース)										
	Orchestra I A	1前	2		2	1					兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	ライティング中級Ⅱ	2後	2								兼1
	比較文化論	1後	2								兼1
	(多文化リテラシーコース)										
	中国文学入門A	1前後	2			1					
	中国文学入門B	1後前	2				1				
	中国の言語文化A	1前	2			+					兼1
	中国の言語文化B	1後	2			+					兼1
	グローバル経済文化論	1前	2			+					兼1
	グローバル歴史文化論	1前後	2			+					兼1
	グローバル芸術文化論	1前	2			+					兼1
	グローバル言語文化論	1後前	2			+					兼1
	日本・アジア比較文化論	3前	2			1					
	日本文学概論	12後	2								兼1
	中国文学概論	2後	2								兼1
	German Communication Skills I A	2前	1								兼1
	German Communication Skills I B	2後	1								兼1
	German Communication Skills II A	3前	1								兼1
	German Communication Skills II B	3後	1								兼1
	ヨーロッパ比較文化論	3前	2				1				
	French Communication Skills I A	2前	1			+					兼1
	French Communication Skills I B	2後	1			+					兼1
	French Communication Skills II A	3前	1								兼1
	French Communication Skills II B	3後	1								兼1
	Basic European Language A	1前	2			1	1				兼1
	Basic European Language B	1後	2			1	1				兼1
	異文化間教育	3前	2								兼1
	音楽人類学Ⅰ	2前後	2			1					
	音楽人類学Ⅱ	3後	2			1					
	管絃(雅楽)Ⅰ	1後前	2								兼1
	管絃(雅楽)Ⅱ	2前	2								兼1
	ヨーロッパの文化と教育A	2前	2			1	+				
	ヨーロッパの文化と教育B	2後前	2				1				兼1
	Cultural Studies A	3前	2				1				
	Cultural Studies B	3後	2								兼1
	国際教育比較プロジェクト演習A	3前	2				1				
	国際教育比較プロジェクト演習B	3後	2								兼1
	書道概論Ⅰ(書写を中心とする。)	2前	2					+			兼2
	書道概論Ⅱ(書写を中心とする。)	2後	2					+			兼2
	歴史研究プロジェクト演習A	2前後	2			+	1				
	歴史研究プロジェクト演習B	3後	2			1	1				
	知能科学研究プロジェクト演習A	2後	2			1					
	知能科学研究プロジェクト演習B	3後	2			1	1				
	経済研究プロジェクト演習A	2後	2			1					
	経済研究プロジェクト演習B	3後	2			1					
	中国言語文化研究ⅠA	2前後	2			1					
	中国言語文化研究ⅠB	2後前	2				1				
	中国言語文化研究ⅡA	3前	2			1					
	中国言語文化研究ⅡB	3後	2				1				
	日本演劇学概説	3前	2								兼1
	日本語の文法	3前	2				1				
	日本語学演習	3後	2						1		
	日本語学研究ⅠA	2前	2				+				兼1
	日本語学研究ⅠB	2後	2				+				兼1
	日本語学研究Ⅱ	3前	2						1		
	日本語教育演習	3後	2								兼1
	日本語教育概論A	2前後	2			1					兼1
	日本語教育概論B	2後	2			1					兼1
	日本語教材論	2前後	2								兼1
	日本文学演習A	3前	2								兼1
	日本文学演習B	3後	2			1					
	日本文学研究ⅠA	2前	2			+					兼1
	日本文学研究ⅠB	2後	2				1				
	日本文学研究ⅡA	3前	2			1					
	日本文学研究ⅡB	3後	2			1					
	美学Ⅰ	2前	2			1					
	美学Ⅱ	3前	2			1					
	グローバル社会文化論	2後前	2			+					兼1
	(音楽表現コース)										
	Orchestra I A	1前	2				23	+			兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	Orchestra I B	1後	2			2	1					兼2
	Orchestra II A	2前	2			2	1					兼2
	Orchestra II B	2後	2			2	1					兼2
	Orchestra III A	3前	2			2	1					兼2
	Orchestra III B	3後	2			2	1					兼2
	Orchestra IV A	4前	2			2	1					兼2
	Orchestra IV B	4後	2			2	1					兼2
	ソルフェージュ演習A	2前	1			1						
	ソルフェージュ演習B	2後	1			1						
	ピアノ I A	1前	1									兼1
	ピアノ I B	1後	1									兼1
	管絃(雅楽) I	1前	2									兼1
	音楽人類学 I	2前	2			1						
	音楽専門実技 I A	1前	2			1	1					
	音楽専門実技 I B	1後	2			1	1					
	音楽専門実技 II A	2前	3			1	1					
	音楽専門実技 II B	2後	3			1	1					
	音楽専門実技 III A	3前	3			1	1					
	音楽専門実技 III B	3後	3			1	1					
	音楽専門実技 IV A	4前	3			1	1					
	音楽専門実技 IV B	4後	3			1	1					
	管絃楽作品制作プロジェクト演習A	2前	1			1						
	管絃楽作品制作プロジェクト演習B	3後	1			1						
	管弦打楽器 I A	1前	1			2	1					
	管弦打楽器 I B	1後	1			2	1					
	管弦打楽器 II A	2前	1			2	1					
	管弦打楽器 II B	2後	1			2	1					
	管絃(雅楽) II	2後	2									兼1
	合唱実技 I	1前	1			1						
	合唱実技 II	2後	1									兼1
	合唱実技 III	3前	1									兼1
	合唱実技 IV	4後	1									兼1
	作曲理論 I B	1後	2			1						
	作曲理論 II A	2前	2			1						
	作曲理論 II B	2後	2			1						
	作曲理論 III A	3前	2			1						
	作曲理論 III B	3後	2			1						
	指揮法	3前	2			1	1					
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) I A	1前	1			2	3					
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) I B	1後	1			2	3					
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) II A	2前	1			2	3					
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) II B	2後	1			2	3					
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) III A	3前	1			2	3					
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) III B	3後	1			2	3					
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) IV A	4前	1			2	3					
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) IV B	4後	1			2	3					
	声乐 I A	2前	1			1						
	声乐 I B	2後	1			1						
	声乐プロジェクト演習A	4前	1			1						
	声乐プロジェクト演習B	4後	1			1						
	日本演劇学概説	3前	2									兼1
	舞楽(雅楽)	3後	2									兼1
	舞台表現法 I	2前	2									兼1
	舞台表現法 II	2後	2									兼1
	歴史的音楽学特講	3後	2			1						
	Global Music Communication	3後	1			1						
	歌唱表現の基礎	1後	2			1						
	障害を越える音楽	4後	1									兼1
	作曲理論 I A	1前	2			1						
	音楽学 I A	1前	2									兼1
	音楽学 I B	2後	2									兼1
	和楽器アンサンブルA (美術表現コース)	3後	1									兼1
	総合造形演習A	2前	4			1	1					
	総合造形演習B	2後	4			1	1					
	グラフィックデザイン演習A	2前	2			1						
	グラフィックデザイン演習B	2後	2			1						
	デザイン演習 I A	3前	4			1						
	デザイン演習 I B	3後	4			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	Orchestra IB	1後	2							23	+		兼2
	Orchestra II A	2前	2							23	+		兼2
	Orchestra II B	2後	2							23	+		兼2
	Orchestra III A	3前	2			2	1						兼2
	Orchestra III B	3後	2			2	1						兼2
	Orchestra IV A	4前	2			2	1						兼2
	Orchestra IV B	4後	2			2	1						兼2
	ソルフェージュ演習A	2前	1			1							
	ソルフェージュ演習B	2後	1			1							
	ピアノIA	1前	1										兼1
	ピアノIB	1後	1										兼1
	管絃(雅楽)I	1前	2										兼1
	音楽人類学 I	2前	2			1							
	音楽専門実技IA	1前	2					17	31				兼13
	音楽専門実技IB	1後	2					17	32				兼13
	音楽専門実技 II A	2前	3					17	1				兼15
	音楽専門実技 II B	2後	3					17	12				兼13
	音楽専門実技 III A	3前	3			1	1						
	音楽専門実技 III B	3後	3			1	1						
	音楽専門実技 IV A	4前	3			1	1						
	音楽専門実技 IV B	4後	3			1	1						
	管絃楽作品制作プロジェクト演習A	2前後	1			1							
	管絃楽作品制作プロジェクト演習B	3後	1			1							
	管弦打楽器 I A	1前	1			2	+						兼1
	管弦打楽器 IB	1後	1			2	+						兼1
	管弦打楽器 II A	2前	1			2	+						兼1
	管弦打楽器 II B	2後	1			2	+						兼1
	管絃(雅楽) II	2後前	2										兼1
	合唱実技 I	1前	1			+							兼12
	合唱実技 II	2後前	1			+							兼12
	合唱実技 III	3前	1										兼1
	合唱実技 IV	4後	1										兼1
	作曲理論 IA	1前	2			1							
	作曲理論 IB	1後	2			1							
	作曲理論 II A	2前	2			1							
	作曲理論 II B	2後	2			1							
	作曲理論 III A	3前	2			1							
	作曲理論 III B	3後	2			1							
	指揮法	3前	2			1	1						
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) IA	1前	1			56	31						兼12
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) IB	1後	1			56	32						兼1
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) II A	2前	1			56	31						兼2
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) II B	2後	1			56	32						兼1
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) III A	3前	1			2	3						
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) III B	3後	1			2	3						
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) IV A	4前	1			2	3						
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) IV B	4後	1			2	3						
	声乐 I A	2前	1			12							兼2
	声乐 I B	2後	1			12							兼1
	声乐プロジェクト演習A	4前	1			1							
	声乐プロジェクト演習B	4後	1			1							
	日本演劇学概説	3前	2										兼1
	舞楽(雅楽)	3後	2										兼1
	舞台表現法 I	2前	2										兼1
	舞台表現法 II	2後	2										兼1
	歴史的音楽学特講	3後	2			1							
	Global Music Communication	3後	1			1							
	歌唱表現の基礎	1後前	2			1							
	障害を越える音楽	4後	1										兼1
	音楽学 IA	1前	2										兼1
	音楽学 IB	2後	2										兼1
	和楽器アンサンブルA (美術表現コース)	3後	1										兼1
	総合造形演習A	2前	4			+	+						兼3
	総合造形演習B	2後	4			+	+						兼2
	グラフィックデザイン演習A	2前	2			1							
	グラフィックデザイン演習B	2後	2			1							
	デザイン演習 I A	3前	4			1							
	デザイン演習 I B	3後	4			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	デザイン演習Ⅱ	3後	4								兼1
	デザインプロジェクト	4前	4			1					
	絵画演習Ⅰ	2後	4			1					
	絵画演習ⅡA	3前	4			1					
	絵画演習ⅡB	3後	4			1					
	絵画演習Ⅲ	4前	4			1					
	絵画プロジェクト	4前	4			1					
	絵画基礎演習	1後	4			1					
	美術表現の基礎	1前	2								兼1
	立体造形演習Ⅰ	2後	4			1					
	立体造形演習ⅡA	3前	4			1					
	立体造形演習ⅡB	3後	4			1					
	立体造形演習Ⅲ	4前	4			1					
	立体造形プロジェクト	4前	4			1					
	立体造形基礎演習	1後	4			1					
	デザイン・工芸史	3前	2			1					
	Global Art Communication	4後	1			1					
	美術史A	1前	2								兼1
	美術史B	2後	2								兼1
	美術理論Ⅰ	2前	2								兼1
	体育史	2前	2		1						
	運動生理学	1後	2								兼1
	スポーツレーニングと適応	2後	2								兼1
	アスレティックリハビリテーション	3前	2								兼1
	スポーツバイオメカニクス	3後	2		1						
	スポーツマッサージ	4前	2								兼1
	スポーツ医学	2後	2								兼1
	スポーツ行政論	3前	2								兼1
	スポーツ指導者育成論	3後	2		1						
	救急処置法	3前	2		1						
	身体表現論	3後	2		1						
	学校と地域スポーツ	3前	2								兼1
	障害者とスポーツ	3後	1								兼1
	デジタルスポーツ教材開発A	3前	1								兼1
	デジタルスポーツ教材開発B	3後	1								兼1
	Global Sports Communication	3前	1								兼1
	スポーツマネジメント論	2後	2								兼1
	スポーツフィットネス演習	3前	2		1						
	スポーツと栄養	3後	2								兼1
	サッカー	3前	1								兼1
	スキー実習	3後	2								兼1
	スポーツ社会学	1前	2								兼1
	スポーツ心理学	2後	2								兼1
	ダンス・クラシック	3前	2		1						
	ダンス	2前	1		1						兼1
	テニス	4前	1		1						
	ソフトボール	2後	1								兼1
	バスケットボール	3後	1								兼1
	バレーボール	3前	1		1						
	ハンドボール	4前	1								兼1
	ラグビー	4前	1								兼1
	運動学	2前	2		4						兼1
	衛生学及び公衆衛生学	1後	2								兼1
	学校保健	2前	2								兼1
	器械運動	1前	1								兼1
	体づくり運動	1後	1		4						
	剣道	2後	1		1						兼1
	柔道	2前	1								兼1
	水泳	1前	1		1						兼1
	陸上競技	2後	1								兼1
自由選択科目	学校経営と学校図書館	3前	2								兼1
	学校図書館メディアの構成	3前	2								兼1
	学習指導と学校図書館	3後	2								兼1
	読書教育と図書館	3前	2								兼1
	情報メディアの活用	3前	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	デザイン演習Ⅱ	34後	4									兼1
	デザインプロジェクト	4前	4			1						
	絵画演習Ⅰ	2後前	4			1						兼1
	絵画演習ⅡA	3前	4			1						
	絵画演習ⅡB	3後	4			1						
	絵画演習Ⅲ	4前	4			1						
	絵画プロジェクト	4前	4			1						
	絵画基礎演習	1後	4			1						兼1
	美術表現の基礎	1前	2			1						兼1
	立体造形演習Ⅰ	2後前	4			1						兼1
	立体造形演習ⅡA	3前	4			1						
	立体造形演習ⅡB	3後	4			1						
	立体造形演習Ⅲ	4前	4			1						
	立体造形プロジェクト	4前	4			1						
	立体造形基礎演習	1後前	4			1						
	デザイン・工芸史	3前	2			1						
	Global Art Communication	4後	1			1						
	美術史A	1前	2									兼1
	美術史B	2後	2									兼1
	美術理論Ⅰ	2前	2									兼1
	体育史	2前	2					1				兼1
	運動生理学	1前後	2									兼1
	スポーツレーニングと適応	2後前	2									兼1
	アスレティックリハビリテーション	3前	2									兼1
	スポーツバイオメカニクス	3後	2		1							
	スポーツマッサージ	4前	2									兼1
	スポーツ医学	2後前	2									兼1
	スポーツ行政論	3前	2									兼1
	スポーツ指導者育成論	3後	2		1							
	救急処置法	3前	2		1							
	身体表現論	3後	2		1							
	学校と地域スポーツ	3前	2									兼1
	障害者とスポーツ	3後	1									兼1
	デジタルスポーツ教材開発A	3前	1									兼1
	デジタルスポーツ教材開発B	3後	1									兼1
	Global Sports Communication	3前	1									兼1
	スポーツマネジメント論	2後	2									兼1
	スポーツフィットネス演習	3前	2		1							
	スポーツと栄養	3後	2									兼1
	サッカー	3前	1									兼1
	スキー実習	3後	2									兼1
	スポーツ社会学	1前後	2									兼1
	スポーツ心理学	2後前	2									兼1
	ダンス・クラシック	3前	2		1							
	ダンス	2前・後	1		1							兼1
	テニス	4前	1		1							
	ソフトボール	2後	1									兼1
	バスケットボール	3後	1									兼1
	バレーボール	3前	1		1							
	ハンドボール	4前	1									兼1
	ラグビー	4前	1									兼1
	運動学	2前	2		4							兼1
	衛生学及び公衆衛生学	1後	2									兼1
	学校保健	2前	2									兼1
	器械運動	1前後	1									兼12
	体づくり運動	1後前	1		4							兼2
	剣道	2前・後	1		1							兼2
	柔道	2前・後	1									兼12
	水泳	1前	1		1				1			兼1
	陸上競技	2後前	1									兼12
自由選択科目	学校経営と学校図書館	3前2後	2									兼1
	学校図書館メディアの構成	32前	2									兼1
	学習指導と学校図書館	32後	2									兼1
	読書教育と図書館	32前	2									兼1
	情報メディアの活用	32前	2									兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	卒業研究	4通	4								

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	卒業研究	4通	4								

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
教養基礎科目	日本人の宗教観	1前		2							兼1
	平安朝文学世界への誘い	1前		2							兼1
	コンサートへの誘い	1前		2		56	43				
	和歌の表現世界を知る	1前		2							兼1
	読むための視点	1後		2		1					
	ドイツ文学を読む	1後前		2		1					
	芸術理論：フランス近代美学から	1後		2		1					
	民族と音楽：東南アジアを中心に	1後		2		1					
	ユーラシア美術史	1後		2							兼1
	アジアの中の日本美術史	1後		2							兼1
	日本語史のイロハ	1後		2				1			
	教養と美	1後		2			7	8			
	比較文学論	1後		2		1					
	日本語表現法	1後		2		1					兼1
	日本事情	1前		2		1					兼1
	海外文化研究	1前		2		1	1				
	国際関係論入門	1前		2							兼1
	Cross-cultural-Communication①	1前		1		1					
	Cross-cultural-Communication②	1前		1		1					
	Japanese-Culture①	1前・後		1		1					
	Japanese-Culture②	1前・後		1		1					
	Media-Studies①	1後		1		1					
	Media-Studies②	1後		1		1					
	Discussion-Skills①	1前		1		1					
	Discussion-Skills②	1前		1		1					
	Academic-Presentation-Skills①	1後		1		2					
	Academic-Presentation-Skills②	1後		1		2					
	英語による教養①English World I	1前・後		1							兼1
	英語による教養②English World II	1前・後		1							兼1
	英語による教養③English World III	1前・後		1							兼1
	英語による教養④English World IV	1前・後		1							兼1
	英語による教養⑤English World V	1前・後		1							兼1
	英語による教養⑥English World VI	1前・後		1							兼1
	英語による教養⑦English World VII	1前・後		1							兼1
	英語による教養⑧English World VIII	1前・後		1							兼1
	ヨーロッパフランスの窓から	1後		2			1				
	教育と国際化	1後		2							兼1
	日本の教育と若者文化	1前		2							兼1
	日本古代文化史	1前		2							兼1
	異文化理解実地研究 I	1前・後		2							
	異文化理解実地研究 II	1前・後		2							
	異文化理解実地研究 III	1前・後		2							
	日本国憲法	1前・後		2			1				兼1
	部落問題概論	1前・後		2							兼1
	持続発展教育と世界遺産	1前		2							兼1
	日本美術の流れ	1前		2							兼1
	地域から見る世界史	1前		2			1				
	地域史としての考古学	1後		2							兼1
	日本科学技術史概論	1後		2		1					兼1
	近現代外交史	1後		2							兼1
政治と社会	1後		2							兼1	
ダイバーシティと人権	1前・後	2			1					兼2	
現代消費社会論	1前		2		1						
平和のための教育	1前		2		1						
現代社会学の方法と実践	1前		2							兼1	
現場に活かすスポーツ実践論	1前		2		1						
健康科学への招待	1前		2		21	12					
生活環境をさぐる	1前後		2		32	1					
地域連携学校教育入門ー現代社会を生きるー	1前		2							兼1	
健康科学論	1前		2							兼1	
貨幣とわれわれの社会	1後		2							兼1	
都市防災対策と防災教育	1後		2							兼1	
心理生理学	1後		2							兼1	
性倫理と性教育	1後		2							兼1	
野外教育論	1後		2							兼1	
対人コミュニケーションの心理学	1後		2		1						
知的財産権入門	1後		2		1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
	水と環境を考える	1前		2		1					兼1
	生命と共生	1前・後		2							兼1
	地球と災害	1前		2							兼1
	DNAを中心とした生命科学	1後		2		1					
	はかってなんぼー環境をはかる	1後		2		1					
	地球と環境	1後		2		1					
	ミクロの生物学入門	1後		2							兼1
	大阪の環境と地球環境	1前・後		2							兼1
	自然史博物館への招待	1後		2							兼1
	生物学と医学の出会い	1後		2							兼1
	暮らしの環境と地図	1前		2							兼1
	持続可能な開発のための教育(ESD)概論	1後		2							兼1
	ベクトルとその応用を理解する	1前		2		1					
	はかってなんぼー学校編	1前		2		1					
	科学常識を考える	1前		2		1					
	科学の基本	1前		2			1				
	論理と数理パズル	1前		2		1					
	歴史を変えた有機化合物	1後		2		1					兼1
	体験しよう！かがく実験	1後		2		1					
	論理と数理パズル 上級編	1後		2		1					
	宇宙の構成と歴史	1後		2							兼1
	キャリアデザイン	1前・後		2							兼1
	インターンシップとキャリア	1前		2							兼1
	学校教育と著作権	1前		2							兼1
	教育科学の基礎	1後		2							兼21
	ことばと教育	1後		2							兼1
	国際理解教育	1後前		2							兼21
	アジア理解教育	1後		2							兼2
	人間と道徳	1前		2							兼1
	教員のための数学	1後前		2							兼1
	環境教育論	1前		2							兼1
	消費者教育論	1後		2							兼1
	表現教育	1後前		2							兼3
	遊びとスポーツ	1前後		2							兼12
	教職実践論	1前・後		2							兼12
	教職キャリア形成論	1後		2							兼1
	知的財産教育論	1前		2							兼1
	資料・情報利用法	1後		2			1				
	クリティカル・シンキング入門	1後		2				1			兼1
	コンピュータを使った統計入門	1後		2				1			
	メディア・リテラシー演習	1後		2		16			1		
	科学的・批判的思考の実践	1前		2		1					
	古典から学ぶ大学	1前		2		45					
	アクティブ・ラーニング入門	1前		2							兼2
	海外文化研究	1前		2		1	1				兼4
	「障害」者と人権	1前・後		2							兼1
	ジェンダーとセクシュアリティ	1前・後		2							兼1
	共生社会論	1前		2							兼1
	国際理解	1後		2							兼1
	多文化共生の社会をめざして	1前		2							兼1
	障害がい者支援入門	1後		2							兼1
	外国人児童生徒教育	1前後		2							兼12
共通 基礎 科目	英語(C)Ia	1前	1			32	51				兼42
	英語(C)Ib	1後	1			32	51				兼42
	英語(C)IIa	2前	2	2		3	5				兼4
	英語(C)IIb	2後		2							兼4
	ドイツ語Ia	1前		1		1					兼14
	ドイツ語Ib	1後		1		1					兼14
	ドイツ語IIa	2前		2		1					兼1
	ドイツ語IIb	2後		2		1					兼1
	フランス語Ia	1前		1		1	1				兼12
	フランス語Ib	1後		1		1	1				兼12
	フランス語IIa	2前		2		1					兼1
	フランス語IIb	2後		2		1					兼1
	中国語Ia	1前		1			1				兼14
	中国語Ib	1後		1			1				兼14
	中国語IIa	2前		2			1				兼1
	中国語IIb	2後		2			1				兼1
		外国語コミュニケーション	2前・後	2				1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	韓国語 I a	1前		1								兼1
	韓国語 I b	1後		1								兼1
	韓国語 II a	2前		2								兼1
	韓国語 II b	2後		2								兼1
	日本語 I a	1前		1								兼12
	日本語 I b	1後		1								兼12
	日本語 II a	2前		2								兼1
	日本語 II b	2後		2								兼1
	スポーツ実技a	1前	1			63			1			兼8
	スポーツ実技b	1後	1			62			1			兼89
	ICT基礎a	1前	2			76	65		1			兼1
	ICT基礎b	1後	1			312	310		3			兼1
教育基礎科目	教育基礎セミナー	1前	2			333	314		31			
	教育総論	1前・後	2									兼14
	発達と学習の心理学	1前・後	2									兼13
	学校の役割と経営	2後	2									兼1
	学校安全	2前	2			1						
	現代社会と教育	2後	2			1						
教育職員免許取得に関する科目	生涯学習の現在と未来	2前	2			1						
	教職入門	2前	2									兼1
	教育課程・方法実践論	2後	2									兼1
	特別活動論	3前	2									兼1
	中等国語科教育法 I	2前	2									兼1
	中等国語科教育法 II	2後	2									兼1
	中等国語科教育法 III	3前	2									兼1
	中等国語科教育法 IV	3後	2									兼1
	数学科教育法 I	2前	2									兼1
	数学科教育法 II	2後	2									兼1
	数学科教育法 III	3前	2									兼1
	数学科教育法 IV	3後	2									兼1
	中等理科教育法 I	2前	2									兼1
	中等理科教育法 II	2後	2									兼1
	中等理科教育法 III	3前	2									兼1
	中等理科教育法 IV	3後	2									兼1
	中等音楽科教育法 I	2前	2									兼1
	中等音楽科教育法 II	2後	2									兼1
	中等音楽科教育法 III	3前	2									兼1
	中等音楽科教育法 IV	3後	2									兼1
	美術科教育法 I	2前	2									兼1
	美術科教育法 II	2後	2									兼1
	美術科教育法 III	3前	2									兼1
	美術科教育法 IV	3後	2									兼1
	保健体育科教育法 I	2前	2									兼1
	保健体育科教育法 II	2後	2									兼1
	保健体育科教育法 III	3前	2									兼1
	保健体育科教育法 IV	3後	2									兼1
	中等家庭科教育法 I	2前	2									兼1
	中等家庭科教育法 II	2後	2									兼1
	中等家庭科教育法 III	3前	2									兼1
	中等家庭科教育法 IV	3後	2									兼1
	中等英語科教育法 I	2前	2									兼1
	中等英語科教育法 II	2後	2									兼1
	中等英語科教育法 III	3前	2									兼1
	中等英語科教育法 IV	3後	2									兼1
	道徳教育論	3後	2									兼1
	生徒指導・進路指導論	2前	2									兼1
	生徒指導論	2後	2									兼1
	教育相談の心理学	13後	2									兼1
	教育実習(中・高)	4前	5									兼1
	教育実習(高)	4前	3									兼1
	養護実習	4前	5									兼1
	教職実践演習(中・高)	4後	2									兼7
	教職実践演習(養護教諭)	4後	2									兼3
	教職インターンシップ	2通	2			1						
	教職インターンシップ	2通	2			1						
教育協働	教育協働概論I	1前	2			1	4				1	兼1
	教育協働概論II	1後	2			4	1				1	兼1
	地域社会と協働	2前	2				1					
	教育協働デザイン演習	2後	2				1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門教育科目	教育コラボレーション演習	3前	2			1	1			1	
	外国語実践演習(英語)	3前		2							兼3
	外国語実践演習(ドイツ語)	3前		2							兼1
	外国語実践演習(フランス語)	3前		2							兼1
	外国語実践演習(中国語)	3前		2							兼1
	外国語実践演習(日本語)	3前		2							兼1
	生涯学習概論	1後		2		1					
	心理学概論	1前		2			1				
	社会福祉学概論	1前後		2		1					兼1
	スクールカウンセリング・ソーシャルワーク論	2前		2							兼1
	チーム学校と教育支援	2前		2							兼1
	自然災害教育論	1前		2			1				
	教育のための健康と安全	1前		2		21	13				
	安全教育基礎論	1後		2		1					
	安全管理基礎論	2前		2			1				
	組織活動基礎論	2後		2			1				
	救急処置法	2前		2		1					
	数理学教育と社会	1前		2		23	1	1			
	情報科学教育と社会	1後		2		4	1	1			
	科学教育と情報	2後		2		2					
	科学リテラシーと社会	1後		2		31					
	サイエンス活動指導論	2前		2		1	1				
	サイエンスコミュニケーション概論	2前		2				1			
	グローバル教育概論	1前		2		12	3				
	グローバル社会入門	2前		2							兼1
	多文化リテラシー入門	1前後		2		14					
	多文化フィールドワーク	2後		2			1				
	グローバル言語学入門Ⅰ	2前		2			1				
	グローバル言語学入門Ⅱ	2後		2		1					
	社会芸術教育協働活動基礎演習	2前		2		1					
	社会における芸術	2後		2			1				
	地域文化とデザイン・コミュニケーション	1前後		2			1				兼1
	芸術表現文化論	1後		2		1					兼1
	課外活動指導法(音楽)	2前		2			1				
	課外活動指導法(美術)	2前		2			1				
	スポーツ教育原理	1前後	2								兼1
	スポーツコーチング論	2前	2								兼1
	課外活動指導法(スポーツ)	2前	2								兼1
	生涯スポーツ論	1前	2			5		21			兼81
	教育心理学プロジェクト演習A	3後	2	0		1	1				
	教育心理学プロジェクト演習B	3前	2	0		1	1				
	健康安全協働プロジェクト演習A	3前	2	0		1	1				
	健康安全協働プロジェクト演習B	4後	2	0		1	1				
	情報システムプロジェクト演習	3前		2		4	1	1			
	数値情報プロジェクト演習A	4前		2		4	1	1			
	数値情報プロジェクト演習B	4後		2		4	1	1			
	科学教育プロジェクト演習A	3前		2		5	3				
	科学教育プロジェクト演習B	4後		2		4	3				
	English and Education Project Seminar A	4前		2		4					
	English and Education Project Seminar B	4後		2		4					
多文化リテラシープロジェクト演習A	4後		2		1						
多文化リテラシープロジェクト演習B	4前		2		1						
多文化教育プロジェクト演習A	4前		2		1	1					
多文化教育プロジェクト演習B	4後		2		1	1					
ピアノ指導法プロジェクト演習	3前		2		1	1					
社会芸術教育協働活動・音楽	3後		2		1						
社会芸術教育協働活動・美術	3後		2			1					
音楽教材創作プロジェクト演習	4前		2		1						
デジタルミュージック教材開発プロジェクト演習	4前		2		1						
デジタルメディア教材開発	3前		4		1						
総合制作マネジメントプロジェクト演習	4前		2			1					
スポーツ教育プロジェクト演習A	3後	2			4						
スポーツ教育プロジェクト演習B	4前	2			4						
学校心理学	23前		2							兼1	
図書館情報学概論	2後		2			1					
メディア文化論	2後		2							兼1	
医療心理学	3前		2			1					
家族心理学	3後		2		1						
学習社会論	3前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
	教育心理学演習Ⅰ	4前	2			1	1					
	教育心理学演習Ⅱ	4後	2			1	1					
	教育人間学	3前		2		1						
	教育心理学	2前		2			1					
	産業心理学	2後		2								兼1
	児童サービスと資料	3前		2		1						
	社会保障論	2後		2		1						
	子ども家庭福祉	2前		12								兼1
	社会教育論	2前		2								兼1
	障害児(者)心理学	3後		2								兼1
	情報サービス演習Ⅰ	3前		2								兼1
	情報サービス演習Ⅱ	3後		2			1					
	情報サービス概論	3前		2								兼1
	情報資源組織演習Ⅰ	3前		2								兼1
	情報資源組織演習Ⅱ	3後		2								兼1
	情報資源組織概論	3前		2								兼1
	心理学基礎実験実習	2後		2		1	2	1				
	心理学研究法	2前	2			1		1				
	心理学統計法	2後		2								兼1
	心理検査実習	4前		2			1					
	心理実践実習	4後		2			1					
	心理実践職能論	3前		2		1						
	心理面接実習	4後		2		1						
	心理療法論	3前		2			1					
	神経心理学	2後		2								兼1
	人格心理学	3前		2								兼1
	図書館サービス概論	2前		2			1					
	図書館情報技術論	2後		2			1					
	図書館情報資源概論	2前		2								兼1
	図書館制度・経営論	3後		2								兼1
	生涯教育と高等教育	2前		2			1					
	生涯教育学研究法	2後	2			1						
	生涯教育基礎論Ⅱ	2前		2			1					
	生涯教育計画論Ⅰ	2後		2		1						
	生涯教育計画論Ⅱ	3前		2								兼1
	生涯教育実践研究Ⅰ	2後		2		2	1					
	生涯教育実践研究Ⅱ	3前		2		2	1					
	生涯教育調査法	3後		2		1						
	生涯教育基礎論Ⅰ	2後		2		1						
	生涯人間発達論	2前		2		1						
	精神医学概論	2後		2		1						
	対人関係論	3後		2		1						
	認知心理学	3前		2								兼1
	発達臨床心理学	2後		2			1					
	臨床心理学概論	2前		2				1				
	国際化と成人教育	2後		2								兼1
	社会教育課題研究A	3後		2		1	1					
	社会教育課題研究B	3前		2		1	1					
	社会教育課題研究C	3後		2		1	1					
	図書館情報資源特講	2後		2			1					
	学校・青少年問題と社会教育	3前		2		1						
	図書館史	3後		2								兼1
	図書館情報学特講	3前		2			1					
	生理心理学	2後		2								兼1
	学習心理学	3後		2								兼1
	健康な生活を考える	1前		2		13	1					
	住環境学(製図を含む。)	1前		2		1						
	カウンセリング論	3前		2								兼1
	セーフティプロモーション論	1前		2		1						
	ヘルスプロモーション論	3前		2		1						
	安全デザイン論	1前	1	2			1					
	安全科学研究法	3後		2			1					
	安全管理論演習	3前		2		1						
	安全教育学演習	2前		2		1						
	安全行動学	2後		2			1					
	安全情報学	3前		2			1					
	衣生活科学	1前		2		1						兼1
	栄養生化学	1前		2								兼1
	衛生学・公衆衛生学	2前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	疫学・保健統計学	2後		2		1					
	解剖生理学	1前後		2			1				
	学校保健	1後		2							兼1
	環境安全論	2前		2			1				
	環境保健学	3前		2		1					
	看護学実習	3後		2							兼1
	健康安全科学実習	3後		2		6	3				
	健康衣生活論(被服製作実習を含む。)	2前		2		1					
	健康運動学	2後		2			1				
	健康管理学	2前		2		1					
	防災史	1後		2			1				
	健康食生活論	1後		2			1				兼1
	健康生化学	4前		2			1				
	健康生活情報処理	2前		2							兼1
	健康調理実習	2後		2							兼1
	健康保育学演習(家庭看護実習を含む。)	1前		2							兼1
	産業保健と法律Ⅰ	3前		2							兼1
	産業保健と法律Ⅱ	4前		2		1					
	産業保健と法律Ⅲ	4後		2		2					
	自然災害論	1前		2			1				
	住環境デザイン演習	3前		2							兼1
	住環境と安全	2後		2		1					
	住環境学演習	2前		2		1					
	住生活科学	2前		2		1					
	人間生態学	1前後		2		1	1				
	生活機器論(情報処理を含む。)	2後		2							兼1
	保健看護学	2前		2							兼1
	母子看護学	2前		2							兼1
	免疫学	3前		2			1				
	薬理学	3前		2		1					
	予防医学	3後		2		1					
	臨床実習	3前		2		1					
	健康臨床心理学	2前		2							兼1
	労働保健学	3後		2							兼1
	家族関係学	2前		2							兼1
	生活経営学(家庭経済学を含む。)	1前		2							兼1
	保育学Ⅰ	1前		2							兼1
	保育学Ⅱ	3後		2							兼1
	保育学実習(家庭看護を含む。)	2後		2							兼1
	調理学実習Ⅰ	2前		2							兼1
	調理学実習Ⅱ	3前		2							兼1
	食物学実験Ⅰ	3前		2							兼1
	被服学Ⅰ	1前後		2							兼1
	被服学Ⅱ	3前		2							兼1
	被服製作実習Ⅰ	2後		2							兼1
	被服製作実習Ⅱ	3前		2							兼1
	住居学Ⅱ	2前		2							兼1
	食物学Ⅰ(栄養学及び食品学を含む。)	2前		2							兼1
	食物学Ⅱ	3後		2							兼1
	精神保健学	3前		2							兼1
	養護概説	3後		2							兼1
	(数理情報コース)										
	解析学基礎	1後前		2			1	1			
	代数学基礎	1前		2		1					
	システムソフトウェア	3前		2		1					
	システム科学	3後		2		1					
	データ科学	3前		2		1					
	データ構造とアルゴリズム	3前		2			1				
	プログラム言語	2後		2			1				
	応用数理Ⅰ	3前		2		1					
	応用数理Ⅱ	3後		2		1					
	解析学Ⅰ	3前		2				1			
	解析学Ⅱ	3後		2				1			
	解析学A	2前		2				1			
	解析学B	2後		2				1			
	確率・統計	2前		2			1				
	確率・統計統論	2後		2			1				
	確率論Ⅰ	3前		2			1				
	確率論Ⅱ	3後		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	幾何学 I	3前		2			1					
	幾何学 II	3後		2			1					
	幾何学 A	2前		2			1					
	幾何学 B	2後		2			1					
	計算機科学	2前		2				1				
	ロボット教材とプログラミング A	3前		1			1		1			
	ロボット教材とプログラミング B	3後		1			1		1			
	Global Technology Communication	3前		1			2	2				
	情報解析 I	3前		2			1					
	情報解析 II	3後		2			1					
	情報解析概論 A	2前		2				1				
	情報解析概論 B	2後		2				1				
	情報処理演習	1後	2				1					
	プログラミングとグループワーク I	2前		2					1			
	プログラミングとグループワーク II	2後		2				1				
	数理計画法・OR	3後		2								兼1
	数理情報 A	2前		2			1					
	数理情報 B	2後		2			1					
	線形型代数学 A	1前	2						1			
	線形代数学 B	1後	2						1			
	代数学 I	3前		2			1					
	代数学 II	3後		2			1					
	代数学 A	2前		2			1					
	代数学 B	2後		2			1					
	微分積分学 A	1前	2				1					
	微分積分学 B	1後	2				1					
	微分積分学 C	1後	2				1					
	情報セキュリティと情報法	2後		1			1		1			
	数理探求 I	3前		2			4	1	1			
	数理探求 II	3後		2			4	1	1			
	情報システム演習	3前		2			1					
	数理探求教材開発 (自然科学コース)	4後		2								兼1
	物理学基礎	1後前		2			1					
	物質化学基礎	1前	2				1		+			
	宇宙科学	2前		2								兼1
	サイエンスの歴史と社会	3後		2								兼1
	サイエンスと現代生活	3前		2								兼1
	応用物質化学	2後		2			1					
	基礎物理化学	2前		2			1					
	基礎有機化学	2後		2				1				
	サイエンスと知的財産	3前		2			1					
	サイエンスと地球資源	3後		2				1				
	細胞機能学	2前		2				1				
	自然システム概説	2後		2			1					
	自然システム基礎	2前		2			1					
	自然システム実験 I	1後前		1			2	1				
	自然システム実験 II	3後		2			2	1				
	Science Presentation Skills	4前		2			1	1				
	物理課題研究プロジェクト	3後		2			1	1				
	物理実験デザインプロジェクト	3前		2			1	1				
	化学実験デザインプロジェクト	3後		2			3	2				
	集団生物学	3前		2				1				
	初等量子論	2後		2			1					
	植物生理学	3前		2			1					
	水圏科学	2後		2			1					
	応用物理化学	2前		2			1					
	生物統計学	2後		2					1			
	有機物質化学	3前		2			1					
	生命科学概説	2後		2				1				
	生命科学基礎	2前		2				1				
	生命科学実験 I	1後前		1				1				
	生命科学実験 II	3前		1			1	2				
	生命科学実験 III	3前		1			1					
	化学課題研究プロジェクト	3後		2			1	1				
	生物実験デザインプロジェクト	3後		2			1					
	大気科学	2前		2			1					
	生物課題研究プロジェクト	3後		2			1					
	固体地球科学	2後		2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	統計物理学	3前		2		1						
	動物発生学	2後		2								兼1
	熱力学	2前		2			1					
	物質化学概説	2前		2		1						
	物質化学実験I	1後		1			1					
	物質化学実験II	3前		2		2	1					
	地学課題研究プロジェクト	3後		2		2	1					
	自然システム野外実習	3前		2		1						
	地学実験デザインプロジェクト	3後		2		2	1					
	物理学概説	1前後		2		1						
	物理学実験I	1後		1		1	1					
	物理学実験II	3前		2		2	1					
	サイエンス実験教材開発	2後		2		6	2					
	分子遺伝学	2前		2		1						
	分析化学	3前		2		1						
	無機化学	2後		2		1						
	サイエンスデジタル教材開発	2前		2				3				
	力学	2後		2					1			
	科学教育実践演習	4前		2		2	2					
	電磁気学	2前		2								兼1
	量子物理学	3後		2								兼1
	(英語コミュニケーションコース)											
	Academic Debate I	2前		2		1						
	Academic Debate II	2後		2		1						
	Academic Listening I	1前	2			1						兼1
	Academic Listening II	1後	2			1						兼1
	Academic Presentation	1後	2				1					兼1
	Academic Reading I	1前	2			1			1			
	Academic Reading II	1後	2			1			1			
	Academic Writing	1前	2						1			
	Practical English Pronunciation	1後	2			1						
	Professional English	1前	2			1						
	Speech Communication in English I	1前	2						1			
	Speech Communication in English II	1後	2						1			
	Introduction to English Linguistics I	2前		2					1			
	Introduction to English Linguistics II	2後		2					1			
	Seminar on English Linguistics I	2前		2					1			
	Seminar on English Linguistics II	3後		2		1						
	Introduction to UK and US Area Studies I	2前		2		1						
	Introduction to UK and US Area Studies II	2後		2					1			
	History of American Literature	2後		2					1			
	American Literature Seminar	2後		2					1			
	Language Communication Seminar I	3前		2								兼1
	Language Communication Seminar II	3後		2					1			
	Global Communication I	3前		2		1						
	Global Communication II	3後		2		1						
	American Area Studies I	3前		2					1			
	American Area Studies II	3後		2		1						
	British Area Studies I	3前		2								兼1
	British Area Studies II	3後		2								兼1
	American Literature Study I	3前		2					1			
	American Literature Study II	3後		2					1			
	Introduction to British and American Literature	2前		2		1						
	オーラル・コミュニケーション上級I	2前		2								兼1
	オーラル・コミュニケーション上級II	2後		2								兼1
	オーラル・コミュニケーション中級I	1前		2								兼1,2
	オーラル・コミュニケーション中級II	1後		2								兼1,2
	ライティング中級I	2前		2								兼1
	ライティング中級II	2後		2								兼1
	比較文化論	1後		2								兼1
	(多文化リテラシーコース)											
	中国文学入門A	1前後		2		1						
	中国文学入門B	1後前		2			1					
	中国の言語文化A	1前		2			1					兼1
	中国の言語文化B	1後		2			1					兼1
	グローバル経済文化論	1前		2			1					兼1
	グローバル歴史文化論	1後前		2			1					兼1
	グローバル芸術文化論	1前		2			1,3					
	グローバル言語文化論	1後前		2			1					兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	日本・アジア比較文化論	3前		2		1					
	日本文学概論	12後		2							兼1
	中国文学概論	2後		2							兼1
	German Communication Skills I A	2前		1							兼1
	German Communication Skills I B	2後		1							兼1
	German Communication Skills II A	3前		1							兼1
	German Communication Skills II B	3後		1							兼1
	ヨーロッパ比較文化論	3前		2			1				
	French Communication Skills I A	2前		1		1					
	French Communication Skills I B	2後		1		1					
	French Communication Skills II A	3前		1							兼1
	French Communication Skills II B	3後		1							兼1
	Basic European Language A	1前		2		1	1				兼1
	Basic European Language B	1後		2		1	1				兼1
	異文化間教育	3前		2							兼1
	音楽人類学 I	2前		2		1					
	音楽人類学 II	3後		2		1					
	管絃(雅楽)I	1後前		2							兼1
	管絃(雅楽) II	2前		2							兼1
	ヨーロッパの文化と教育A	2前		2			1				
	ヨーロッパの文化と教育B	2後		2							兼1
	Cultural Studies A	3前		2			1				
	Cultural Studies B	3後		2							兼1
	国際教育比較プロジェクト演習A	3前		2			1				
	国際教育比較プロジェクト演習B	3後		2							兼1
	書道概論 I (書写を中心とする。)	2前		2			1				
	書道概論 II (書写を中心とする。)	2後		2			1				
	歴史研究プロジェクト演習 A	2前		2		1	1				
	歴史研究プロジェクト演習 B	3後		2		1	1				
	知能科学研究プロジェクト演習A	2後		2		1	1				
	知能科学研究プロジェクト演習B	3後		2		1	1				
	経済研究プロジェクト演習A	2後		2		1					
	経済研究プロジェクト演習B	3後		2		1					
	中国言語文化研究 I A	2前		2		1					
	中国言語文化研究 I B	2後		2			1				
	中国言語文化研究 II A	3前		2		1					
	中国言語文化研究 II B	3後		2			1				
	日本演劇学概説	3前		2							兼1
	日本語の文法	3前		2			1				
	日本語学演習	3後		2				1			
	日本語学研究 I A	2前		2				1			
	日本語学研究 I B	2後		2				1			
	日本語学研究 II	3前		2				1			
	日本語教育演習	3後		2							兼1
	日本語教育概論A	2前		2							兼1
	日本語教育概論B	2後		2							兼1
	日本語教材論	2前		2							兼1
	日本文学演習A	3前		2							兼1
	日本文学演習B	3後		2		1					
	日本文学研究 I A	2前		2		1					
	日本文学研究 I B	2後		2		1					
	日本文学研究 II A	3前		2		1					
	日本文学研究 II B	3後		2		1					
	美学 I	2前		2		1					
	美学 II	3前		2		1					
	グローバル社会文化論 (音楽表現コース)	2後		2		1					
	Orchestra IA	1前		2		2	1				兼2
	Orchestra IB	1後		2		2	1				兼2
	Orchestra II A	2前		2		2	1				兼2
	Orchestra II B	2後		2		2	1				兼2
	Orchestra III A	3前		2		2	1				兼2
	Orchestra III B	3後		2		2	1				兼2
	Orchestra IV A	4前		2		2	1				兼2
	Orchestra IV B	4後		2		2	1				兼2
	ソルフェージュ演習A	2前	1			1					
	ソルフェージュ演習B	2後	1			1					
	ピアノIA	1前		1							兼1
	ピアノIB	1後		1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	管絃(雅楽)I	1前		2							兼1
	音楽人類学 I	2前		2		1					
	音楽専門実技IA	1前	2			-16	-13				兼13
	音楽専門実技IB	1後	2			-16	-13				兼13
	音楽専門実技 II A	2前	3			1	1				
	音楽専門実技 II B	2後	3			1	1				
	音楽専門実技 III A	3前	3			1	1				
	音楽専門実技 III B	3後	3			1	1				
	音楽専門実技 IV A	4前	3			1	1				
	音楽専門実技 IV B	4後	3			1	1				
	管絃楽作品創作プロジェクト演習A	2前		1		1					
	管絃楽作品創作プロジェクト演習B	3後		1		1					
	管絃打楽器IA	1前		1		2	-1				兼1
	管絃打楽器IB	1後		1		2	-1				兼1
	管絃打楽器 II A	2前		1		2	1				
	管絃打楽器 II B	2後		1		2	1				
	管絃(雅楽) II	2後		2							兼1
	合唱実技I	1前		1		1					兼1
	合唱実技 II	2後		1							兼1
	合唱実技 III	3前		1							兼1
	合唱実技 IV	4後		1							兼1
	作曲理論IA	1前		2		1					
	作曲理論IB	1後		2		1					
	作曲理論 II A	2前		2		1					
	作曲理論 II B	2後		2		1					
	作曲理論 III A	3前		2		1					
	作曲理論 III B	3後		2		1					
	指揮法	3前		2		1	1				
	室内楽(重奏・重唱・伴奏)IA	1前		1		25	3				兼1
	室内楽(重奏・重唱・伴奏)IB	1後		1		25	3				兼1
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) II A	2前		1		2	3				
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) II B	2後		1		2	3				
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) III A	3前		1		2	3				
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) III B	3後		1		2	3				
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) IV A	4前		1		2	3				
	室内楽(重奏・重唱・伴奏) IV B	4後		1		2	3				
	声楽 I A	2前		1		1					
	声楽 I B	2後		1		1					
	声楽プロジェクト演習A	4前		1		1					
	声楽プロジェクト演習B	4後		1		1					
	日本演劇学概説	3前		2							兼1
	舞楽(雅楽)	3後		2							兼1
	舞台表現法 I	2前		2							兼1
	舞台表現法 II	32後		2							兼1
	歴史的音楽学特講	3後		2		1					
	Global Music Communication	3後		1		1					
	歌唱表現の基礎	1後前		2		1					
	障害を越える音楽	4後		1							兼1
	音楽学IA	1前後		2							兼1
	音楽学 I B	2後		2							兼1
	和楽器アンサンブルA	3後		1							兼1
	(美術表現コース)										
	総合造形演習A	2前		4		1	1				
	総合造形演習B	2後		4		1	1				
	グラフィックデザイン演習A	2前		2			1				
	グラフィックデザイン演習B	2後		2			1				
	デザイン演習 I A	3前		4			1				
	デザイン演習 I B	3後		4			1				
	デザイン演習 II	34後		4							兼1
	デザインプロジェクト	4前		4			1				
	絵画演習 I	2後		4			1				
	絵画演習 II A	3前		4			1				
	絵画演習 II B	3後		4			1				
	絵画演習 III	4前		4			1				
	絵画プロジェクト	4前		4			1				
	絵画基礎演習	1後		4			1				兼1
	美術表現の基礎	1前		2			1				兼1
	立体造形演習 I	2後		4			1				
	立体造形演習 II A	3前		4			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	立体造形演習ⅡB	3後		4			1				
	立体造形演習Ⅲ	4前		4			1				
	立体造形プロジェクト	4前		4			1				
	立体造形基礎演習	1後前		4			1				
	デザイン・工芸史	3前		2			1				
	Global Art Communication	4後		1			1				
	美術史A	1前		2							兼1
	美術史B	2後		2							兼1
	美術理論Ⅰ	2前		2							兼1
	体育史	2前		2		1					
	運動生理学	1後前		2							兼1
	スポーツトレーニングと適応	2後		2							兼1
	アスレティックリハビリテーション	3前		2							兼1
	スポーツバイオメカニクス	3後		2		1					
	スポーツマッサージ	4前		2							兼1
	スポーツ医学	2後		2							兼1
	スポーツ行政論	3前		2							兼1
	スポーツ指導者育成論	3後		2		1					
	救急処置法	3前		2		1					
	身体表現論	3後		2		1					
	学校と地域スポーツ	3前		2							兼1
	障害者とスポーツ	3後		1							兼1
	デジタルスポーツ教材開発A	3前		1							兼1
	デジタルスポーツ教材開発B	3後		1							兼1
	Global Sports Communication	3前		1							兼1
	スポーツマネジメント論	2後		2							兼1
	スポーツフィットネス演習	3前		2		1					
	スポーツと栄養	3後		2							兼1
	サッカー	3前		1							兼1
	スキー実習	3後		2							兼1
	スポーツ社会学	1前後		2							兼1
	スポーツ心理学	2後		2							兼1
	ダンス・クラシック	3前		2		1					
	ダンス	2前		1		1					
	テニス	4前		1		1					
	ソフトボール	2後		1							兼1
	バスケットボール	3後		1							兼1
	バレーボール	3前		1		1					
	ハンドボール	4前		1							兼1
	ラグビー	4前		1							兼1
	運動学	2前		2		4					
	衛生学及び公衆衛生学	1後		2							兼1
	学校保健	2前		2							兼1
	器械運動	1前後		1							兼1
	体づくり運動	1後前		1		4					兼2
	剣道	2後		1		1					
	柔道	2前		1							兼1
	水泳	1前		1		1		1			兼1
	陸上競技	2後		1							兼1
自由選択科目	学校経営と学校図書館	3前		2							兼1
	学校図書館メディアの構成	3前		2							兼1
	学習指導と学校図書館	3後		2							兼1
	読書教育と図書館	3前		2							兼1
	情報メディアの活用	3前		2							兼1
卒業研究		4通	4								

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・英語による教養科目群を整理するために、「英語による教養①～⑧」の授業科目名称を「English World I～Ⅷ」に変更した。
- ・教職課程認定申請の審査委員会指摘に対応するために、教職関連科目の「教育実践論」を「教育課程・方法論」に名称変更し、新たに「特別活動論」を新設した。
- ・その他時間割編成の都合等により配当年次や専任教員等の配置の変更等を行った。

【平成30年度】

- ・英語による教養科目群を拡充するために、「English World IX・X」を新設した。
- ・その他時間割編成の都合等により配当年次や専任教員等の配置の変更等を行った。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
58 科目	669 科目	0 科目	727 科目	57 科目 [△1]	656 科目 [△13]	0 科目 [-]	713 科目 [△14]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	持続発展教育と世界遺産	2	1前	一般	選択	他大学からの遠隔授業であったが、提供大学が提供を取りやめたため。代替措置無
2	地域から見る世界史	2	1前	一般	選択	教養基礎科目群の整理を行ったため。代替措置無
3	現代消費社会論	2	1前	一般	選択	
4	平和のための教育	2	1前	一般	選択	
5	都市防災対策と防災教育	2	1後	一般	選択	授業担当教員の退職。代替措置無
6	健康科学論	2	1前	一般	選択	他大学からの遠隔授業であったが、提供大学が提供を取りやめたため。代替措置無
7	心理生理学	2	1後	一般	選択	
8	野外教育論	2	1後	一般	選択	
9	持続可能な開発のための教育 (ESD) 概論	2	1後	一般	選択	
10	宇宙の構成と歴史	2	1後	一般	選択	授業担当教員の退職。代替措置無
11	教職インターンシップ	2	2通	専門	選択	コラボレーション科目と統廃合したため。代替措置無

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

授業担当教員の退職や他大学からの提供取りやめなど、やむを得ない措置と考えています。学生へは履修便覧等で、適切に周知を行っています。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{11}{727} = \boxed{1.51} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 (借用面積：2,409㎡ 借用期間：1年(毎年更新))			
	校舎敷地	229,161㎡	㎡	㎡	㎡				
	運動場用地	107,723㎡	㎡	㎡	㎡				
	小 計	336,884㎡	㎡	㎡	㎡				
	そ の 他	381,206㎡	㎡	㎡	㎡				
	合 計	718,090㎡	㎡	㎡	㎡				
(2) 校 舎	専 用	84,133㎡	㎡	㎡	84,133㎡	大学全体			
	(84,133㎡)	(㎡)	(㎡)	(84,133㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	柏原キャンパス			
	95室	32室	102室	5室 (補助職員 0人)	3室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	教育学部 教育協働学科			87 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 柏原キャンパス分 から大学全体数値に 変更(30)	
	教育学部 教育協働学科	862,929 [187,367] 923,374 [188,601] (834,219) [185,066] (910,792 [187,539])	17,432 [3,315] 18,700 [3,425] (17,432) [3,315] (18,700 [3,425])	6,060 [5,490] 5,467 [5,466] (6,060) [5,490] (5,467 [5,466])	19,014 19,787 (17,922) (19,278)	0 (0)	0 (0)		
	計	862,929 [187,367] 923,374 [188,601] (834,219) [185,066] (910,792 [187,539])	17,432 [3,315] 18,700 [3,425] (17,432) [3,315] (18,700 [3,425])	6,060 [5,490] 5,467 [5,466] (6,060) [5,490] (5,467 [5,466])	19,014 19,787 (17,922) (19,278)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 閲覧座席数及び 収納可能冊数 柏原キャンパス 分から大学全体 数値に変更(30)			
	8,335㎡	718855		1,362,700					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				柏原キャンパス			
	4,544㎡	野 球 場	テニスコート(幟=8面、クレー=7面)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円		千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	大阪教育大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
教育学部	年	人	年次人	人		倍		大阪府柏原市旭ヶ丘4丁目698番1号 (※の課程及び専攻) 大阪市天王寺区南河堀町4番88号	
初等教育教員養成課程	4	60	-	240	学士 (教育学)	1.00	平成29年	※3年次より	
初等教育教員養成課程(夜間)	5	40	50	275	学士 (教育学)	1.02	平成29年	※	
学校教育教員養成課程	4	395	-	1580	学士 (教育学)	1.04	平成22年		
養護教諭養成課程	4	30	-	120	学士 (教育学)	0.95	昭和51年		
教育協働学科	4	405	-	1400	学士 (教育学)	1.02	平成29年		
幼稚園教員養成課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	昭和42年		平成29年より学生募集停止
特別支援教育教員養成課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	昭和63年		平成29年より学生募集停止
小学校教員養成5年課程	5	-	-	-	学士 (教育学)	-	昭和48年	※	平成29年より学生募集停止 三年次編入は平成31年より学生募集停止
教養学科	4	-	-	-	学士 (教養)	-	昭和63年		平成29年より学生募集停止
大学の名称	大阪教育大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	15	-	30	修士 (教育学)	0.99	昭和43年		
国語教育専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	0.58	昭和43年		
社会科教育専攻	2	15	-	30	修士 (教育学)	0.93	昭和43年		
数学教育専攻	2	7	-	14	修士 (教育学)	0.57	昭和43年		
理科教育専攻	2	14	-	28	修士 (教育学)	0.64	昭和43年		
英語教育専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	1.83	昭和43年		
家政教育専攻	2	5	-	10	修士 (教育学)	0.70	昭和49年		
音楽教育専攻	2	11	-	22	修士 (教育学)	0.77	昭和50年		
美術教育専攻	2	10	-	20	修士 (教育学)	0.55	昭和50年		
保健体育専攻	2	10	-	20	修士 (教育学)	1.15	昭和50年		
特別支援教育専攻	2	10	-	20	修士 (教育学)	1.00	昭和51年		
技術教育専攻	2	3	-	6	修士 (教育学)	1.16	平成5年		

養護教育専攻	2	3	-	6	修士 (教育学)	0.66	平成14年	
実践学校教育専攻	2	15	-	30	修士 (教育学)	0.79	平成8年	※
健康科学専攻	2	21	-	42	修士 (学術)	1.16	平成5年	※
総合基礎科学専攻	2	16	-	32	修士 (学術)	0.71	平成5年	
国際文化専攻	2	12	-	24	修士 (学術)	0.58	平成6年	
芸術文化専攻	2	12	-	24	修士 (芸術)	1.20	平成7年	
連合教職実践研究科								
高度教職開発専攻	2	30	-	60	教職修士 (専門職)	1.18	平成27年	※
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入して								
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。								

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

該当なし

【平成27年度】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
	専 教授	〇〇〇〇 (59) <平成27年4月> 国際経済学 日本経済概論									
	専 准教授	△△△△ (50) <平成28年4月> 商法		専 准教授	△△△△ (51) <平成28年4月> 商法		専 准教授	△△△△ (52) <平成28年10月> 商法		専 准教授	△△△△ (53) <平成28年10月> 商法
	専 講師	□□□□ (35) <平成29年10月> 金融論		専 講師	□□□□ (36) <平成29年10月> 金融論		専 講師	□□□□ (37) <平成29年10月> 金融論			
				専 教授	※※※※ (60) <平成27年4月> 国際経済学 日本経済概論 経済学入門		専 教授	※※※※ (61) <平成27年4月> 国際経済学 日本経済概論 経済学入門		専 教授	※※※※ (62) <平成27年4月> 国際経済学 日本経済概論 経済学入門
										専 講師	◇◇◇◇ (35) <平成29年10月> 金融論 市場論
	兼任 准教授	▲▲▲▲ (50) <平成28年4月> 英語		兼任 准教授	▲▲▲▲ (51) <平成28年4月> 英語		兼任 准教授	▲▲▲▲ (52) <平成28年4月> 英語		兼任 准教授	▲▲▲▲ (53) <平成28年4月> 英語
	兼任 講師	■ ■ ■ ■ (35) <平成27年4月> 化学		兼任 講師	■ ■ ■ ■ (36) <平成27年4月> 化学		兼任 講師	■ ■ ■ ■ (37) <平成27年4月> 化学			
										兼任 講師	◆ ◆ ◆ ◆ (35) <平成29年4月> 化学
	兼任 教授	▽▽▽▽ (55) <平成27年10月> 文化人類学		兼任 教授	▽▽▽▽ (56) <平成27年10月> 文化人類学		兼任 教授	▽▽▽▽ (57) <平成27年10月> 文化人類学		兼任 教授	▽▽▽▽ (58) <平成27年10月> 文化人類学
										兼任 教授	▽▽▽▽ (59) <平成27年10月> 文化人類学

(注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

該当なし

【平成30年度】

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
57 名	29 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
36	29	3	0	68	51	28	2	1	82	51	28	2	1	82
(49)	(30)	(3)	(0)	(82)						[+15]	[Δ 1]	[Δ 1]	[+ 1]	[+14]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 70(特任教員) 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{82}{68} = \boxed{120.58} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番	職別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
2	准教授	△△ △△	自由	○○概論	……………のため就任辞退 (28)
			必修	◆◆基礎	
			必修	☆☆演習	
			必修	××語	
			自由	××語	……………のため就任辞退 (30)
			必修	▲▲実習	
			必修	◇◇特論	
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
○○	人	必修 #VALUE! 科目	必修 ○○ 科目	必修 ○○ 科目	必修 ○○ 科目
		選択 #VALUE! 科目	選択 ○○ 科目	選択 ○○ 科目	選択 ○○ 科目
		自由 #VALUE! 科目	自由 ○○ 科目	自由 ○○ 科目	自由 ○○ 科目
		計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	職別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1			自由	○○概論	H28. 3. 31付け……………のため辞任 (28)
			必修	◆◆基礎	
			必修	☆☆演習	
2	准教授	△△ △△	自由	××語	H30. 3. 31付け……………のため辞任 (30)
			必修	▲▲実習	
			必修	◇◇特論	
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
○○	人	必修 #VALUE! 科目	必修 ○○ 科目	必修 ○○ 科目	必修 ○○ 科目
		選択 #VALUE! 科目	選択 ○○ 科目	選択 ○○ 科目	選択 ○○ 科目
		自由 #VALUE! 科目	自由 ○○ 科目	自由 ○○ 科目	自由 ○○ 科目
		計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

番	職別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
#VALUE!	人		自由	○○概論	……………のため辞任 (28)
			必修	◆◆基礎	
			必修	☆☆演習	
			必修	××語	
			自由	××語	……………のため辞任 (30)
			必修	▲▲実習	
			必修	◇◇特論	
合計 (D)+(F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
#VALUE!	人	必修 #VALUE! 科目	必修 ##### 科目	必修 ##### 科目	必修 ##### 科目
		選択 #VALUE! 科目	選択 ##### 科目	選択 ##### 科目	選択 ##### 科目
		自由 #VALUE! 科目	自由 ##### 科目	自由 ##### 科目	自由 ##### 科目
		計 #VALUE! 科目	計 ##### 科目	計 ##### 科目	計 ##### 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{\#VALUE!}{0} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	職種の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
該当なし							
		○○概論	①	H28.3.31付け65歳で定年退職 (28)			
		◆◆基礎	②				
		☆☆演習	③				
2	准教授	△△ △△	自由 ××語	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)			
			必修 ▲▲実習				
			必修 ◇◇特論				
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
○○	人	必修	#VALUE! 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

該当なし		履 行 状 況		未履行事項について の実施計画
(〇〇年〇〇月)		留意事項	未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・大学設置基準に抵触 するため、改めるこ と。(△△学部△△学 科)	是正意見	未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・××学部××学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(□□学 科、■●学科)の～す ること。	改善意見	履行済	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<教育学部 教育協働学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	特に変更なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 ファカルティ・ディベロップメント事業推進委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 第11回 平成30年4月24日開催 委員4名全員出席</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 全学FDに関する基本方針の策定に関する事項 (2) 全学FD事業の企画・運営・実施に関する事項 (3) 全学FD事業の評価に関する事項 (4) 学外とのFDに関わる連携に関する事項 (5) その他委員会が必要と認める事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全学FD事業・ 教員相互の授業参観・ 成績評価の厳格化への取り組み <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全学FD事業 : 年に3回程度テーマを変えて開催している。・ 教員相互の授業参観 : 参観を希望する教員が授業担当教員へ連絡し、任意の時期に参観を行っている。・ 成績評価の厳格化への取り組み 同一名称複数開講科目に係る成績分布の精査・分析を学期ごとにまとめ、開講部局へ改善を促している。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 実施結果や参加状況を各部局へ通知し、FD活動に参加するよう各教員へ促す。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 前期（5月～8月）及び後期（11月～翌年2月）に実施</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p>
--

教員に対しては結果を紙で通知するとともに、どのような改善や工夫を行ったかアンケートを行っている。
また、学生へは大学のホームページ上で集計結果を公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は、平成29年4月開設の新設学科であるため、目的の達成状況について現時点で評価することは困難であるが、設置計画どおりに順調に推移しているものと考えられる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成31年1月31日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を作成し、教職員共通ポータルサイトに掲載
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成31年1月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成32年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (30年 5月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。